# 奥四万十広域観光推進指針

2017年3月9日 (木)

奥四万十博推進協議会

# 目 次

1.	観光動向	1
	1.1 国の動向	1
	1.1.1 訪日旅行の状況	1
	1.1.2 国内旅行の状況	1
	1.1.3 国(観光庁)の方針	2
	1.2 高知県の動向	5
	1.2.1 県外観光客入込数の状況	5
	1.2.2 高知県の観光政策	6
	1.2.3 高知県の魅力	6
	1.3 国内旅行市場の傾向	8
2.	奥四万十地域の地理的条件と産業	14
	2.1 奥四万十地域の地理的条件と産業の歴史的な歩み	14
	2.1.1 地理的概要	14
	2.2 奥四万十地域の産業	19
	2.2.1 県内産業における奥四万十地域の構成比	19
	2.2.2 市町内総生産における第一次~第三次産業別構成比	20
	2.2.3 産業別従業者数	21
	2.2.4 産業別 15~49 歳の従業者構成比	22
	2.2.5 15~49 歳従業者の就業先構成比	23
	2.2.6 奥四万十地域内の産業連関	24
	2.3 人口	26

3.	奥四万十地域の観光特性	30
	3.1 奥四万十地域の観光の現状	30
	3.2 各市町の観光の現状把握	32
	3.2.1 須崎市	32
	3.2.2 中土佐町	33
	3.2.3 四万十町	34
	3.2.4 津野町	35
	3.2.5 梼原町	36
	3.3 奥四万十地域の今後の観光のあり方・考え方	37
	【視点1】「目的地」づくり	37
	【視点2】「通過客」を引き込む	37
	【視点3】地域に「金」が落ちる仕組みづくり	38
	【視点4】多様なターゲットに対してそれぞれ戦略を立てる	41
	【視点5】他地域との連携	42
	【視点6】時代の変化への対応	42
	【視点7】「産業振興」による「観光振興」	43
	【視点8】観光関連業の事業継続性の確保「エンジン」づくり	44
	【視点9】地域の産業連関を意識した戦略づくりと域内自給率の向上	45
	【視点10】観光によって生まれる交流による地域づくり	46
4	南四大人知业科内部未入八七	4.77
4.	奥四万十観光動向調査と分析	
	4.1 アンケート調査         4.2 交通量調査	
	4.3 直接効果・経済波及効果	
	4.4 奥四万十博の効果	81
5.	奥四万十地域での広域観光推進について	86
	5.1 広域観光とは(一般論)	86
	5.2 県の広域観光推進体制について	89
	5.3 県内の広域観光推進の動向	90
	5.4 広域観光推進の実施手順	99
	5.4.1 奥四万十地域観光のめざす姿	100
	5.4.2 現状把握と課題解決	101
	5.5 求められる旅行商品と観光資源の磨き上げ	108
	5.5.1 奥四万十地域で求められる着地型旅行商品とは	108
	5.5.2 奥四万十広域の「地域資源の掘起こし」と「観光資源の磨き上げ」	109

6.	奥四万十地域における広域観光推進	113
	6.1 広域組織体による広域観光推進	113
	6.2 広域組織体のやるべきこと	116
	6.3 広域観光推進組織の事業運営	. 120
	6.4 広域組織と地域組織の役割分担	. 122
	6.5 事業戦略・計画の進め方	. 125
7.	参考資料	. 127
	7.1 先進事例による広域観光の取組 – 「そらの郷」 –	. 127
	7.2 奥四万十観光動向調査の詳細	. 138
	7.2.1 アンケート調査データ	. 138
	7.2.2 交通量調査データ	. 152

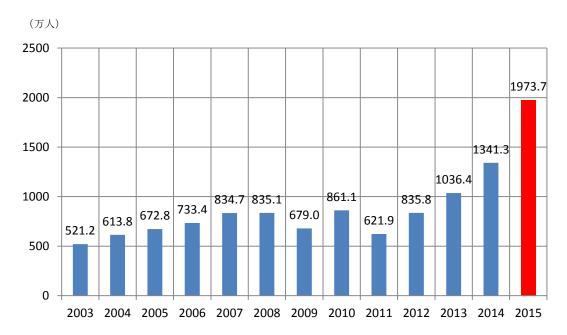
#### 1. 観光動向

### 1.1 国の動向

#### 1.1.1 訪日旅行の状況

「平成 28 年版観光白書」によると、アジア新興国等の経済成長により海外旅行者数が増加していることや、円安方向への動きにより訪日旅行への割安感が拡大していることなどの経済環境、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定や、「富士山」や「富岡製糸場と絹産業遺産群」、「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産登録、「和食」や「和紙」の無形文化遺産登録など、日本への国際的注目度が高まったことなどの影響により、2015年(平成 27年)の訪日外国人旅行者数は、過去最高であった 2014年(平成 26年)の1,341万人をさらに上回り、1,974万人(対前年比47.1%増)となり、3年連続で過去最高を更新したと同時に、統計を取り始めた1964年(昭和 39年)以降で最大の伸び率を記録している。

#### 【訪日外国人旅行者数の推移】

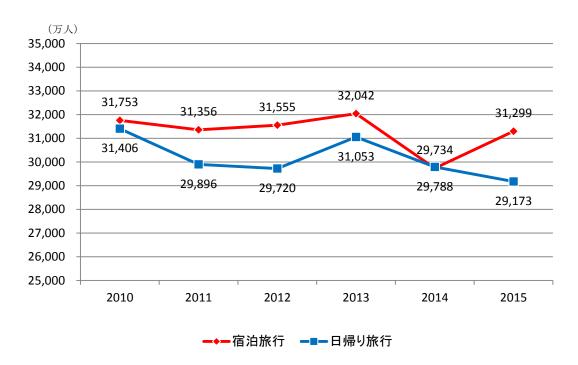


出典:公益財団法人日本交通公社「平成28年版観光白書」より

#### 1.1.2 国内旅行の状況

「平成 28 年版観光白書」によると、前年の消費税率引上げによる落ち込みの反動や、3 月に開業した北陸新幹線の開業効果、9 月の大型連休 (シルバーウィーク) などの影響によって、2015 年 (平成 27 年) に国内宿泊旅行に行った人数は延べ 3 億 1,299 万人 (対前年比 5.3%増) となり、一方で、国内日帰り旅行は延べ 2 億 9,173 万人 (対前年比 2.1%減)となっている。

# 【国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移】



出典:公益財団法人日本交通公社「平成 28 年版観光白書」より (白書での 2015 年の値は速報値であるが、本表は確定値にしている)

# 1.1.3 国 (観光庁) の方針

「明日の日本を支える観光ビジョン―世界が訪れたくなる日本へ―」(平成 28 年 3 月 30 日:明日の日本を支える観光ビジョン構想会議)によると、観光に関する政府目標は以下のとおりである。

【観光分野での政府目標】

	2020年	2030年
訪日外国人旅行者数	4000 万人	6000 万人
	(従来目標:2000 万人)	(従来目標:3000 万人)
訪日外国人旅行消費額	8兆円	15 兆円
	(従来目標:2000万人が訪れる年に4兆円)	
地方部 (三大都市圏以外) で の外国人延べ宿泊者数	7000 万人泊	1 億 3000 万人泊
外国人リピーター数	2400 万人	3600 万人
日本人国内旅行消費額	21 兆円	22 兆円

この目標を実現すべく、「観光ビジョン」において、「観光は、真に我が国の成長戦略と地 方創生の大きな柱である」とした上で、以下の3つの視点を柱として示している。

視点1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に

視点2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に

視点3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

この3つの視点を柱とし、目標達成のための取り組みが示されているが、奥四万十地域を含む「地方」での取り組みとして挙げられているキーワードに、「滞在型」、「体験」、「食」、「農林水産物」、「広域観光」、「エコツーリズム」、「テーマ別観光ルート」、「都市周遊」、「民泊」などがある。自動車部品産業の輸出総額に匹敵する約3.5兆円に達したといわれる「観光」産業をわが国の基幹産業へと成長させるため、地域に既にある「魅力」を再発見し、観光資源を磨き上げ、「訪日外国人旅行者」を多く呼び込むことによって、外貨を獲得しようというねらいである。

『めざせ!観光先進国。すなわち、全国津々浦々その土地ごとに、日常的に外国人旅行者をもてなし、我が国を舞台とした活発な異文化交流が育まれる、真に世界へ開かれた国。そこでは、次々と新たなサービスの創造やイノベーションが起こり、地域の産業・経済の足腰が強化されるといった好循環が創出される。』とも書かれているように、「観光」を「地方創生」への切り札、GDP600兆円達成への成長戦略の柱の一つとして位置付けている。

# 視点1. 観光資源の魅力を極め、「地方創生」の礎に

#### 【滞在型農山漁村の確立・形成】

- 美しい農山漁村において**日本の自然や生活を体感し**満喫してもらうため、以下の 取組を一体的に推進。
- ・「ディスカバー農山漁村の宝」として毎年約 20 地域を認定し、農山漁村の地域住民 の意欲・機運を向上
- ・「食と農の景勝地」として、**地域特有の食とそれに不可欠な食材を生産する農林水産業や景観等を活用**して訪日外国人をもてなす取組を、2016年度から認定開始し、 一体的に海外に発信
- ・食と農の景勝地の認定等と連携し、日本ならではの伝統的な生活体験と非農家を含む農村地域の人々との交流を楽しむ「**農泊」**を推進し、2020年までに全国の農山漁村で50地域を創出
- ・地域の農畜産物をおみやげとして円滑に持ち出すことができるよう、動植物検疫体制の整備を推進 等
- ・これらの取組を通じた、インバウンドと農林水産物・食品の輸出の一体的推進 【2020年の農林水産物・食品の輸出額1兆円目標の前倒し達成を目指す】

#### 【地方の商店街等における観光需要の獲得・伝統工芸品等の消費拡大】

- 地方における消費税免税店数の目標(現行:2020年に2万店規模へと増加)について、2018年での前倒し達成を目指す(地方部免税店数:2015年10月1日時点1万1137店舗)。
- 地方の商店街等における観光需要の獲得・伝統工芸品等の消費拡大に向け、2020 年までに以下の取組を実施。
- ・2020 年までに、計 50 箇所の商店街・中心市街地・観光地で街並み整備を、計 1500 箇所の商店街・中心市街地・観光地で外国人受入環境(免税手続カウンター、Wi-Fi 環境、キャッシュレス端末、多言語案内表示、観光案内所等)を整備
- ・市町村が旗振り役となり、地域資源の活用や農商工等連携による、訪日外国人向け の新商品・新サービスの開発(ふるさと名物の開発)を推進し、開発された「ふる さと名物」の応援を市町村が宣言する「ふるさと名物応援宣言」を促進(2020 年ま でに 1000 件を実施)
- ・世界に知られていない、日本が誇るべき優れた地方産品を500 選定するとともに、 それらに係る国内外での売上の把握手法の検討及びそれを踏まえた2020 年の目標 設定と海外における販売品目数の現状把握及び2020 年の目標設定を行うほか、海 外販路開拓を実施(2020年までに20 の国・地域で展開)
- ・2020 年までに、外国人受入可能な伝統的工芸品産地が 100 箇所以上になることを 目指す (現状 20 箇所程度)

#### 【広**域観光周遊ルート**の世界水準への改善】

- 広域観光周遊ルートの世界水準への改善に向け、以下の取組を実施。
- ・修景、体験プログラムの開発等に国から専門家チーム(パラシュートチーム)を派遣
- ・バードウォッチングやホエールウォッチング等の各地域の観光資源を活かしたエコッーリズムをつなぐルートなど、新たな観光需要を創出できる魅力あるテーマ別観光のルートをコンテスト方式で2016年度早期に選定し、集中支援・国、地方、民間等が連携した協議会を新たに設置し、道案内の充実など地域固有の魅力の更なる向上策を展開
- ・広域観光周遊ルート内で「**都市周遊ミニルート**」を選定し、歴史的道すじの再生、トイレ・休憩施設等の設置、地域のまちづくり団体の活動等をパッケージで重点支援

# 視点2. 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に

#### 【民泊サービスへの対応】

○ 自宅等を活用した民泊サービスについて、懸念される課題(治安、衛生、近隣トラブル等)に適切に対応しつつ、多様な民泊サービスの健全な普及が図られるよう、「民泊サービスのあり方に関する検討会」において、ルールづくりに向けて検討(本

年6月中を目途に最終とりまとめ)し、必要な法整備に取り組む。 (論点)

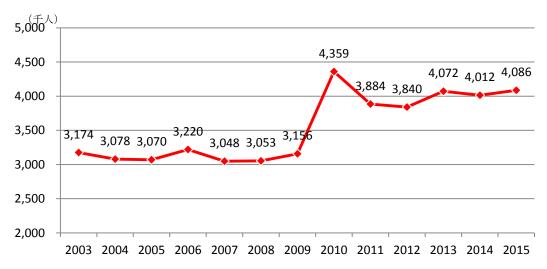
- ・「民泊サービス」の定義付け、「一定の要件」設定
- ・仲介業者、管理業者、ホスト、行政のそれぞれの役割・責務と、新たな規制の枠組 み
- ・宿泊者名簿や最低限の衛生管理措置の確保、行政による関係情報(ホスト・管理業者や物件の住所等)の把握、緊急時の行政の対応
- ・違反指導に係る十分な体制、罰則
- ・宿泊拒否制限の見直し
- ・近隣への迷惑行為の防止措置(管理規約、賃貸借契約との整理)
- ・仲介事業者等に対する実効性ある規制の検討
- ・現行制度の枠組みにとらわれない、宿泊施設に関わる法制度の抜本的見直し
- ・新たな規制の枠組みを踏まえた用途規制等他法令との関係整理

#### 1.2 高知県の動向

#### 1.2.1 県外観光客入込数の状況

平成 27 年県外観光客入込・動態調査報告書(高知県観光振興部観光政策課)によると、 平成 27 年に高知県を訪れた県外観光客入込数は、9月の連休の入込が非常に好調であった ことや、5月の大型連休についても入込が好調であったことに加え、「高知家プレミアム旅 行券」による入込客の増などの要因により、県外観光客数 408 万6千人と過去2番目の入 込数を記録し、3年連続で400 万人観光を達成した、とされている。

#### 【高知県における県外観光客の推移】



出典:高知県観光振興部観光政策課「平成27年県外観光客入込・動態調査報告書」

#### 1.2.2 高知県の観光政策

第2期高知県産業振興計画では、全国に通用する観光地づくりを進めるため、「旅行商品をつくる(観光資源の発掘・磨き上げ)」、「売る(PR・プロモーション」、「もてなす(受け入れ・リピーターの確保)」の3つの取り組みを柱に、「地域との連携による誘客戦略」、「スポーツツーリズム」、「国際観光」を推進してきた。

その中で、「地域観光の推進」として、「広域観光組織の取り組み」、「地域博覧会の開催」など、市町村単体での取り組みに加え、県内を6ブロックに分けた「広域での観光推進」を進めている。

第3期産業振興計画では、新たに5つの戦略の柱を掲げており、「外国人観光客にも対応する歴史・食・自然を連動させた観光地づくりをさらに推進」することが示されている。

戦略の柱1 戦略的な観光地づくり

戦略の柱2 効果的なセールス&プロモーション

戦略の柱3 OMOTENASHI(おもてなし)の推進

戦略の柱4 国際観光の推進

戦略の柱5 事業体の強化と観光人材の育成

この中で、「広域観光組織の体制及び機能強化」を図ると同時に、平成 29 年に開催される「志国高知 幕末維新博」を通じて歴史資源の磨き上げ(リアル化)や、観光クラスター形成を推進し、土佐の観光創生塾を活用した地域の事業者連携(地域観光クラスター化)の促進支援と地域の売れる観光商品づくりを支援するとしている。

これまでの産業振興計画の中で、「旅行者向けセールスキャラバンの実施」や、「旅行会社とタイアップした商品販売」、「海外旅行博でのプロモーション」、「クルーズ客船の受け入れ」といった取り組みが掲げられていることから、高知県の観光施策は、まず旅行会社が企画するツアーへの参加者などの団体旅行者を呼び込むことでボリュームを確保し、一連のPR活動の中で個人旅行者の訪問意欲も同時に刺激したい、という考え方で進められている。

#### 1.2.3 高知県の魅力

「じゃらん宿泊旅行調査 2016」(リクルートじゃらんリサーチセンター調べ)の「テーマ別・都道府県魅力度ランキング」によると、2014 年度には「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」で高知県が 1 位となった。2015 年度は 7 位であったが、「魅力のある特産品や土産物が多かった」では 2 位を、「地元の人のホスピタリティを感じた」では 3 位までランクを上げており、「現地で良い観光情報を入手できた」では、トップ 10 に入った。高知の「食」や「土産」、「人の温かさ」は、全国的に見ても高評価を受けるだけの魅力を持っていると考えられる。

#### 地元ならではのおいしい食べ物が多かった(単位:%) 地元の人のホスピタリティを感じた(単位:%)

	2015年度 順何	立
	全体平均	59
1	石川県	76
2	北海道	75. 1
3	沖縄県	74. 7
4	富山県	74. 3
5	香川県	73.4
6	鹿児島県	73. 1
7	高知県	72.4
8	長崎県	71.6
9	広島県	71.5
10	福岡県	71.4

	2014年度	順位
	全体平均	57. 9
1	高知県	77
2	北海道	75. 8
3	富山県	74. 8
4	鹿児島県	74.7
5	沖縄県	74. 2
6	石川県	73. 5
7	広島県	72. 1
8	香川県	71. 2
9	鳥取県	69. 9
10	熊本県	69.7

#### 魅力のある特産品や土産物が多かった(単位:%)

	2015年度 丿	順位	
	全体平均		48.8
1	沖縄県		69
2	高知県		63.7
3	北海道		62.7
4	石川県		61.4
5	熊本県		60.8
6	青森県		60.7
7	京都府		60. 2
8	富山県		60
9	鹿児島県		59.9
10	新潟県		59.3

	2014年度	順位	7
	全体平均		47. 4
1	沖縄県		69. 1
2	鹿児島県		66. 1
3	京都府		62. 1
4	石川県		61
5	北海道		60.4
6	長崎県		60
7	高知県		59.9
8	富山県		56. 1
9	青森県		55. 9
9	山形県		55. 9

	2015年度	順位
	2010年度	順位
	全体平均	24. 4
1	沖縄県	46. 5
2	長崎県	34. 3
3	高知県	34. 1
4	岩手県	33. 1
5	鹿児島県	32
6	宮崎県	31. 7
7	山形県	31. 6
8	徳島県	30. 7
9	熊本県	30. 5
10	北海道	30. 3

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- /
2014年度	頂位
全体平均	23. 1
沖縄県	47. 2
鹿児島県	34. 3
岩手県	31. 6
宮崎県	30.8
青森県	30. 6
長崎県	30. 2
福島県	29. 7
高知県	29
愛媛県	28. 8
熊本県	28. 8
	全体 鄉県 鬼鳥県 岩崎県 島県 長崎島県 高知県

#### 現地で良い観光情報を入手できた(単位:%)

	2015年度 順位	立
	全体平均	27. 5
1	沖縄県	46. 1
2	奈良県	41. 1
3	京都府	37. 3
4	青森県	36. 9
5	島根県	35. 9
6	北海道	35. 7
7	高知県	35.5
8	長崎県	33. 7
9	広島県	33. 3
10	愛媛県	33. 2

	2014年度 順·	位
	全体平均	25. 3
1	沖縄県	43.8
2	奈良県	36. 9
3	京都府	36
4	青森県	34. 2
5	鹿児島県	33
6	北海道	32. 3
7	長崎県	32. 2
8	広島県	31. 5
9	愛媛県	31. 1
9	熊本県	30.8

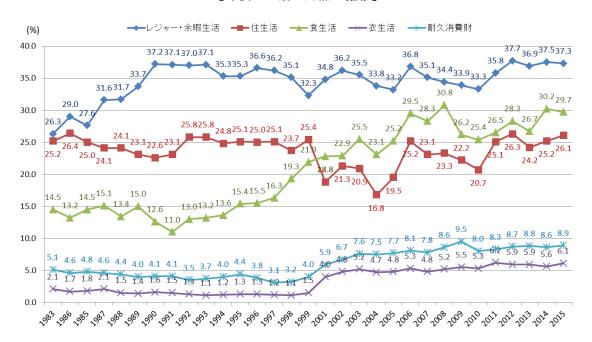
出典: じゃらん宿泊旅行調査 2016」(リクルートじゃらんリサーチセンター調べ

#### 1.3 国内旅行市場の傾向

# 一未だに強い「レジャー・余暇生活」志向一

国民が今後の生活で特に重点を置きたい分野としては、「レジャー・余暇生活」が 37.3% と最も多く、1983 年以来連続して第 1 位を占めており、旅行を含む「レジャー・余暇生活」の充実を望む人は常に高い割合で存在している。また、行ってみたい旅行タイプでは、「温泉旅行」、「自然観光」、「グルメ」が回答者の過半数を超え、上位 3 位を占めており、旅行者に対して行われた調査(「観光の実態と志向」)でも、旅先での行動について上位 3 項目は、「温泉を楽しむ」「食を楽しむ」「自然の風景や季節の花見を楽しむ」の順であった。

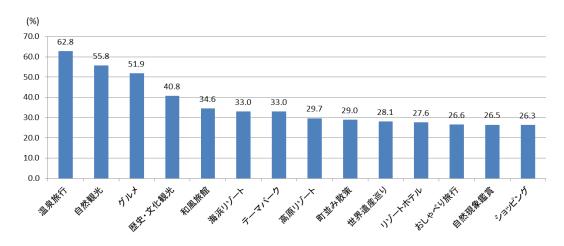
#### 【今後の生活の力点の推移】



- (注)1. 内閣府「国民生活に関する世論調査」(2015年) による
  - 2. 耐久消費財:自動車、電気製品、家具等
  - 3. 2000 年度は調査を行っていない

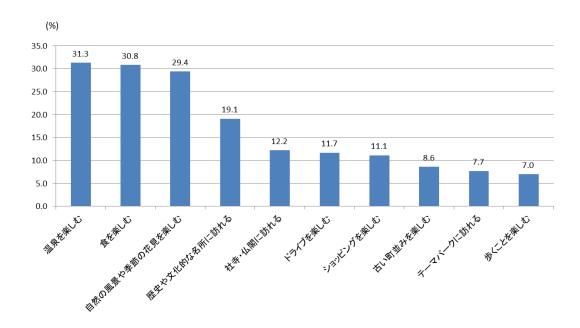
一般社団法人日本旅行業協会「数字が語る旅行業 2016」を参考にグラフ作成

#### 【行ってみたい旅行タイプ (複数回答)】



出典: (公財) 日本交通公社「旅行年報 2015」 (一社) 日本旅行業協会「数字が語る旅行業 2016」を参考にグラフ作成

#### 【旅先での行動について】

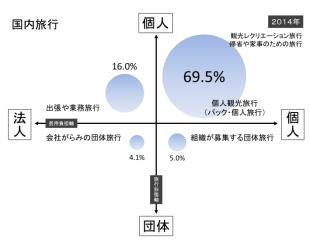


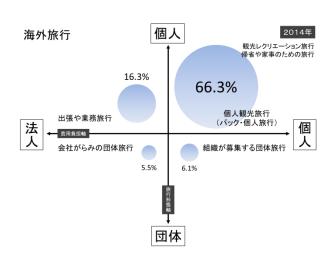
出典: (公社) 日本観光振興協会 平成27年度版「観光の実体と志向」 (公社) 日本観光振興協会 平成27年度版「観光の実態と志向」より作成

# -高まる「個人旅行」志向-

日本の旅行市場を「費用負担者」と「旅行形態」で区分すると、個人の費用負担による個人旅行が、国内、海外旅行とも7割を超え、増加の傾向にある。また、宿泊観光旅行同行者を見ると、「家族」「友人・知人」「家族と友人・知人」といった小グループ旅行が8割以上を占めており、「自分ひとり」も年々増加傾向にある。それに対して、「職場・学校の団体」、「地域(宗教・招待)等の団体」は年々減少傾向にあり、旅行者の「個人旅行」志向が高まっていることが伺える。

#### 【旅行市場の構造(宿泊旅行)】





(注)「団体旅行」とは、①町内・農協・郵便局・信金・宗教団体・サークルなどが募集する旅行(組織が募集する団体 旅行)と、②職場旅行や招待・報奨旅行など、団体で行動する旅行(会社がらみの団体旅行)であり、旅行会社の パック旅行に参加した場合は「個人旅行」に含めている。

出典:(公財)日本交通公社「旅行年報 2015」

一般社団法人日本旅行業協会「数字が語る旅行業 2016」を参考に図作成

# 【宿泊観光旅行同行者の推移(2014年度)】

(%)

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
家族	44	45.3	41.3	43.1	46.9	46	49.8	56.3	55.1	56	55.2
友人·知人	23.9	23.1	25.6	23.3	20.4	24.9	22.7	23.2	23.4	22.4	23.5
家族と友人・知人	13.6	14.6	13.6	13.3	12.3	12.5	12.1	4.2	3.8	4.8	4.5
職場・学校の団体	6.7	5.8	7.3	6.8	6.5	4	4.4	2.1	2.1	1.9	1.7
地域(宗教・招待)等の団体	3.8	2.7	3.9	3.8	3.3	3.2	3	1.1	0.9	0.7	0.8
自分ひとり	3.3	3.9	3.8	4.6	4.5	5.4	4.3	11.2	12.1	11.8	11.7

出典:一般社団法人日本旅行業協会「数字が語る旅行業 2016」を参考に表作成

#### -インターネット利用の拡大-

旅行の申し込みによく使う方法については、インターネットの利用が多くなってきており、男女とも7割近くがインターネットを利用して旅行の申し込みをしている。

# 

【旅行の申し込みに良く使う方法 (複数回答)】

出典:(公財) 日本交通公社「JTBF 旅行需要調査」より作成

一般社団法人日本旅行業協会「数字が語る旅行業 2016」を参考にグラフ作成

#### -個人旅行需要と価格の二極化-

国内旅行商品も低価格化が進み、低価格な航空機利用の宿泊商品や新幹線とホテルのセット商品などが登場する一方で、1泊数万円を超える高級旅館やクルーズトレイン「ななつ星」などが、人気を博すなど、需要と価格の二極化が進行している。

#### -増加する日帰り旅行-

近年、道路や鉄道の整備が進んだことにより、かつては宿泊しなければ行くことができなかった観光地への日帰り旅行が可能になり、また、宿泊旅行に比べて単価が低いことから、 日帰り旅行客が増加する傾向にある。

#### -新たな国内旅行ニーズー

単に有名観光地を巡るだけでなく、テーマや目的を明確にし、それに沿った訪問地・体験などを組み込んだ旅行の人気が高まっている。旅行者自身が「自分だけのオリジナリティーのある旅にしたい」という意識を持って旅行を計画・選択することが増えている。旅行業者から見ると、旅行者の趣味・嗜好が、従来の性・年齢別のステレオタイプに当てはまらなく

なっており、同じ趣味や嗜好を持つ人々が集まりその趣味をテーマにした旅行を企画する という傾向がさらに広まるものと見られる。

少子高齢化の中でペットを飼う家庭が急激に増加しており、旅行中のペットの世話をするサービスやペット同伴で利用できる宿泊・観光施設に対するニーズが高まっている。

観光・旅行関係インフラのバリアフリー化が進むにつれて、高齢者や障害をもつ人々の旅行も増えている。バリアフリー・ユニバーサルデザインに対する要求は今後ますます高まり、ハード面だけでなく、接遇や情報提供などのソフト面の充実も必要となる。

#### 2. 奥四万十地域の地理的条件と産業

#### 2.1 奥四万十地域の地理的条件と産業の歴史的な歩み

#### 2.1.1 地理的概要

奥四万十地域は、高幡圏域構成5市町(須崎市・四万十町・中土佐町・津野町・梼原町)の、山間部、河川沿いを主とした農耕地や台地、海岸部などで構成されており、5市町合わせて1,405.45 kmの面積を持つ。高知市から西に37km(須崎市)に位置し、吾川郡・土佐市・幡多郡・愛媛県西予市や上浮穴郡久万高原町、北宇和郡鬼北町・松野町と隣接している。

交通面では、R56(高知市方面、幡多方面)、R197(愛媛県北宇和郡鬼北町方面)、R440(愛媛県上浮穴郡久万高原町方面)、R381(愛媛県北宇和郡松野町方面)、R439(四万十市方面、大豊町方面)、R494(佐川町方面)の、6本の国道が通っている。また、高知自動車道の西の終点である須崎東ICがあり、さらに四万十中央ICまで伸びる高規格道路が走っていることから、幡多地域および愛媛県西南部と高知県中央部、さらには高速道を経由して四国全域、中国・関西地域に繋ぐ「交通の要所」であるといえる。

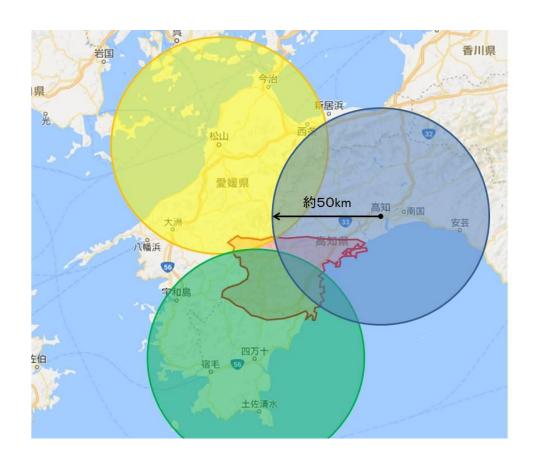
交通量が多いことに加え、自動車専用道の有料・無料各区間の終点が奥四万十地域内にある現在は、県西部および愛媛県西南部と高知県中央部を行き交う人が必ず訪れる場所となっている。

鉄道は、須崎市、中土佐町、四万十町を通っており、四万十町の窪川駅は、JR 土讃線と、 JR 予土線、土佐くろしお鉄道中村・宿毛線をつなぐ連絡駅となっている。

#### - 奥四万十地域の位置と移動時間-

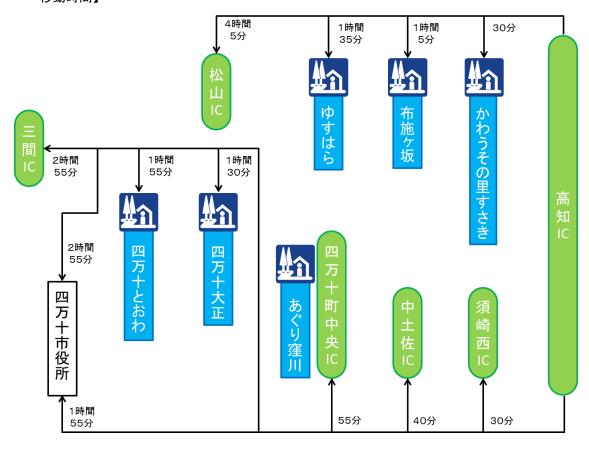
「ドライブ旅行に関するアンケート調査~ $SA \cdot PA$ 、道の駅の利用動向について~」(株式会社 JTB 総合研究所: 2013 年)によると、ドライブ旅行の平均的な移動時間は「 $5 \sim 6$  時間」までが 85.8%であり、その内、「 $3 \sim 4$  時間」が 42.9%を占めることから、ドライブ旅行における 1 日の移動距離は、 $100 \sim 200$  km 程度と推測される。日帰り旅行の場合を考えると、往復で  $50 \sim 100$  km の道のり、直線距離にして約  $30 \sim 65$  km(道のり:直線距離=1.6: 1 と仮定)が発地からの日帰り旅行圏であると考えることができる。

奥四万十地域は、高知市、幡多地域の中心となる四万十市、愛媛県松山市から約 50km 圏にかかっており、それぞれの場所からの日帰り旅行圏内にあると同時に、高知市から幡多地域へ、或いは高知市から松山市へ向かうルート(の一つ)のほぼ中間に位置している。

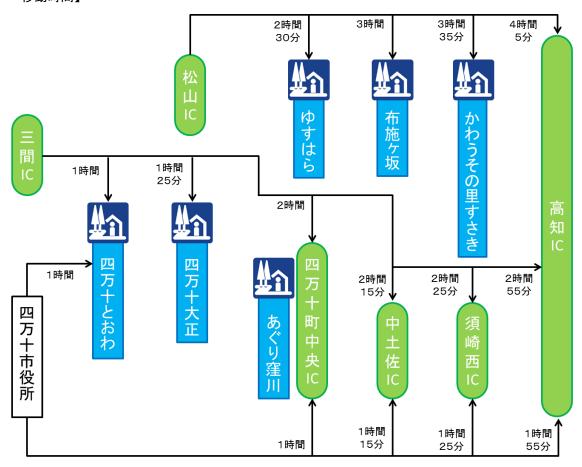


高知市から松山市を目指す場合に、高知 IC から高速道のみを使用して松山 IC へ移動すると約 2 時間で到着することができるが、高知市から奥四万十地域などを観光しながら松山市を目指す場合は、移動のみで約 4 時間かかる。同様に、大洲 IC までは 3 時間 30 分程度、三間 IC までは 3 時間程度の時間がかかる。また、高知市から四万十市を目指す場合は、移動のみで約 2 時間かかる。宿泊を除いた観光に関する諸活動(買い物、食事等)は、旅行全体にかかる時間からこの移動時間を差し引いた時間の中で行われる。

【高知 IC を起点に奥四万十地域経由で松山 IC、三間 IC、四万十市役所を目指した場合の 移動時間】



【松山 IC、三間 IC、四万十市役所を起点に奥四万十地域経由で高知 IC を目指した場合の 移動時間】



【奥四万十地域内の移動時間】



出典:奥四万十博 HP より引用

#### 1) 山間部

四国山地に抱えられた津野町、梼原町は、急峻な山間地域であり、標高 1,455m にもなる 全国的にも珍しい四国カルストや日本最後の清流四万十川の源流点である不入山を有して いる。川沿いを中心に集落が形成され、農業や林業が主要産業である。

津野町・梼原町は、平安末期から津野山郷として栄え、須崎港や久礼港を通じて京や大阪 との交易が行なわれており、米や木材、薪、炭、茶、楮・三椏などが都市部へ渡ったと言わ れている。

四万十川流域では、筏などを使った河川運輸が栄えた時代があり、下田港(四万十市)と の交流も盛んであった。

津野町では現在も茶の生産が盛んで、ブランド化を進めると同時に、スイーツ等の商品開発やレストラン・カフェ等の6次産業化を進めている。

また、林業が盛んである梼原町では、梼原町森林組合が国際的な森林認証制度の一つである FSC (Forest Stewardship Council (R)) 認証を平成 12 年度に団体として日本で初めて取得し、林産事業や木材加工、バイオマス利用等、林業を中心とした産業に力を入れており、木材やエネルギーといった地域資源利用への取組によって環境モデル都市にも指定されている。他にも、奥四万十地域は、四万十町大正の「四万十ヒノキ」など、良質な木材の生産地として知られている。

#### 2) 農耕地・台地

四万十町や大野見村の四万十川流域や、須崎市の新荘川、御手洗川、桜川、奥浦川等の流域は、肥沃な農耕地が拓けている。

米をはじめ、四万十町のショウガや須崎市のミョウガといった全国的に見ても生産量の 多い野菜などが生産されており、中土佐町大野見の「大野見米」や四万十町の「仁井田米」 などのブランド米をはじめ、「四万十ポーク」など、ブランド力のある農産物も多い。

特に四万十町の標高 230m に位置する高南台地には、約 2,000ha の農地が広がっており、 「高知県立農業担い手育成センター」や「次世代施設園芸団地」が作られるなど、県内でも 重要な農業生産地となっている。

#### 3) 海岸部

土佐湾に面した須崎市、中土佐町、四万十町窪川の海岸部は、温暖な黒潮とリアス式海岸と呼ばれる地形によって、横浪三里や双名島などの美しい景観と豊かな海産資源に恵まれ、古くから海運の要所であるとともに漁港としても栄えた。現在でも須崎、久礼、矢井賀、上ノ加江、志和、興津などでは、一本釣りや定置網などの沿岸漁業が、浦ノ内湾、野見湾などでの養殖漁業が営まれている。

漁業の発展とともに発展した漁師町は今も残り、中土佐町久礼の大正町市場は、地元住民の台所となっているほか、観光客も多く訪れている。また、「須崎の魚」や久礼の「鰹タタ

キ」、「メジカ」などはブランド化しており、養殖でも「海援鯛」、「乙女鯛」などのブランド 商品が作られている。

海運では、古くから関西への物流の拠点であった須崎港が、昭和に入って石灰石やセメントなどの積出港として整備が進み、昭和40年には国の定める重要港湾に指定された。平成22年には指定から除外されたものの、現在も1万トン以上の大型船舶が入出港する県内最大の国際貿易港に発展している。

#### 2.2 奥四万十地域の産業

#### 2.2.1 県内産業における奥四万十地域の構成比

高知県の産業別市町村構成比上位 10 位のうち、奥四万十地域 5 市町がランクインしている産業を挙げると、以下のとおりである。

農業では須崎市、四万十町が、林業では四万十町、梼原町が、水産業では須崎市、中土佐町がランクインしており、県内の第一次産業を支える地域であることが伺える。また、鉱業では津野町、須崎市、四万十町、中土佐町がランクインしていることも特徴的である。

#### 【高知県の産業別市町村構成比上位 10 位に入る産業】

須崎市	農業:県内第3位(9.4%: H25)								
	水産業:県内第3位(13.2%:H25)								
	鉱業:県内第7位(1.2%: H25)								
	製造業:県内第3位(13.2%:H25)								
	建設業:県内第8位(3.4%: H25)								
	電気・ガス・水道業:県内第 9 位(2.8%:H25)								
	卸売・小売業:県内第 5 位(3.1%:H25)								
金融・保険業:県内第 4 位 (2.2%: H25)									
	不動産業:県内第7位(3.2%: H25)								
	運輸業:県内第3位(7.1%:H25)								
	情報通信業:県内第8位(2.1%: H25)								
	サービス業:県内第 6 位(2.8%:H25)								
	政府サービス生産者:県内第 5 位(3.6%:H25)								
	対家計民間非営利サービス生産者:県内第 4 位(3.9%:H25)								
津野町	鉱業:県内第4位(2.2%: H25)								
梼原町	林業:県内第9位(4.5%: H24)								
中土佐町	水産業:県内第 10 位 (4.0%: H25)								
	鉱業:県内第9位(0.7%: H25)								
四万十町	農業:県内第6位(7.8%: H25)								

林業: 県内第2位(11.5%: H25)

鉱業:県内第8位(0.7%:H25)

建設業: 県内第6位(4.0%: H25)

卸売・小売業:県内第10位(1.7%: H25)

運輸業: 県内第 10 位 (1.5%: H25)

対家計民間非営利サービス生産者: 県内第10位(1.8%: H25)

高知県総務部統計課「平成25年度市町村経済統計書」

# 2.2.2 市町内総生産における第一次~第三次産業別構成比

奥四万十地域 5 市町の各市町内総生産における第一次~第三次産業別構成比を見ると、 県平均と比較して、5 市町全てで第一次産業が占める割合が高いといえる。また、第二次産 業についても中土佐町を除いて割合が高く、第三次産業の割合が低い傾向にある。このこと から、奥四万十地域の各市町にとって、第一次産業、第二次産業の振興が非常に重要である と考えられる。

【市町内総生産における第一次~第三次産業別構成比】

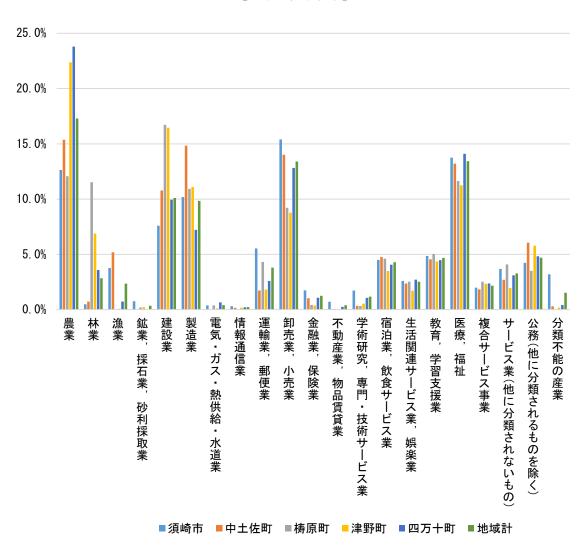
HOE	産業別構成比											
H25	第一次産業	第二次産業	第三次産業	その他								
須崎市	6.6	27.3	60.1	6								
津野町	7.2	19.6	73.5	-0.4								
梼原町	8.1	19.3	73.2	-0.5								
中土佐町	9.1	10.6	82	-1.7								
四万十町	11.6	15.9	73.1	-0.6								
高知県	3.7	14.5	81	0.8								

出典:高知県総務部統計課「平成25年度市町村経済統計書」

# 2.2.3 産業別従業者数

奥四万十地域5市町の産業別従業者数を見ると、全体的に「農業」に従事する人が多く、 次いで「医療、福祉」、「卸売業、小売業」となっている。

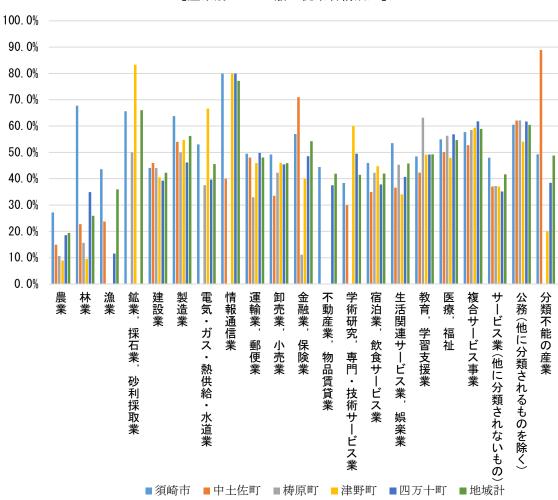
#### 【産業別従業者数】



出典:総務省統計局「平成22年国勢調査」より作成

#### 2.2.4 産業別 15~49 歳の従業者構成比

各産業における 15~49 歳の従業者構成比を見ると、第二次、第三次産業では奥四万十地域全体で平均すると 50%強を 15~49 歳の従業者が占めるのに対し、第一次産業では 27.1% にとどまっていることから、第一次産業従事者の高齢化や後継者問題が深刻である様子が伺える。

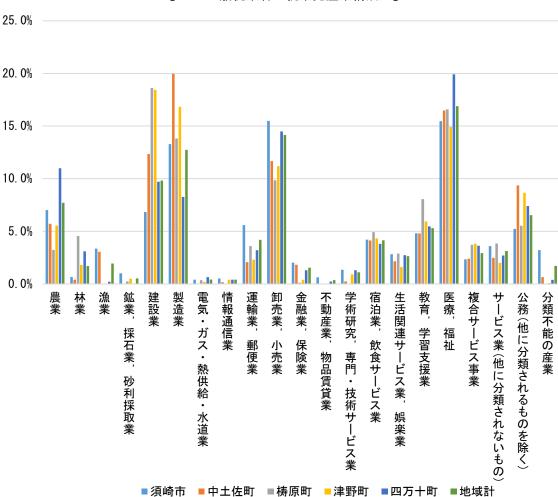


【産業別 15~49 歳の従業者構成比】

出典:総務省統計局「平成22年国勢調査」より作成

### 2.2.5 15~49 歳従業者の就業先構成比

15~49 歳従業者の就業先を産業別に見ると、奥四万十地域全体では「医療、福祉」が 16.9% と最も高く、次いで「卸売業、小売業」14.2%、「製造業」12.7%となっている。第一次産業に従事する 15~49 歳従業者は、「農業」、「林業」、「漁業」を合わせても 11.4%に留まっている。全世代の従業者の内での第一次産業従業割合が 22.5%であることと比較しても、働き盛り世代の「第一次産業離れ」が深刻であることが伺える。



【15~49 歳従業者の就業先産業構成比】

出典:総務省統計局「平成22年国勢調査」より作成

#### 2.2.6 奥四万十地域内の産業連関

奥四万十地域は高知県内の他地域と比較した場合に、第一次産業と「製材・木製品・家具」、「窯業・土石製品」、「鉄鋼・非鉄金属」の特化係数が高い特徴がある。域際収支を見てもこれらの移輸出が大きく、これらの産業が奥四万十地域における「稼ぐ」産業であると言える。経済波及の影響力係数を見ると、「製材・木製品・家具」、「飲食料品」、「鉱業」など第二次産業が、他産業への高い影響力を持っており、これらの産業を刺激することで、地域全体への、より大きい波及効果が期待できる。逆に経済波及に対する感応度は、「運輸」や「商業」、「対事業所サービス」で高い傾向が見られ、これらの産業は直接刺激しなくても波及効果を受けやすい産業であると考えられる。

特に、「農業」や「林業」は、影響力係数も感応度係数も比較的高く、さらに自給率も高いため、「漁業」も含めた第一次産業の生産波及指数が高い。第一次産業を軸に見ると、第一次産業を刺激することによって、第一次産業への直接効果だけでなく他産業への波及を呼び、地域の産業全体に経済的影響を与えることが期待できるとともに、他産業への高い影響力を持つ「製材・木製品・家具」、「飲食料品」、「鉱業」などの第二次産業を刺激することで、感応度係数の高い第一次産業へ波及させることもできる産業構造であるといえる。

【奥四万十地域の産業連関表から導き出した係数一覧】

		特化係数(対高知県)	域際収支		自給率	影響力係数	感応度係数	生産波及指数
	農業	2.413432431		14,800	83.6%	1.020	1.039	1.043892319
2	林業	2.297046275		407	96.4%	1.101	1.179	1.299599315
3	漁業	1.923722714		5,368	90.5%	0.969	0.949	1.073313197
4	鉱業	0.835028267		-11,602	4.5%	1.127	0.873	0.06172752
5	飲食料品	0.809147422		-7,829	22.1%	1.131	0.901	0.305377611
6	繊維製品	0.449279731		-2,228	0.8%	0.948	0.819	0.008783958
7	製材・木製品・家具	3.337880727		2,777	76.4%	1.256	0.992	1.174638497
8	パルプ・紙・紙製品	0		-1,942	0.0%	0.817	0.817	0
9	印刷·製版·製本	0.33504246		-950	11.0%	0.963	0.838	0.129225385
10	化学製品	0		-7,175	0.0%	0.817	0.817	0
11	石油·石炭製品	0.508914347		-10,315	0.7%	0.903	0.822	0.008200949
12	窯業·土石製品	6.555901988		16,479	90.7%	1.127	1.039	1.251718469
13	鉄鋼・非鉄金属	5.7274852 <mark>02</mark>		14,409	54.2%	1.004	1.317	0.666170323
14	金属製品	0.112348101		-4,308	1.6%	1.114	0.822	0.022361387
15	一般機械	0.776582629		-3,771	5.1%	0.999	0.833	0.0629817
	電気機械	1.132324615		-2,780		1.049	0.842	0.171935794
17	情報・通信機器	0		-3,418	0.0%	0.817	0.817	0
18	電子部品	0		-578	0.0%	0.817	0.817	0
19	輸送機械	0.258918807		-4,078	2.7%	1.035	0.828	0.033692102
20	精密機械	0.64392777		-753	0.9%	1.032	0.817	0.011294585
	その他の製造工業製品	0.651751501		-3,627		1.047	0.851	0.062447399
	建設	1.375914011		0		1.103	0.984	1.350444967
	電力・ガス・水道	0.856664345		-2,155	73.3%	0.965	1.255	0.866213748
	商業	0.688490059		-14,120	52.7%	1.043	1.471	0.673179566
	金融・保険	0.545237429		-7,832	47.9%	0.979	1.358	0.573716434
	不動産	0.811606455		-616	91.3%	0.890	1.055	0.995060984
	運輸	1.143421869		-2,815	55.5%	1.047	1.808	0.711318598
	情報通信	0.61928311		-4,997	55.6%	1.005	1.192	0.684340523
	公務	0.901589427		0	100.0%	0.933	0.983	1.14227535
	教育•研究	0.915661994		-65	88.2%	0.898	1.124	0.969718739
	医療・保健・社会保障・介護	0.677152065		-3,300	69.6%	0.945	0.827	0.805139215
	その他の公共サービス	1.529972783		1,339	100.0%	0.985	0.843	1.205790989
	対事業所サービス	0.632992161		-12,142	35.9%	0.927	1.402	0.407557565
	対個人サービス	0.712761791		-2,677	57.0%	0.986	0.839	0.687934286
	事務用品	0.818863493		-0	80.9%	0.987	0.849	0.978248412
36	分類不明	1.618739332		-28	84.0%	1.215	0.984	1.24997762

出典:高知大学 大崎優先生 提供資料

特化係数 …ある地域の産業の有する比較優位の程度を、その産業への特化の程度で測る指標。この表では、奥四万十地域の輸出総額に占める各産業の輸出額の比率を、高知県全体の貿易総額に占める同産業の貿易額の比率で割った値を示しており、1より大きいものは高知県全体に対して比較優位にあると考えることができる。

域際収支 …移輸出額から移輸入額を引いたもの。

影響力係数 …ある産業が産業全体へ与える影響力の大きさを産業間で相対的に比較するための指標。 影響力係数が1より大きい産業は相対的に与える影響力が大きい。

感応度係数 …ある産業が産業全体から受ける影響力の大きさを産業間で相対的に比較するための指標。感応度係数が1より大きい産業は相対的に受ける影響力が大きい。

生産波及指数…新たに需要が発生した時、その需要を満たすために奥四万十地域内の産業全体に新たな 生産を誘発する度合いを示した指数。

このような地域特性を基に産業振興を考える場合、例えば、『飲食料品の域内自給率向上』を目指す取り組みは、地域への経済波及効果を高めるのに有効であるといえる。産業連関表を見ると、「飲食料品」は、内政部門の「農業」や「漁業」からの購入が多いことから、奥四万十地域内の飲食料品業は、商品製造のために地域で取れた一次産品を多く購入(中間投入)しているといえる。しかし、「飲食料品」の域内自給率は22.1%と低く、地域内で消費される飲食料品の多くは域外からの移輸入した商品が占めている状態である。この「飲食料品」の自給率を向上させる、つまり地域内で製造されている飲食料品を地域内で積極的に消費することによって、「飲食料品」業への直接効果が生まれると同時に、製造時に中間投入される「農業」「漁業」に対しても大きな波及が見込まれる、ということがいえるのである。

# 【産業連関表】

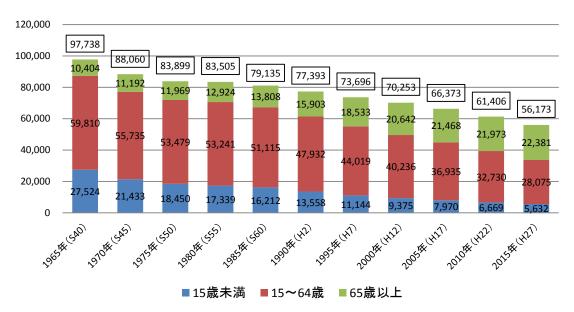
		5
	奥四万十地域	飲食料品
1	農業	1,177
2	林業	6
3	漁業	862
4	鉱業	0
5	飲食料品	845
6	繊維製品	7
7	製材·木製品·家具	4
8	パルプ・紙・紙製品	86
9	印刷·製版·製本	42
10	化学製品	53
11	石油·石炭製品	24
12	窯業·土石製品	16
13	鉄鋼•非鉄金属	10
14	金属製品	91
15	一般機械	0
16	電気機械	0
17	情報·通信機器	0
18	電子部品	0
19	輸送機械	0
20	精密機械	0
21	その他の製造工業製品	107
22	建設	7
23	電力・ガス・水道	81
24	商業	423
25	金融•保険	48
26	不動産	10
27	運輸	185
28	自家輸送	43
29	情報通信	23
30	公務	0
31	教育·研究	33
32	医療·保健·社会保障·介護	0
33	その他の公共サービス	3
34	対事業所サービス	149
35	対個人サービス	1
36	事務用品	3
37	分類不明	24

		域際収支	自給率
1	農業	14,800	83.60%
2	林業	407	96.40%
3	漁業	5,368	90.50%
4	鉱業	-11,602	4.50%
5	飲食料品	-7,829	22.10%
6	繊維製品	-2,228	0.80%
7	製材·木製品·家具	2,777	76.40%
8	パルプ・紙・紙製品	-1,942	0.00%
9	印刷・製版・製本	-950	11.00%
10	化学製品	-7,175	0.00%
11	石油•石炭製品	-10,315	0.70%
12	窯業·土石製品	16,479	90.70%
13	鉄鋼•非鉄金属	14,409	54.20%
14	金属製品	-4,308	1.60%
15	一般機械	-3,771	5.10%
16	電気機械	-2,780	13.40%
17	情報•通信機器	-3,418	0.00%
18	電子部品	-578	0.00%
19	輸送機械	-4,078	2.70%
20	精密機械	-753	0.90%
21	その他の製造工業製品	-3,627	4.90%
22	建設	0	100.00%
23	電力・ガス・水道	-2,155	73.30%
24	商業	-14,120	52.70%
25	金融•保険	-7,832	47.90%
26	不動産	-616	91.30%
27	運輸	-2,815	55.50%
28	情報通信	-4,997	55.60%
29	公務	0	100.00%
30	教育•研究	-65	88.20%
31	医療・保健・社会保障・介護	-3,300	69.60%
32	その他の公共サービス	1,339	100.00%
33	対事業所サービス	-12,142	35.90%
34	対個人サービス	-2,677	57.00%
35	事務用品	0	80.90%
36	分類不明	-28	84.00%

# 2.3 人口

奥四万十地域の人口は、2015(平成 27)年現在で5市町合わせて56,173 人である。50年前の1965(昭和 40)年と比較すると、42.5%減少している。また、65 歳以上の占める割合を示す高齢化率は、1965(昭和 40)年の10.6%から2015(平成27)年現在では39.8%となっている。

【奥四万十5市町の総人口と年齢(3区分)別人口】

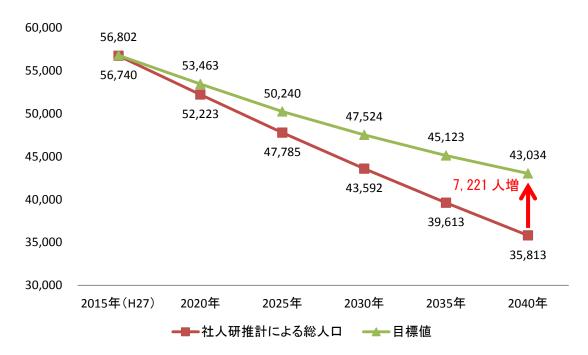


出典:総務省統計局「国勢調査」(1965年~2015年)より作成

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」の推計(以下、社人研推計)によると、奥四万十地域5市町の総人口は2040年には35,813人とされているが、5市町それぞれが人口ビジョン・総合戦略を策定し、奥四万十地域全体で43,034人という人口目標が立てられている。

この人口目標達成に向け、各市町とも、産業振興と雇用環境の充実・働く場の確保、Uターン就職の促進、妊娠・出産・子育て支援と環境整備、住宅供給基盤の整備、移住定住の促進などの取り組みを行っているところである。どの市町も、産業を振興し人口減少に歯止めをかけるためにあらゆる施策を行っており、観光についても、各市町の特徴を生かし、各市町の掲げる重点施策の効果を向上させる、あるいは産業振興・人口増に寄与するようなあり方を追求しなければならない。

# 【社人研推計と奥四万十5市町の人口ビジョンに示された目標値】



出典:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、 奥四万十5市町策定「人口ビジョン」を基に独自推計

# 【奥四万十5市町の将来展望人口】

	自然減	社会減				
須崎市	平成 32 年(2020 年)の合計特殊出	平成 37 年(2025 年)までに社会				
	生率を 1.64 とし、さらに平成 72 年	減から社会増への転換を図ると				
	(2060年) に 2.48 まで段階的に上	ともに、平成 52 年(2040 年)に				
	昇することを目指す。	は年間 70 人程度の社会増を目指				
		す。				
津野町	合計特殊出生率を 2040 年(平成 52	2019年(平成 31年)には、社会増				
	年)に、人口置換水準(2.07)まで段	減を均衡(転出数と転入数が同				
	階的に回復させ、2050 年には 2.27	数)させ、2020 年(平成 32 年)以				
	まで段階的に上昇させて、2.27 の維	降は転入超過による社会増を、				
	持を図る。	2040 年(平成 52 年)以降は年間 8				
		人の社会増を目指す。				
梼原町	合計特殊出生率 1.79【H26】→1.82	転入者数 946 人【H27~H31】				
	【H31】(2040 年度末 2.07)	過去5年間比72%増加				
	出生数 23 人/年【H26】→25 人【H27	転出者数 418 人【H27~H31】				
	~H31]	過去5年間比24%抑制				

	死亡者数 70人/年【H27~H31】	
中土佐町	2040 年までに 2.07(人口置換水準)、	2060 年までに、子育て世代を
	2050 年までに高知県民の希望水準	1,700 人、シニア世代を 240 人、
	2.27 と段階的に上げて	合計 1,940 人の追加的転入者の
	いくことを目指す。	誘致をめざす。
四万十町	2040年までに段階的に合計特殊出生	年間 20 組(40 人)の移住を見込
	率が 2.18 に上昇することを見込む。	む。
		29 歳以下の転出超過人口を 2030
		年までに段階的に3割抑制する。
		(社人研推計準拠の純移動率の 3
		割)

出典:奥四万十5市町策定の「人口ビジョン」より

# 3. 奥四万十地域の観光特性

#### 3.1 奥四万十地域の観光の現状

「県外観光客入込・動態調査報告書」(高知県観光振興部観光政策課:平成 24~27 年)の「観光動態調査ルート分析」によると、県内7地域の内、旅行者が最初に立ち寄った地域が「高幡地域」である割合は、平成24年から平成27年までの4年間の平均で、県外からの旅行者が約8.5%、県内旅行者が約14.5%であった。県外からの旅行者は、発地が高知から遠いブロックであるほど高幡地域を訪れる割合が少ない傾向が見られる。

また、旅行形態別に見ると、どの形態も約 10%程度が高幡地域を訪れているが、「団体」 は近年減少傾向にあり、「家族」や「一人」が増加する傾向が見られる。

【発地ブロック別・旅行形態別旅行中で最初に立ち寄った地域】 高幡地域(%)

	県 外 全 体	四国	近畿	中国	関東	その他 の地域 ブロック	高知県	家族	友人知人	団体	一人
平成 24	7.4	9.9	5.2	6.1	5.7	7.2	13.6	8.5	10.8	16.8	8.6
平成 25	8.8	12.0	8.0	7.8	7.4	3.6	12.8	10.5	9.3	4.7	8.5
平成 26	9.2	11.0	8.9	11.2	5.4	6.5	14.1	10.1	12.1	8.7	11.1
平成 27	8.7	10.8	8.4	7.0	7.3	6.6	17.5	10.9	11.7	6.1	11.7
平均	8.5	10.9	7.6	8.0	6.5	6.0	14.5	10.0	11.0	9.1	10.0

出典:「県外観光客入込・動態調査報告書」(高知県観光振興部観光政策課:平成 24~27年)

また、「周遊ルート分析」によると、「高幡」地域内での周遊は、同4年間平均で、県内全体の3.6%である。高知市内、幡多地域内での周遊割合と比較すると、厳しい数字である。しかし、「高知市→幡多」、「幡多→高知市」の2地域間の周遊も、それぞれ「高幡」地域内での周遊と同程度の割合を持っており、仮にこの移動する観光客全てを高幡地域に取り込むことができれば、幡多地域と同程度の割合を占めることができることになる。

周遊ルート(%)

	高幡	高知市→幡多	幡多→高知市	高知市	幡多
平成 24 年	3.2	3.3	2.7	17.0	11.4
平成 25 年	3.2	4.4	3.4	16.8	11.9
平成 26 年	4.6	2.9	3.7	15.5	8.9
平成 27 年	3.4	4.0	3.2	13.8	11.0
平均	3.6	3.7	3.3	15.8	10.8

旅行目的割合を立寄市町村別(各市町村内比較)で見ると、「須崎・中土佐」は「食べ物」「休養」「帰省・しごと」の割合が、「梼原・津野」は「自然見物」「なんとなく」「食べ物」の割合が、「四万十町」は「神仏霊場」「自然見物」「食べ物」の割合が例年高く、高幡5市町を合わせると、「食べ物」「自然見物」「なんとなく」の順で高くなっている。「須崎・中土佐」の「食べ物」は、鍋焼きラーメンや海の幸が、「四万十町」の「神仏霊場」は、四国八十八か所霊場の一つである岩本寺が重要な旅行目的になっている様子が伺える。

【立寄市町村別旅行目的割合(H24~27)(%)】

		須	奇・中土	.佐			横	原·津野	7				四万十	町		r -t- m- 177 44-			県平均		
	H24	H25	H26	H27	平均	H24	H25	H26	H27	平均	H24	H25	H26	H27	平均	5市町平均	H24	H25	H26	H27	平均
自然見物	9.0	7.4	5.2	7.2	7.2	25.8	54.0	26.7	25.5	33.0	17.0	17.2	8.1	21.2	15.9	18.7	19.8	24.4	18.2	19.1	20.4
休養	19.9	8.7	9.8	13.4	13.0	4.5	1.6	2.2	5.5	3.5	9.5	6.1	5.4	8.3	7.3	7.9	8.0	5.7	3.8	5.5	5.8
祭り	2.7	1.5	1.4	1.0	1.7	0.0	0.0	2.2	0.0	0.6	2.0	0.4	2.0	2.6	1.8	1.3	5.3	3.4	1.1	1.1	2.7
アウトドア	3.1	5.3	3.3	2.6	3.5	1.5	6.3	13.3	10.9	8.0	2.0	4.9	4.7	3.2	3.7	5.1	1.9	4.1	2.5	3.0	2.9
スポーツ	0.4	0.3	0.4	0.0	0.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	1.0	0.4	0.4	0.6
食べ物	30.7	39.9	42.0	33.7	36.6	6.1	19.0	15.6	23.6	16.1	10.2	16.8	14.1	9.6	12.7	21.8	9.0	13.3	16.7	17.8	14.2
神仏霊場	0.5	0.2	0.5	0.5	0.4	1.5	0.0	4.4	0.0	1.5	20.4	22.5	24.8	28.2	24.0	8.6	2.6	3.7	3.6	3.2	3.3
買い物	1.8	10.1	7.1	14.7	8.4	0.0	1.6	0.0	1.8	0.9	4.1	3.7	4.7	1.3	3.4	4.2	2.4	3.1	3.7	4.4	3.4
名所旧跡	6.8	6.3	6.3	3.4	5.7	13.6	11.1	13.3	7.3	11.3	12.9	12.3	13.4	7.7	11.6	9.6	27.9	25.2	31.7	25.3	27.5
なんとなく	11.0	4.5	6.9	11.0	8.3	33.3	6.3	15.6	21.8	19.3	13.6	4.5	7.4	8.3	8.5	12.0	11.2	6.5	8.0	8.7	8.6
観光・その他	5.7	4.7	0.9	0.8	3.0	9.1	0.0	2.2	0.0	2.8	2.7	2.9	0.7	1.3	1.9	2.6	3.3	1.9	0.7	1.1	1.8
帰省・しごと	8.3	10.2	16.1	11.5	11.5	3.0	0.0	4.4	3.6	2.8	4.8	8.6	13.4	7.7	8.6	7.6	7.7	7.5	9.2	9.8	8.6
その他	0.2	0.9	0.2	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.5	0.5	0.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

なかでも、「須崎・中土佐」は、県内他市町村と比較してもシェア率が高く、「食べ物」や「休養」、「買い物」は、「高知市」に次ぐシェア率を持っている。

【旅行目的別立寄市町村割合 高知、須崎・中土佐、黒潮・四万十市 比較(H24~27)】(%)

	平成24年			平成25年			平成26年			平成27年		
	高知	須崎·中土佐	黒潮·四万十市									
自然見物	27.5	2.7	10.2	32.1	1.9	12.5	29.8	1.7	11.9	30.7	2.6	14.8
休養	33.2	14.7	9.5	37.2	9.7	7.7	23.7	15.4	6.0	34.1	16.6	5.3
祭り	66.2	3.0	2.0	56.4	2.8	8.2	27.6	7.6	16.2	32.4	5.9	9.8
アウトドア	21.9	9.3	22.4	22.2	8.2	18.2	14.4	7.9	18.3	24.2	5.9	23.8
スポーツ	22.2	4.4	31.1	57.6	2.0	25.3	33.3	6.1	18.2	57.1		5.7
食べ物	41.7	20.3	8.4	41.3	19.2	7.6	46.5	15.0	7.7	50.0	12.8	5.1
神仏霊場	11.2	1.2	9.2	14.1	0.3	3.9	18.4	0.9	6.0	16.8	1.0	2.7
買い物	41.4	4.5	18.5	23.0	21.1	17.0	24.6	11.3	20.0	24.0	23.0	15.3
名所旧跡	44.3	1.4	5.1	47.3	1.6	6.4	49.6	1.2	5.8	43.5	0.9	5.4
なんとなく	23.0	5.8	13.0	20.0	4.4	13.5	17.2	5.1	8.7	21.4	8.6	7.1
観光・その他	29.0	10.3	10.0	28.4	15.4	11.9	37.1	8.1	6.5	42.9	5.1	8.2
帰省・しごと	35.1	6.3	9.2	32.5	8.8	12.6	30.8	10.4	12.4	31.5	7.9	13.5
その他	53.6	3.6	10.7	62.5	25.0	4.2	41.7	2.1	10.4	20.5	2.3	15.9
全体	36.0	5.9	8.9	38.4	6.4	10.1	36.8	6.0	9.1	36.1	6.8	9.1

※ **白抜き** は旅行目的で1位、 **太字** は同2位

## 3.2 各市町の観光の現状把握

奥四万十地域 5 市町の観光の現状、課題を認識し今後の観光振興につなげていくための 視点として、地域資源、観光に対する体制、各市町の総合戦略、ヒアリングをもとにそれぞ れ以下に述べていく。

### 3.2.1 須崎市

須崎市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「多種多様な魅力ある観光による交流 人口の拡大に取り組む」として、「体験・民泊事業の観光産業化に向けた観光協会の法人化」 「広域観光推進」「須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光推進」等が挙げられて いる。

観光資源台帳に記載の観光資源 が須崎市には5つあるが、そのう ちの3つは季節・期限が限られる ものであり、さらなる地域資源の 発掘・磨き上げが必要である。市の 担当者へのヒアリングでも資源が 少ないことは触れられており、同 時に「食」「教育旅行」で交流人口 の拡大を目指したい、とのことで

#### 【須崎市の観光資源】

名称	資源分類
スカイベイゴルフクラブ	スポーツ・レクリエーション
桑田山雪割り桜	自然(行催事・イベント)
須崎まつり	自然(行催事・イベント)
くろしおフェア i n すさき	自然(行催事・イベント)
道の駅「かわうその里すさき」	その他

出典:平成26年度 (財)日本交通公社「観光資源台帳」より

ある。「食」に関しては全国的にも有名な「鍋焼きラーメン」があり、誘客に効果のある資源と考えられる。「教育旅行」においては宿泊施設数の不足が同じくヒアリングにより挙げられた。須崎市内の宿泊施設に関しては、施設数 19、総定員数 472 と奥四万十地域内では2番目の規模であるが、他の市町と比較してビジネス客が多いことから、受け入れに十分な体制とは言い難い現状である。

須崎市には商工会議所内に任意団体として「須崎市観光協会」があるが、現時点では法人 化はされていない。総合戦略では、法人化により「体験メニューの充実と民泊受入世帯数の 拡大に取り組むことで、教育旅行などの募集型企画旅行の観光産業化を図る」とあり、法人 化により一定の規模の集団を呼び込むことでの交流人口拡大が目標とされている。

体験型観光の推進に関しては、マリンスポーツ体験が充実しており体験者数も増加の傾向にあるが、KPIの目標数値にはさらなる誘客が必要である。

※この項に記載の観光資源とは、(財)日本交通公社を事務局とする「観光資源評価委員会」において検討し選定したものである。

#### 【須崎市】

目標	現状	取り組むべき課題	
・体験・民泊事業の観光産業	・観光資源の不足	・観光資源の発掘・磨き上げ	
化に向けた観光協会の法人	・宿泊施設の不足	・宿泊客受け入れ体制の強化	
化	<ul><li>スポーツ体験のさらなる充</li></ul>	<ul><li>スポーツ体験プログラムの</li></ul>	
• 広域観光推進	実・参加者増	磨き上げ	
・須崎市立スポーツセンター			
を活用した体験型観光推進			

# 3.2.2 中土佐町

中土佐町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「地域の特徴を活かした観光業の強化」の中で「地域ブランドの醸成」「文化財を活かした観光振興」「自然を活かしたスポーツ観光の振興」の3つに取り組むとしている。

観光資源台帳に記載の 観光資源が中土佐町には 4つ記載されており、そ のうちの2つがイベント である。年間を通して誘 客できる観光資源は2つ であるが、右の観光資源 台帳にも関連するものが

#### 【中土佐町の観光資源】

名称	資源分類
黒潮本陣	温泉・健康
かつお祭	自然(行催事・イベント)
久礼八幡宮大祭	自然(行催事・イベント)
久礼大正町市場・市場のめし屋「浜ちゃん」	都市型観光 - 買物・食 -

出典:平成26年度 (財)日本交通公社「観光資源台帳」より

2つ書かれているように、中土佐町の最大の資源は「かつお」である。町の担当者へのヒア リングでも、漁業の振興が第一に優先される事項であるとのことである。中土佐町では現在、 地産物品の販売を中心とする新しい戦略的販売施設の建設が進められており、この中に観 光案内の窓口が設置される予定である。

また、中土佐町の産業・観光両方の中心である大正町市場では事業者の高齢化が進み、人材(とくに担い手)の確保が大きな課題であるとの話も聞かれた。こうした町の状況の中で、町内、行政内ともに人材不足が大きな課題となっている。

中土佐町内の宿泊施設は施設数 8、総定員数 234 (定員が判明した 5 件の合計) であるが、いずれの施設も団体客の受け入れ体制は整っておらず、今後の方向性として現実的なのは宿泊客を増加させるよりもまずは漁業の収益を増やすために立ち寄り客を増やしていくほうが望ましい。

#### 【中土佐町】

目標	現状	取り組むべき課題
・地域ブランドの醸成	・地域内での人材不足(行政・	・人材の確保
・文化財等を活かした観光	地元とも)	<ul><li>外貨獲得の仕組み整備</li></ul>
振興	・宿泊施設の不足	
・自然を生かしたスポーツ	<ul><li>地元の産業を整えることが</li></ul>	
観光の振興	優先	

#### 3.2.3 四万十町

四万十町は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で「広域観光組織の連携と交流人口の拡大」「滞在型観光」「観光拠点施設整備事業」「道の駅整備事業」等を目指すとしている。また平成29年度からが対象となる「第2次四万十町総合振興計画(素案)」の中では「交流の促進」を目的として「観光資源活用計画の策定と実施」「観光拠点の機能強化」「イベント開催」「広域観光や体験型観光を通じた交流の拡大」を目指すとしている。

観光資源台帳には特

A級、A級の観光資源として 11 の資源が登録されており、加えて最大の資源として「四万十川」(観光資源台帳では四万十市所属)がある。

一方で町の担当者へのヒアリングによると、宿泊施設の不足等、受け入れ体制に課題があるとのことである。「第2次四万十町総合振興計画(素案)」の中にも「観光資源活用計画の策定と実施」とあるように、

【四万十町の観光資源】

名称	資源分類		
海洋堂ホビー館四万十	歴史・文化		
海洋堂かっぱ館	歴史・文化		
高南カントリークラブ (現:スカイヒル ゴルフクラブ)	スポーツ・レクリエーション		
岩本寺	歴史・文化		
ホテル松葉川温泉	温泉・健康		
興津海水浴場	スポーツ・レクリエーション		
道の駅あぐり窪川	その他		
米こめフェスタ	自然(行催事・イベント)		
道の駅四万十大正	その他		
道の駅四万十とおわ	その他		
こいのぼりの川渡し	自然(行催事・イベント)		

出典:平成26年度 (財)日本交通公社「観光資源台帳」より

観光資源を有効に活用するためにも観光資源の磨き上げや受け入れ体制の整備等のそれぞれの課題を総合的に行っていく必要がある。

四万十町には観光を推進する組織として「一般社団法人 四万十町観光協会」があり、奥四万十地域内では唯一、法人格を持つ観光協会である。平成27年に旅行業を取得しており、企画・営業を行えるように組織を強化している途上である。

宿泊施設も町内に29件(判明した総定員数653)あり、宿泊施設数、総定員数ともに奥

四万十地域内では最大であるが、団体客を受け入れることが可能な施設が多くないこと、事業者の高齢化が進んでいること、などの課題があり余裕があるとは言えない状況である。

## 【四万十町】

目標	現状	取り組むべき課題
・広域組織の連携と交流人口	・観光資源の連携ができてい	・観光資源の磨き上げ
の拡大	ない	・人材の確保
・滞在型観光拠点施設整備事	・企画・営業面での機能不足	・地域の受け入れ体制の強化
業	・宿泊の受け入れ体制が弱い	
・道の駅整備事業		

# 3.2.4 津野町

津野町は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で「雇用創出や交流人口拡大」を目指す取り組みとして「宿泊、体験・滞在型観光」「広域観光推進」が挙げられている。

観光資源台帳の特 A 級、A 級の資源として津野町においては二つの観光資源が挙げられている。観光資源については四万十源流点などの自然

#### 【津野町の観光資源】

名称	資源分類	
四国カルスト天狗高原	自然(行催事・イベント)	
高原ふれあいの家 天狗荘	自然(行催事・イベント)	

出典:平成26年度 (財)日本交通公社「観光資源台帳」より

資源や、満天の星のほうじ茶大福などの食資源もあり、魅力的な観光資源が潜在していると 考えられる。

宿泊施設に関しても、町内の宿泊施設数が9、総定員数が285であり宿泊型の観光を推進する上では不足していると考えられる。一方で体験・滞在型の観光という点においては、奥四万十博に合わせて10の体験プログラムを新設しており、参加者数も大幅に増え効果が認められた。

町の担当者へのヒアリングによると、「観光を推進していく前にまずは町内での体制整備が必要」であるが、「観光を主体的に進めていく民間の存在」がいないという現状もあり、 具体的な取り組みを始めるよりも前に、人材発掘(または育成)等の地域内での体制構築が必要であるとのことである。

#### 【津野町】

目標 (総合戦略)	現状	取り組むべき課題
・宿泊、体験・滞在型観光	・観光を推進する主体がない	・観光資源の発掘・磨き上げ
• 広域観光推進	・観光資源の不足	・人材の確保
	・地域人材の不足	・地域の受け入れ体制の強化
	・宿泊施設の不足	

## 3.2.5 梼原町

梼原町では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で「交流人口の拡大」を目的として 「広域観光の継続的な推進をするための地域全体の観光をコーディネートできる組織の立 上げと人材育成」を目指すとしている。

観光資源台帳における 梼原町の特 A 級、A 級の 資源としては 5 件の記載 があるが、そのうちの 4 件は太郎川公園を中心と した道の駅ゆすはら周辺 に存在する。ほかにも四 国カルストが観光資源と して津野町(天狗高原)

### 【梼原町の観光資源】

名称	資源分類
雲の上の温泉	温泉・健康
雲の上の市場	都市型観光 - 買物・食 -
太郎川公園	自然(行催事・イベント)
梼原千百年物語り資料館	歴史・文化
雲の上のレストラン	スポーツ・レクリエーション

出典:平成26年度 (財)日本交通公社「観光資源台帳」より

と愛媛県西予市 (大野ヶ原) に登録されている。これらに訪れた観光客が梼原町で宿泊する こともあり、宿泊施設や飲食店の体制を整えることで、より地域内での消費を増やせる可能 性がある。

一方で町の担当者へのヒアリングでは、町内は慢性的な人材不足でありイベント等の運営も実質は行政主導で行われることが多いとのことである。

梼原町では現在、「人の心と体の健康を再生する」というコンセプトを持つ「ゆすはら丸ごとクリニック構想」の拠点として「道の駅ゆすはら」の整備が計画されている。町内だけでなく、町外の人も受け入れて交流人口を増やすという狙いもあり、同時に物販機能等も集約することで経済循環や雇用の創出等も図りたいとのことである。

#### 【梼原町】

目標	現状	取り組むべき課題
・広域観光の継続的な推進す	<ul><li>地域人材の不足</li></ul>	・人材の確保
るための地域全体の観光を	<ul><li>宿泊施設の不足</li></ul>	・地域の受け入れ体制の強化
コーディネートできる組織		
の立上げと人材育成		

## 3.3 奥四万十地域の今後の観光のあり方・考え方

## 【視点1】「目的地」づくり

### ・「他には無い、ここにしか無い」ものをつくり、人を呼び込む。

最も基本的であり当たり前のことだが、旅行の目的となるような魅力的なものが奥四万十地域内に存在すると、観光客は奥四万十地域に集まる。地域内にある資源を磨き上げ魅力的なものにする、あるいは魅力あるものを新たに作り上げる必要がある。「他には無い、ここにしか無い」ものであればあるほど魅力は高まり、他との差別化にもつながるため、「当たり前」でないものを生み出すことが重要である。

手つかずの自然・秘境

ここでしか味わえない体験

ここにしかない文化・歴史

ここにしかいない人

ニッチな世界

他にはないサービス

○○の聖地

○○の舞台

他にはない取り組みや先進・成功事例

新しいコミュニティー

など

## 【視点2】「通過客」を引き込む

- •「立寄り客」のニーズを満たすと同時に滞在時間を延ばす。
- ・「通過客」に奥四万十地域内に「立寄る理由」を作り、「立寄り客」にする。

奥四万十地域の地理的特性として、「高知市」や「幡多地域」、「松山市」、「西南予地域」から  $1\sim2$  時間程度の位置にあることは、前述のとおりである( $2\cdot1\cdot1$  地理的概要)。このことは、「観光客が通過してしまう」デメリットと捉えられることもあるが、「必ず通る場所である」というメリットと捉えることもできる。一般的に、ドライブ旅行中のトイレ休憩は  $1\sim2$  時間おきに取られる。また、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)は、長距離運転時には 2 時間に 1 回休憩を取ることを推奨している。このようなことから、奥四万十地域は、立地条件から「通過客」にとって「立寄る場所」になりやすい場所であるといえる。

このメリットを活かし、さらに多くの通過客を地域内に引き込み、地域内での消費につなげるためには、奥四万十地域内に「立寄る理由」を作らなければならない。特に、直接消費につながるものや必要に迫られるものに対する観光客のニーズにどれだけ答えられるかが、「通過客」を地域内に引き込めるかどうかの重要なポイントになると考えられる。

多くの「通過客」が旅程を組む際に、「 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ (奥四万十地域内)に寄って $\triangle\triangle$ してから $\square$ (目的地)に行こう」となるためには、「立寄る場所」としてのイメージ構築も必要となる。特に、今後広域規格道路が延伸し、奥四万十地域をバイパスして移動が可能となった時には、「わざわざ IC を下りる」だけの「立寄る理由」が必要となるため、【視点1】「目的地」づくりと併せて考える必要がある。

- H 0.7H 1				
直接消費につながるもの	直接消費につながらないもの			
	必要に迫られるもの 選択できるもの			
食事・給水	トイレ	寄り道		
土産・買い物	休憩	遠回り		
給油・EV 車の充電	着替え・オムツ交換	渋滞回避		
必要品の購入 など	携帯電話・連絡 など	など		

「立寄る理由」例

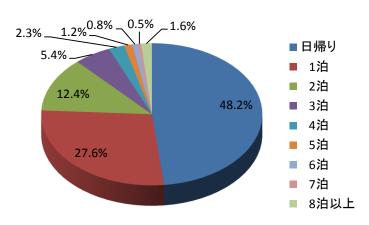
### 【視点3】地域に「金」が落ちる仕組みづくり

- ・旅行客の多様なニーズに合わせた「滞在メニュー」づくりと「稼ぐ」手段の明確にする。
- ・旅行の行程を「移動」、「宿泊」、「レジャー」、「食事」、「土産」の5要素に細分化し、 消費を促すメニューを戦略的につくる。

観光政策の目標の一つとして、「交流人口の拡大」が挙げられる。これは重要な点ではあるが、地域を訪れる人が増えても、消費行動に結びつかなければ地域への経済効果につながらない。そのため、地域に「金」が落ちる仕組みを作る必要がある。

その手段として、「滞在時間を延ばす」ことによって消費額を増やす、という考え方のもと、「滞在型観光」を長期滞在型観光・ロングステイと極端に捉え、国内観光マーケットの開拓を目指す例も見られるが、日本人の国内観光マーケットの中心は 2 泊以下の短期滞在が占めるシェアが圧倒的に大きく、5 泊以上のシェアは極めて小さい。このようなマーケットの実情を踏まえると、地域の都合で単純に「滞在時間を延ばす」と考えるのではなく、旅行客の多様なニーズに合わせた「滞在メニュー」づくりをするという考え方が重要であり、そのメニューの中でどのように消費に結びつけるか、どこで「稼ぐ」かがポイントとなる。

【国内旅行:宿泊数別旅行者割合】



出典:観光庁 HP「2015 年旅行・観光消費動向調査」より

では、地域内での消費につなげるには、どのくらい「滞在」させればよいのか。もちろん「宿泊」を含んだ「1泊2日」や「2泊3日」の滞在は、「食事」、「土産」がセットになる可能性も高く、その施設に多くの消費をもたらすことができる。しかし、宿泊施設の部屋数には限界があり、新設するための投資も難しい、民泊もすぐに体制が整わない等の状況であれば、現状の施設キャパシティ以上の効果は期待できず、地域全体の観光を考える上で「宿泊」込みのメニューだけでは仕組みが十分とはいえない。

では、「宿泊」以外の、「食事」や「土産」での消費に的を絞った場合にはどうか。例えば、旅行者が午前8時に出発し午前12時に昼食を取る予定で旅程を組むと想定した場合、午前8時から午前12時までの4時間のうち、発地から各市町への移動にかかる時間を差し引いた時間分そのエリアに留めることができれば、昼食をエリア内で取ってもらえる可能性が高くなる。逆に、「滞在時間」をそれぞれの市町の中で過ごしきれず、旅行者が他の地域に移動してしまうと、昼食による消費を域外に逃してしまうことになる。

①発地:高知市(5市町)

	出発	行き移動	到着	滞在時間	昼食
かわうその里		20 (	ᅂᄨᇷᄼᄉ	3 時間 30 分	
すさき		30 分	8 時 30 分	3時間30万	
布施ヶ坂		1 時間 5 分	9 時 05 分	2 時間 55 分	
ゆすはら	8 時	1 時間 35 分	9 時 35 分	2 時間 25 分	12 時
中土佐 IC		40 分	8 時 40 分	3 時間 20 分	
あぐり窪川		55 分	8 時 55 分	3 時間 5 分	
四万十とおわ		1 時間 55 分	9 時 55 分	2 時間 5 分	

②発地:四万十市(須崎市、中土佐町、四万十町)

	出発	行き移動	到着	滞在時間	昼食
かわうその里		1 時間 25 分	9 時 25 分	2 時間 35 分	
すさき		1時間20万	9 時 20 万	2 時間 30 万	
中土佐 IC	8 時	1 時間 15 分	9 時 15 分	2 時間 45 分	12 時
あぐり窪川		1 時間	9 時	3 時間	
四万十とおわ		1 時間	9 時	3 時間	

③発地:松山市(国道 440 号経由:須崎市、津野町、梼原町)

	出発	行き移動	到着	滞在時間	昼食
かわうその里		3 時間 35 分	11 時 35 分	25 分	
すさき	0 E±	3 时间 35 万	11 時 35 万	20 77	10 E±
布施ヶ坂	8 時	3 時間	11 時	1 時間	12 時
ゆすはら		2 時間 30 分	10 時 30 分	1 時間 30 分	

この「滞在時間」を、1つのメニューで賄うのか、あるいは複数のメニューを組み合わせるのか、また、1ヶ所で行うのか、周遊させるのか、見るだけなのか、体験型なのか、自市町のみで行うのか、奥四万十地域5市町で行うのか、など、様々なターゲットの様々なニーズに対応できるよう、多様なメニューを作り、それらを組み合わせることで、観光客のニーズを満たすと同時に、消費をより多く地域に呼び込むことができるだろう。

このように、旅行の行程を「移動」、「宿泊」、「レジャー」、「食事」、「土産」の5要素に細分化し、どのメニューでどの消費を促すか、といった視点から戦略を立てていくと、「通過型観光」からの脱却を図ることができると考える。また、これらを単独市町で全て補うのではなく、奥四万十5市町それぞれの特性を活かした役割分担を行うことができれば、新たな投資や負担を負うことなく機能を補完し合うことができる。さらには、県内あるいは四国内の他地域と組み、連携することで、県内、四国内にある他地域の魅力を奥四万十地域と結びつけ、より魅力のあるメニューづくりが可能となるだろう。

- ・立寄り客を引き込む仕組み → 「食事」、「土産」による消費の喚起
- ・旅行客を3時間滞在させる仕組み → 「食事」、「土産」による消費の喚起
- ・旅行客を1日滞在させる仕組み → 「レジャー」「宿泊」による消費の喚起
- ・旅行客を2日滞在させる仕組み → 「レジャー」「宿泊」(連泊) による消費 の喚起
- ・商品価格の二極化を意識した仕組みづくり
  - → 「低価格高品質アイテム」、または「超高級アイテム」による「差別化」

## 【視点4】多様なターゲットに対してそれぞれ戦略を立てる

・訪問客のスタイルや嗜好に合わせてターゲットを細分化し、マーケティング調査をしっかりと行った上で、それぞれに適した戦略を立てる。

【視点6】でも述べるが、団体旅行が減少し個人旅行が増加している現在、価値観や旅行スタイルの多様化に伴い、それぞれのターゲットに合った戦略が必要となる。

最近は、単に有名観光地を巡るだけではなく、目的やテーマ性のある旅行を好む人も増えており、趣味や嗜好も性や年齢層と関係なく多様である。また、ペット人気の高まりを背景にペット同伴での旅行が増え、バリアフリー整備が進んだことによって高齢者や障害者の旅行なども増えており、このような新たなニーズに対して接遇や情報提供などソフト面においても対応が求められている。

また、インバウンド(訪日外国人旅行)への対応も必要である。国が成長戦略の柱とし、地方創生の切り札と位置付けている観光の中心となるのはインバウンドである。地域住民にとっては当たり前のものが、外国人にとっては非常に魅力的な観光資源となり得るため、外国人の視点から地域を見る必要がある。インバウンド受け入れ態勢の構築は、インバウンド受け入れに積極的な地域だけが努力して成しえるものではない。訪日外国人は中長期滞在する可能性も高く、周遊する範囲も広くなるため、例えば案内板やパンフレット、HPの言語対応や無料 Wi-Fi の整備などの対応は各市町村、各都道府県の連携と協力が必要となる。

#### ターゲットの細分化

- ・「日帰り客」/「宿泊客」/「中長期滞在客」
- ・「奥四万十地域を目的地とした客」/「通過客(高知から愛媛)」/「通過客 (愛媛から高知)」/「通過客(高知市から幡多)」/「通過客(幡多から高知市)」
- ・「若者」、「女性」、「家族」、「高齢者」、「障害者」、「ペット同伴」、「ビジネス目的」、「立寄り客」、「団体旅行」、「教育旅行」、「外国人」

など

### 【視点5】他地域との連携

- ・他地域と連携することで、魅力ある周遊ルートをつくる。
- ・魅力のある他地域と組み、その地域の魅力による効果を奥四万十地域に引き込む。

【視点3】地域に「金」が落ちる仕組みづくりでも述べたが、県内の他地域(広域観光組織など)、四国内の他県などとの連携によって、旅行商品を共同で企画し、奥四万十地域を含めた県内・四国内を周遊する魅力あるルートを作ることが重要である。

旅行者にとっては、県境や市町村の境はあまり重要ではない。また、特に訪日外国人のように発地が遠ければ遠いほど、着地を広範囲で捉える傾向にある。そのため、魅力ある周遊ルートをつくり滞在時間を延ばすとなると、よほど有名な観光地でないかぎり単一市町村では面積の面でも資源数の面でも難しい。逆に、例えば四国の中でも集客力の高い高知の「桂浜」や「高知城」から愛媛の「道後温泉」、「松山城」へのルートの中に奥四万十地域をうまく位置付けることができれば、他地域の魅力による効果を自地域に引き込むことができる。「着地型観光」を進める際には、自地域中心で物事を進め、近隣の地域をライバルと捉えて競合し、観光客を奪い合うのではなく、観光客の満足やニーズを中心に据え、近隣の地域と協力することで満足度の高い時間を提供する、といった考え方が重要である。

また、地理的条件から、高知市、幡多、松山に加えて西南予の観光が活発になると、奥四万十地域への波及も大きくなることが考えられる。これらの地域と連携し、高知県あるいは四国内全体の底上げを図ることで、奥四万十地域の活性化にもつなげたい。

#### 【視点6】時代の変化への対応

- ・個人や小規模での旅行を中心とした旅行客をターゲットとした戦略をつくる。
- ・ニーズや嗜好の多様化に対応するソフト面の強化を行う。
- ・大手代理店の営業力を利用した「団体客獲得」と、代理店を通さない「直販」とのバランスを見極めて営業を行う。

バブル経済の崩壊以降、国内経済の低迷に伴い、企業の職場旅行や招待旅行をはじめとした団体旅行は大幅に減少した。パッケージ化・規格化されたマス・ツーリズムに代わって増えてきたのが、「自分だけのオリジナルな旅をしたい」という意識をもった、家族や友人・知人等少人数あるいは個人での旅行である。交通インフラの整備が進み長距離の移動が可能になったことや、インターネットの普及によって観光地等の情報を手軽に入手したり宿の手配をしたりすることが容易になったことなどが背景となっており、今後は個人や小規模での旅行を中心とした旅行客の持つ多様なニーズへの対応が必要となるなど、かつてのような団体旅行客を主なターゲットとしてきた旅行業者や大規模な宿泊施設等は大きな転

換を迫られている。

営業活動においても、インターネット等を活用し自らが積極的に情報発信することが必要な時代となり、代理店を通さない「直販」という考え方も地域の観光関連業にとっては重要なキーワードとなっている。

一方で、大手代理店の営業力を利用した、県外からの団体客の誘客も交流人口を拡大する 上で重要なことである。その為には、大手代理店へのセールスをできる、営業力をもった広 域組織体が窓口になり、大手代理店への接客的なセールス展開によって実現可能である。

### 【視点7】「産業振興」による「観光振興」

- ・地域の地場産業を盛り上げ、地域振興の基盤を強固にすることを最優先とする。
- ・日本中の地方が持つ共通の課題に真剣に向き合い、「人を呼ぶ」のではなく「人が寄ってくる」地域づくりを進める。
- ・地域を支える企業・団体による、地域観光への積極的参加と連携・ネットワーク構築 を進める。

「観光振興」の目的は、「地域振興」である。地域が存続していくためには、そこに住む人口を維持・拡大していくための雇用確保とそれにつながる産業全体の振興が図られなければならない。地域にはそれぞれ特色があるが、奥四万十地域の 5 市町には沖縄や箱根のようないわゆる「観光地」としての歴史はなく、一・二次産業に軸を置いた産業構造を持っているため、「地域振興」を考える上でまず優先させるべきは一・二次産業を中心とした「産業振興」であるべきである。

観光は、成功すれば一時的に多くの人を地域に呼ぶことができるが、それを「定番化」しないと観光客の興味はすぐに他に移ってしまう。流行やトレンドの変化の激しい今の時代において、他地域との競争の中、観光地として「定番化」していない地域が観光客を惹きつける新しいアイディアを常に発信し続け、観光客による消費だけを頼りに事業や経済を回していくことは相当困難である。地域の事業、経済を回している産業「エンジン」を維持・強化することを第一義とし、それを観光が後押しする、あるいは地域の特色ある産業そのものが観光資源となる、という視点で観光振興を進めることが重要であると考える。

「道の駅とおわ」がその好例である。四万十ドラマの理念や取り組みは、地域の一次産業の振興に軸を置いて進められており、この考え方に基づいて地域の生産者と一緒になって商品開発・製造・販売を行っている。この四万十ドラマが指定管理者となって運営されている「道の駅とおわ」には、四万十ドラマの商品や取り組み、考え方に魅力を感じる客が集まっている。過疎化や少子高齢化、人口減少、一次産業の衰退等の問題は日本全国の地方部で共通のものであり、どこもその解決に向けて苦労している中、四万十ドラマの取り組み、あるいはそれが見られる道の駅四万十とおわは、本物の「価値」を持った「資源」である。そ

の「価値」に触れたいと足を運ぶ行為は、まさに「観光」である。四万十ドラマは「商品開発・製造・販売」という「エンジン」で事業を進めながら、四万十ドラマの持つ魅力を資源 として「観光」的要素を満たしているといえる。

奥四万十地域内には、このように地域産業と観光がうまくつながった素晴らしいモデルが既に存在している。このような本物の「価値」を持った事業(観光の視点から見れば「資源」)を地域に作っていくことが、「産業振興」による「観光振興」の姿であり、このような地域の営みそのものが「人を呼ぶため」ではない、「人が行きたくなる」ような観光資源になり得ると考える。

また、このような地域の人々の生活を支える産業や様々な事業を国内外に発信し、地域の 良さを知ってもらうためには、これまで観光にあまり関わりのなかった地域の企業、団体、 個人との連携、ネットワークづくりが不可欠である。奥四万十地域の観光振興は、観光だけ でなく産業振興や環境保全等も含めた「町づくり」を中心に据え、地域の今後のあるべき姿 を描き、地域と一体となって進めていく必要があると考える。

### 【視点8】観光関連業の事業継続性の確保「エンジン」づくり

- ・季節や天候、曜日に左右されやすい観光関連業の経営安定化、「稼ぐエンジン」をつく るための戦略をしっかりと立てる。
- ・「点」ではなく「面」での観光(「開かれた」観光)という考え方で、企業や団体の個性や強みを活かし、地域全体でもてなすことによって訪問客の満足度を高めると共に、地域全体に経済波及が広がる仕組みをつくる。

観光は、「曜日や季節による変動が激しい」という特性を持っていることから、観光関連業をビジネスとして成立させるためにはこのリスクの解消を考える必要がある。宿泊施設であれば、平日の利用客をいかに確保するか、平日の客室をどのように活用するか、あるいは他に「稼ぐエンジン」を作るか等である。観光という視点からは、観光客の多い土日休日ばかり見てしまいがちだが、経営する立場からすると一週間のうちに占める割合の大きい平日の方が重要である。宿泊施設、飲食店、土産店、博物館等、観光施設ごとにその対応やターゲットは異なるが、サスティナブルな運営のためには共通した課題となる。

平日は、ビジネス客や地元住民も重要なターゲットである。観光客だけでなく地元住民もよく利用する施設であれば、経営は安定する。ただし、観光の重要な要素の一つに「非日常性」があり、観光客にとってその施設で感じる「非日常性」がビジネス客や地元住民が利用することによって失われるものである場合は、また違った経営戦略を立てなければならない。

また、特に観光地では、団体客をターゲットに、「宿泊」だけでなく、1 泊 2 食を前提と した「食事」や「土産」の消費も「囲い込み」、地域にとって「閉ざされた」経営をする宿 泊施設も多かったが、今では、個人客が増え、「素泊まり」を好む客も多くなってきており、 従来の経営手法ではうまくいかなくなっている施設も多い。このような状況に対し、近隣の 高級飲食店と提携し自前の板場を無くすことで、客数を伸ばし、かつ経営のスリム化によっ て立て直しに成功した旅館の例もあるように、時代のニーズに合わせると共に、時代に合っ た経営を行なっていくためには、従来のような地域に「閉ざされた」観光から地域に「開か れた」観光への転換が必要となっている。各施設がそれぞれの得意分野に特化し、「点」で はなく「面」で観光客を受け入れることによって、満足度の高いもてなしを提供できる上、 消費が地域全体に波及し、個々の施設にとっても無駄のない経営が可能となると考えられ る。

### 【視点9】地域の産業連関を意識した戦略づくりと域内自給率の向上

- ・産業や観光の振興による経済波及効果を奥四万十地域に留め、最大化するために、奥四万十地域の産業連関の特徴を把握する。
- ・経済波及効果を奥四万十地域内により多く留められるよう、域内自給率を高める。

商品づくりの際には、産業連関を分析し、経済波及を意識した戦略を立てることも重要である。

観光の視点から見ると、地域産品やご当地料理などは他地域との差別化を図り、地域の魅力を伝える「資源」であると同時に、外貨(地域外からの)獲得のための重要なアイテムでもある。観光客が地域産品やご当地料理を消費すれば、地域に「金」が入り地域が潤う。

では、地域で生活している人々は、どこで生産された商品を購入しているだろうか。また、 宿泊施設、飲食店等で提供される「食事」や加工品等の「土産」の生産に係る原材料や生産 に必要となる物品、エネルギー等はどこから購入したものだろうか。

地域住民が地域外からのものを消費すると、その分地域外に「金」が流出すると同時に、地域内で製造されている商品の販売機会が失われてしまう。原材料等の「域内自給率」が低ければ、せっかく地域に入ってきた「金」の多くが地域外に流出してしまう。観光客の消費を促す「地産外商」も重要であるが、地域内の製造者や販売者、消費者による「地産地消」、すなわち自給率の向上も地域内に「金」を留め経済循環を生み出すために必要な取り組みである。地域外から安価に仕入れることで単に利益を追求するのではなく、地域全体の産業振興を考えた商品づくりが望まれる。

観光客の消費行動によって誘発される経済波及効果を、より効果的に、より地域全体に広げるためには、地域の産業構造や産業連関の様子を把握し、その特徴を活かした戦略を立てることも重要である。地域をさまざまな角度から分析することで、特性に応じた施策や取り組みを進めたい。

## 【視点10】観光によって生まれる交流による地域づくり

・訪問客によるコミュニケーションの活性や、観光の取り組みに住民を積極的に参加させることによって、地域全体を巻き込み、地域の活性化につなげる。

最近の観光は、景観を見て楽しむばかりでなく、「体験」や「ふれあい」など、活動やコミュニケーションを楽しむものも多く、それを求めて旅をする観光客も少なくない。旅先で出会った地域の人との会話やホスピタリティに対する感動は、旅の満足度や再訪意欲に大きく影響する。豊かな出会いは、観光客だけを満たすものではない。人口が減少した過疎地域や高齢化の進む地域では、地域の中であっても会話をしたり声を掛けてもらったりする機会が少ないというケースも往々にしてある。そんな中、観光客とふれあったり観光客に喜んでもらうために知恵を絞りいろいろな活動を行ったりすることは、それに関わる地域の人に、地域外の人とのつながりを生み、活力を与える。地域の人を巻き込み、地域全体で観光を推進していこうという気運を高めることは、地域の人々の生きがいづくりや自分の住む地域の価値を再認識するきっかけにもなり得る。このような非経済的な価値も地域にとって重要な産物であろう。

## 4. 奥四万十観光動向調査と分析

#### 4.1 アンケート調査

観光客に関する属性、動向、消費行動を明らかにするために、定点(観光・宿泊・商業施設)とイベントでのアンケート調査を実施した。今回の調査は調査員による対面聞き取り方式のアンケート調査を行い、1 グループにつき 1 名(1 回答)を原則として実施した。対象は奥四万十地域内 5 市町の住民を除くすべての人とした。実施期間の 7 月から 12 月のアンケート総数は N=3,440 件であり、このうち定点での件数は 2,860 件、イベントでの件数は 580 件であった。調査日時、調査地点、取得数等詳細は第 7 章に記載している。

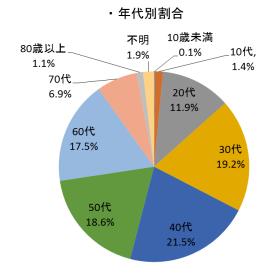
# 1) 調査結果

# ①回答者の属性

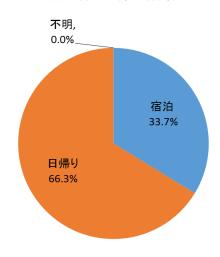
- ○男性と女性の比率はほぼ同程度である。
- ○年齢別に見ると、**40 代が 21.5%と最も多く**、次いで 30 代、50 代が多い。
- ○発地別に見ると、「県内客」が全体の半数を超えている。
- ○「宿泊」客と「日帰り」客の割合を比較すると、「日帰り」客が全体の 6 割以上を占めている。

#### ・回答者数(男女、年代、県内/県外/国外、宿泊/日帰り)

		県	内						国外		700	4% & L	中I人
	宿泊	日帰り	不明	県内計	宿泊	日帰り	県外計	宿泊	日帰り	国外計	不明	総計	割合
男性	80	708		788	565	371	936	3	1	4	1	1,729	50.3%
10歳未満		1		1								1	0.0%
10代		6		6	5	5	10					16	0.5%
20代	13	104		117	55	40	95					212	6.2%
30代	18	137		155	91	66	157	1		1		313	9.1%
40代	16	140		156	147	69	216	2	1	3		375	10.9%
50代	13	128		141	121	82	203					344	10.0%
60代	15	118		133	108	65	173					306	8.9%
70代	3	56		59	26	36	62					121	3.5%
80歳以上		4		4	7	1	8					12	0.3%
不明	2	14		16	5	7	12				1	29	0.8%
女性	86	896	1	983	404	248	652	5	1	6	3	1,644	47.8%
10歳未満		2	1	3	1		1					4	0.1%
10代	3	20		23	5	2	7					30	0.9%
20代	14	100		114	57	18	75	2		2		191	5.6%
30代	25	202		227	69	40	109					336	9.8%
40代	7	176		183	108	54	162	1		1	1	347	10.1%
50代	8	152		160	64	54	118	1	1	2	1	281	8.2%
60代	15	150		165	71	50	121	1		1	1	288	8.4%
70代	11	63		74	18	23	41					115	3.3%
80歳以上	1	15		16	5	3	8					24	0.7%
不明	2	16		18	6	4	10					28	0.8%
不明	6	43		49	9	8	17				1	67	1.9%
総計	172	1,647	1	1,820	978	627	1,605	8	2	10	5	3,440	100.0%
割合	5.0%	47.9%	0.0%	52.9%	28.4%	18.2%	46.7%	0.2%	0.1%	0.3%	0.1%	100.0%	

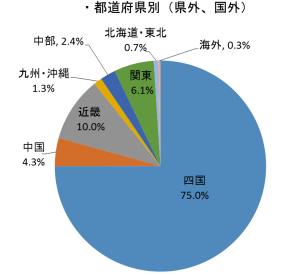


#### ・宿泊客/日帰り客割合

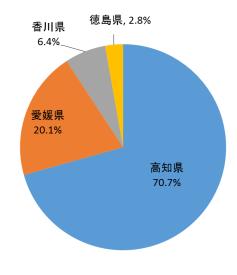


### ②発地

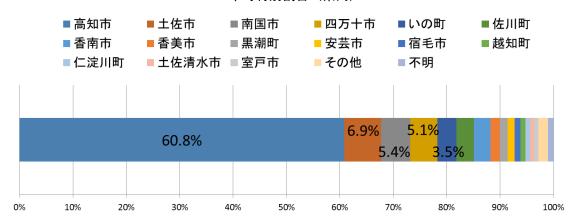
- ○都道府県別に見ると、高知県を含めた「**四国内」(75.0%)が最も多く、「四国内」の 70.7%が高知県内からの訪問客**である。
- ○四国外の地方では、「中国地方」(4.3%) よりも「**近畿地方」(10.0%)** からの訪問客の割合が高い。
- ○「高知県内」では**高知市内からの訪問客が6割以上**を占めており、次いで土佐市、南 国市、という順になっている。
- ○県内からの訪問客の9割は「日帰り」客である。それに対して、県外・海外からの 訪問客は、「宿泊」客が6割を超えており、遠方の地域ほど「宿泊」の割合が高い 傾向が見られる。



### · 都道府県別(四国)

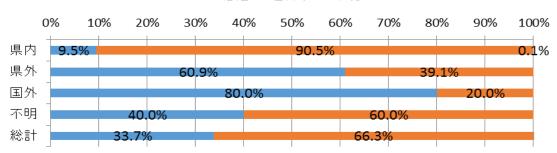


# • 市町村別割合(県内)



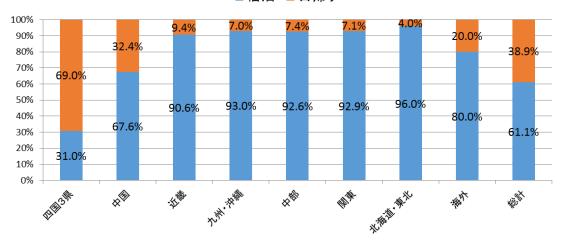
## ・県内/県外/国外、宿泊/日帰り割合





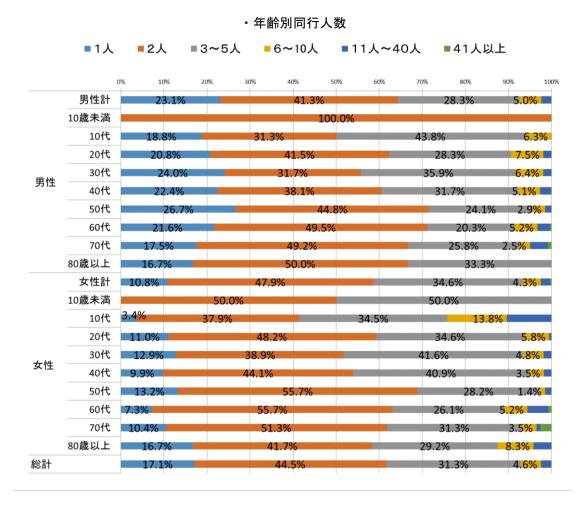
## ・地方分類別宿泊/日帰り割合

■宿泊 ■日帰り

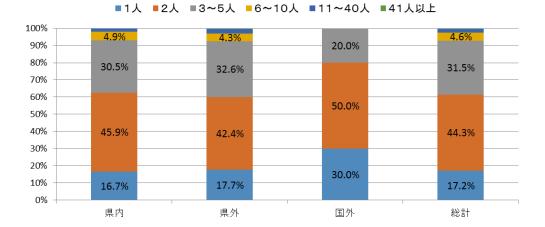


## ③同行人数

- $\bigcirc$  **2~5人の小グループでの旅行が全体の 75.8%**である。
- ○男性より女性の方が小グループで旅行する割合が高い。
- ○発地による違いはあまり見られない。
- ・同行人数を男女別に見ると、男女共に「2人」、「 $3\sim5$ 人」の小グループの割合が高く、男性が69.6%、女性が82.5%となっており、男性より女性の方が小グループの割合が高い。「1人」の割合を見ると、男性が23.1%であるのに対して、女性は10.8%と少ない。
- ・発地別に見ると、「県内」、「県外」ではほとんど差異が見られない。「国外」は他に比べて「1人」の割合が高い。



#### • 発地別同行人数



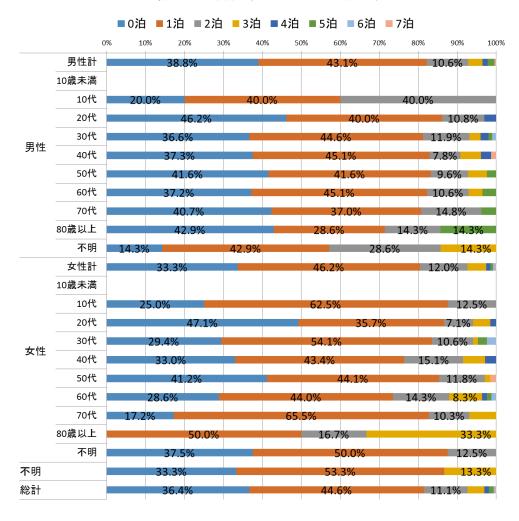
## ④宿泊

- ○アンケート調査対象者のうち、「宿泊」客(泊数「不明」を除く)の一人あたり平均泊数は、2.15 泊で、そのうち、奥四万十地域内の宿泊施設における一人あたり平均泊数は、1.04 泊であった。「日帰り」客を含めた訪問客全体の奥四万十地域内の宿泊施設における一人あたり平均泊数は、0.33 泊となっている。
- ○奥四万十地域内宿泊割合を男女別、年代別に見ると、男性の方が女性よりも若干 「0泊」の割合が高く、**特に女性は、年代が上がるにつれて宿泊数が増加する傾向** が見られる。
- ○発地別に見ると、県内客に比べ、**県外、国外客は奥四万十地域内で宿泊する割合が 低い**。

## ・今回の旅行の全宿泊数/奥四万十地域内宿泊数(「宿泊」客のみ)

		奥四万	十地域	内宿泊	数					•	•	•			
		0泊	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	9泊	10泊	14泊	15泊	20泊	総計
今	0泊														0
回 (	1泊	188	364												552
の旅	2泊	105	69	95											269
旅行	3泊	55	21	8	41										125
の	4泊	18	7	4		9									38
全	5泊	7	4	4		3	12								30
宿泊数	6泊	7	2	5				4							18
为数	7泊	3	3	3		1			3						13
	8泊		1												1
	9泊			1						1					2
	10泊	3	3		3		1				1				11
	12泊	1	1												2
	13泊	2													2
	14泊	1			1							2			4
	15泊												1		1
	20泊													2	2
	35泊	1													1
	総計	391	475	120	45	13	13	4	3	1	1	2	1	2	1,071

# 男女別・年齢別奥四万十地域内宿泊数



### • 発地別奥四万十地域内宿泊数



#### ⑤訪問目的

- ○「**観光」目的での訪問が全体の 79.4%**を占める。
- ○「**ビジネス」目的の 73.1%は男性**である。
- ○「**帰省・知人訪問」の 63.2%は県外**であり、県外の中でも「**近畿」(27.3%)** が最も 多い。
- ○「観光」客の主な旅行目的上位3項目は、「**自然見物・町歩き」、「食べ物(味覚・ 酒)」、「祭り・イベント」**で、この3項目で主な旅行目的全体の半数を超えている。
- ・全体で見ると、「観光」が 79.4%、「ビジネス」が 10.9%、「帰省・知人訪問」が 6.6%と なっている。
- ・訪問目的を男女別割合で見ると、「ビジネス」は男性の割合が高く、7割を超えている。
- ・訪問目的を年齢別割合で見ると、「ビジネス」、「観光」ともに 40 代の割合が最も高く、「帰省・知人訪問」は 30 代、60 代、50 代の順に割合が高い。
- ・訪問目的を発地別割合で見ると、「ビジネス」、「観光」は「県内客」が半数を超えているが、「帰省・知人訪問」は「県外客」が6割を超えている。さらに、「県外客」を地方別に見ると、「ビジネス」、「観光」は高知県を除いた「四国3県」の割合が最も高いのに対して、「帰省・知人訪問」は「近畿」が最も高くなっている。
- ・男女別訪問目的割合を見ると、男女とも「観光」の割合が最も高い。また、「ビジネス」目的の訪問者の割合は、女性より男性の方が高い傾向が見られる。
- ・発地別訪問目的割合を見ると、「ビジネス」を目的とした訪問客割合の上位3項目は、「北海道・東北」、「中国」、「高知県」で、「観光」を目的とした訪問客割合の上位3項目は、「海外」、「四国3県」、「高知県」の順である。
- ・旅行全体の宿泊数に対する奥四万十地域内宿泊数の割合を見ると、「ビジネス」客は旅行全体の宿泊数の大小に関わらず、旅行全体の宿泊数全てを奥四万十地域内宿泊数が占める割合が高いが、「観光」客は、旅行全体の宿泊数が多くなるにしたがって、奥四万十地域内宿泊数が占める割合が低くなる傾向が見られる。
- ・「観光」客の主な旅行目的 (N=2,881) は、「自然見物・町歩き」が最も多く (535、18.6%) で、「食べ物 (味覚・酒)」 (523、18.2%)、「祭り・イベント」 (494、17.1%) を合わせた上位 3 項目で主な旅行目的全体の半数を超えている。「ビジネス」客の立ち寄り理由 (N=395) は、「食事」 (128、32.4%) が最も多く、「休憩 (弁当・トイレなど)」 (79、20.0%)、「宿泊」 (74、18.7%) の上位 3 項目で立ち寄り理由全体の 7 割を超えている。

• 訪問目的/年齢別

	ビジネス	観光	帰省·知人訪問	その他	不明	総計
10歳未満	0	3	1	1	0	5
10代	4	41	5	4	0	54
20代	44	350	27	8	3	432
30代	95	539	53	13	7	707
40代	98	617	36	24	3	778
50代	83	523	42	17	4	669
60代	54	509	51	17	0	631
70代	11	212	15	10	3	251
80歳以上	2	30	5	1	0	38
不明	4	57	3	1	0	65
総計	395	2,881	238	96	20	3,630
割合	10.9%	79.4%	6.6%	2.6%	0.6%	100.0%

## • 訪問目的/男女別割合

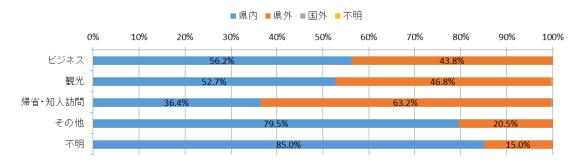




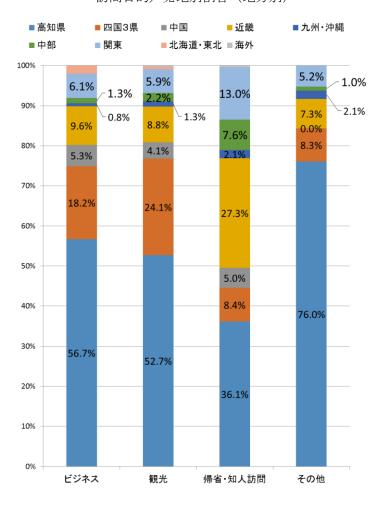
# • 訪問目的/年齢別割合



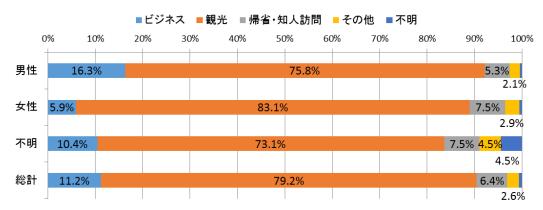
# ·訪問目的/発地別割合(県内/県外/国外)



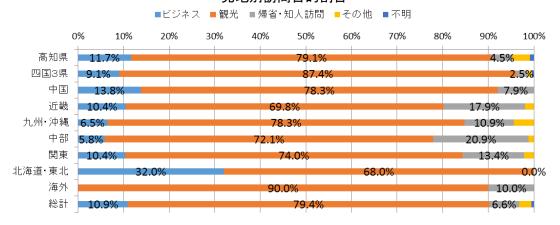
# · 訪問目的/発地別割合(地方別)



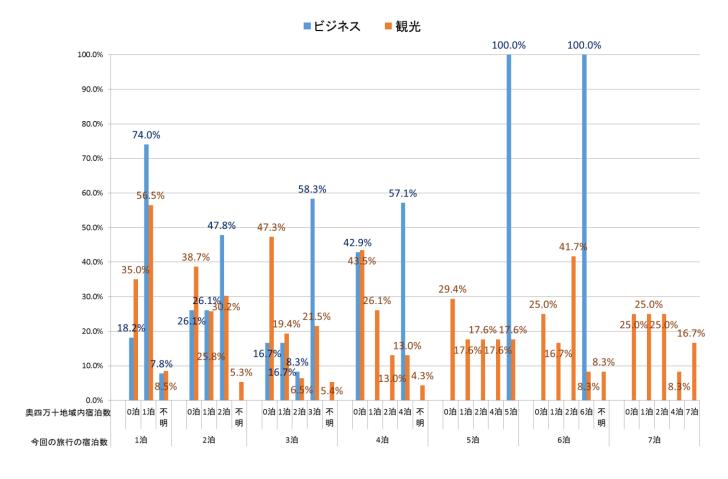
# • 男女別訪問目的割合



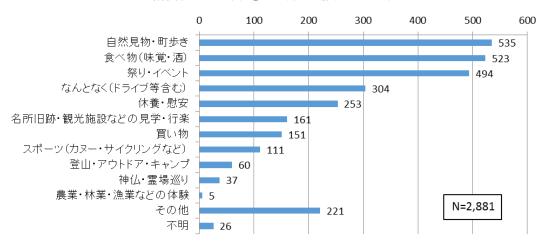
# • 発地別訪問目的割合



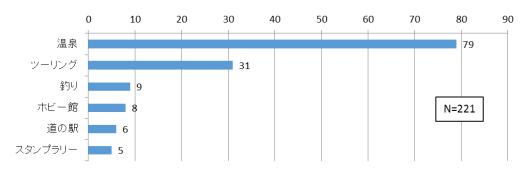
# ・旅行全体の宿泊数(1泊~7泊)に対する奥四万十地域内宿泊数の割合(訪問目的別:ビジネス、観光のみ)



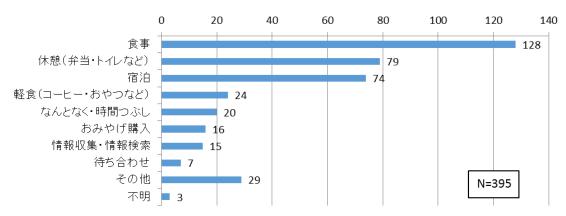
# ・訪問目的:「観光」 今回の旅行の主な目的



#### ・訪問目的:「観光」今回の旅行の主な目的「その他」記述詳細(主な内容のみ)



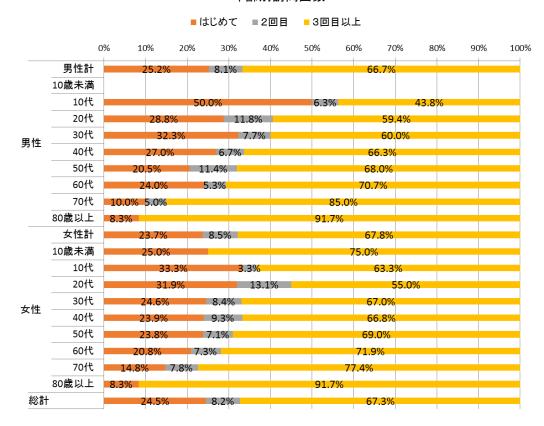
# ・訪問目的:「ビジネス」 立ち寄った理由



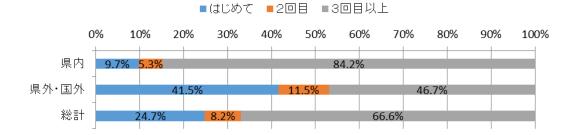
#### ⑥訪問回数

- ○訪問回数を男女別、年齢別に見ると、男性 10 代の「はじめて」が 50.0%と多いものの、全体的に性別による大きな差異は見られず、**年代が上がるにつれて訪問回数が増える傾向**が見られる。
- ○発地別割合(「不明を除く」)で見ると、「県内」の 89.5%は「2回目」あるいは「3回目以上」であるのに対し、「県外」、「国外」では、58.2%となっており、「はじめて」 訪問した人が4割を占めている。

## • 年齢別訪問回数



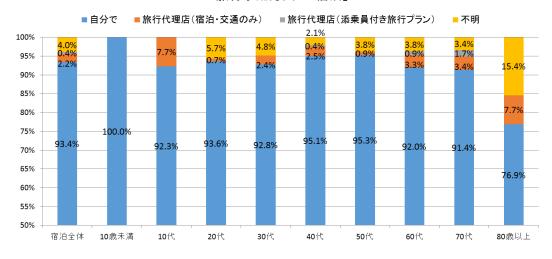
## • 発地別訪問回数



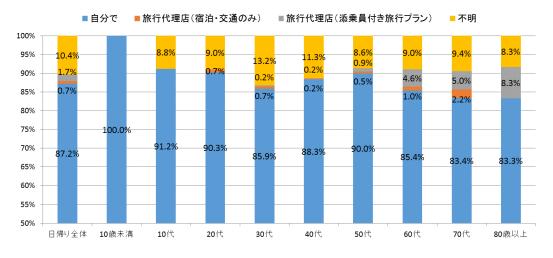
#### ⑦旅行の手配の方法

- ○旅行の手配の方法について、「宿泊」客と「日帰り」客どちらも「**自分で」手配をした** 人の割合が最も高く、8~9割を占めている。旅行代理店で手配した人について比較 すると、「宿泊」客は「宿泊・交通のみ」(2.2%)が「添乗員付き旅行プラン」(0.4%) より多いのに対して、「日帰り」客は、「添乗員付き旅行プラン」(1.7%)の方が「宿 泊・交通のみ」(0.7%)多い。
- ○年齢別に見ると、「宿泊」客のうち**旅行代理店で手配した人は、「10代」、「80歳以上」が多く**、「日帰り」客では、年代が上がるにしたがって割合が高くなる傾向にある。
- ○発地別に見ると、「県内」よりも「**県外」**の方が旅行代理店で手配する人の割合が高いが、**9割は「自分で」手配**をしている。「国外」は、今回の調査では全てが「自分で」 手配した人であった。

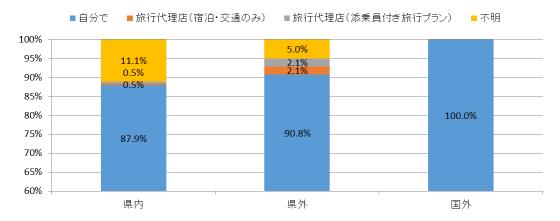
### • 旅行手配方法:「宿泊」



#### ・旅行手配方法:「日帰り」



#### · 発地別旅行手配方法



#### ⑧奥四万十地域内観光地の認知度

- ○アンケートで質問した 12 項目のうち、奥四万十地域内観光地で最も認知度が高い観光地は、「四国カルスト」(82.5%)で、男性、女性共に8割を超える人が「知っている」と答えた。次に、「大正町市場」(65.7%)、「ホビー館・かっぱ館」(62.0%)と続き、最も認知度が低かったのは「鳴無神社」(20.0%)であった。
- ・年代別に見ると、「ホビー館・かっぱ館」以外の観光地は概ね、年代が上がるにつれて認 知度が高くなる傾向が見られる。
- ・発地別に見ると、県内からの訪問客の認知度が5割を超える観光地が、12項目のうち7つあるのに対して、県外からの訪問客、国外からの訪問客はそれぞれ1つ(県外:「四国カルスト」(74.8%)、国外:「四万十源流点」(60.0%))に留まる。
- ・県内客と県外客の認知度の差を比較した場合、差の大きい上位3項目は、「興津海岸」(44.0 ポイント)、「ホビー館・かっぱ館」(43.5 ポイント)、「大正町市場」(39.4 ポイント)であり、これらは県内客からは認知度が高いものの県外客にはあまり認知されていない観光地であると考えられる。最も差が小さいものは、「中上流域の沈下橋(一斗俵、三島)」(10.3 ポイント)であった。
- ・同様に、県内客と国外客の差を比較した場合に認知度の差が大きかったのは、「四国カルスト」(59.5 ポイント)、「大正町市場」(54.2 ポイント)、「ホビー館・かっぱ館」(52.5 ポイント)であり、最も差が小さいものは、「四万十源流点」(-2.3 ポイント)であった。

奥四万十地域内観光地の認知度:男女別

	男性	女性	不明	総計
四国カルスト	82.0%	82.9%	85.1%	82.5%
大正町市場	62.2%	69.2%	70.1%	65.7%
ホビ一館・かっぱ館	60.1%	63.9%	65.7%	62.0%
四万十源流点	51.9%	48.5%	40.3%	50.1%
龍馬脱藩の道	49.6%	48.8%	49.3%	49.2%
中上流域の沈下橋(一斗俵、三島)	44.7%	42.2%	28.4%	43.2%
興津海岸	34.1%	37.5%	35.8%	35.8%
横浪三里	33.5%	33.9%	32.8%	33.7%
千枚田	30.6%	30.5%	17.9%	30.3%
セラピーロード	24.3%	30.8%	28.4%	27.5%
吉村虎太郎邸	24.7%	21.4%	20.9%	23.1%
鳴無神社	18.9%	21.3%	14.9%	20.0%
その他	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

# ・奥四万十地域内観光地の認知度:年代別(男性)

	セラピーロード	ホビー館・ かっぱ館	横浪三里	吉村虎太郎邸	興津海岸	四国カルスト	四万十源流点	千枚田	大正町市場	中上流域の沈下橋 (一斗俵、三島)	鳴無神社	龍馬脱藩の道
10歳未満	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10代	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	81.3%	25.0%	12.5%	43.8%	18.8%	6.3%	25.0%
20代	17.9%	59.9%	16.0%	14.6%	19.8%	84.0%	37.3%	16.5%	50.5%	39.6%	12.7%	35.4%
30代	26.2%	63.9%	19.8%	22.0%	30.4%	78.3%	47.0%	24.0%	57.2%	36.7%	17.3%	47.0%
40代	19.5%	65.3%	28.8%	18.1%	31.2%	78.1%	47.7%	22.7%	60.3%	38.9%	15.5%	43.7%
50代	28.2%	60.2%	42.2%	28.2%	36.6%	82.6%	55.8%	37.5%	68.9%	50.9%	21.5%	51.7%
60代	25.5%	55.6%	45.1%	33.0%	41.8%	86.9%	62.7%	39.9%	64.7%	51.3%	20.6%	61.4%
70代	30.6%	40.5%	57.0%	39.7%	47.9%	83.5%	61.2%	49.6%	72.7%	56.2%	29.8%	59.5%
80歳以上	25.0%	66.7%	75.0%	41.7%	75.0%	91.7%	83.3%	66.7%	100.0%	75.0%	50.0%	91.7%
男性総数	24.3%	60.1%	33.5%	24.7%	34.1%	82.0%	51.9%	30.6%	62.2%	44.7%	18.9%	49.6%

# ・奥四万十地域内観光地の認知度:年代別(女性)

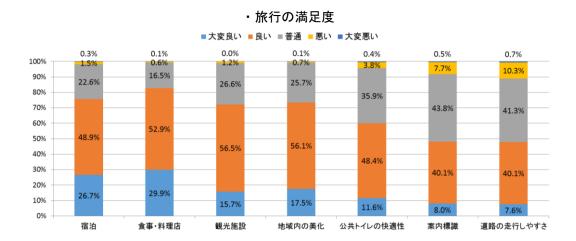
	セラピーロード	ホビー館・ かっぱ館	横浪三里	吉村虎太郎邸	興津海岸	四国カルスト	四万十源流点	千枚田	大正町市場	中上流域の沈下橋 (一斗俵、三島)	鳴無神社	龍馬脱藩の道
10歳未満	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
10代	20.0%	63.3%	10.0%	13.3%	33.3%	73.3%	33.3%	13.3%	60.0%	20.0%	16.7%	20.0%
20代	27.2%	64.9%	16.8%	11.5%	22.5%	77.5%	34.6%	15.7%	62.8%	34.6%	21.5%	34.6%
30代	30.1%	69.9%	19.3%	17.0%	35.1%	80.1%	42.0%	22.0%	69.3%	37.2%	20.8%	43.8%
40代	28.2%	63.7%	29.1%	17.3%	34.9%	82.1%	44.7%	25.1%	65.1%	37.2%	18.2%	44.7%
50代	28.5%	64.4%	41.3%	20.3%	42.7%	86.5%	53.0%	35.2%	75.1%	45.2%	19.2%	53.0%
60代	39.2%	59.0%	53.8%	34.0%	45.1%	85.8%	59.7%	44.4%	69.4%	52.8%	24.3%	62.2%
70代	32.2%	55.7%	50.4%	33.9%	47.8%	87.8%	60.9%	47.8%	80.9%	53.9%	27.0%	61.7%
80歳以上	20.8%	45.8%	54.2%	20.8%	41.7%	87.5%	62.5%	45.8%	75.0%	58.3%	33.3%	54.2%
女性総数	30.8%	63.9%	33.9%	21.4%	37.5%	82.9%	48.5%	30.5%	69.2%	42.2%	21.3%	48.8%

# 奥四万十地域内観光地の認知度:発地別

	セラピーロード	ホビー館・ かっぱ館	横浪三里	吉村虎太郎邸	興津海岸	四国カルスト	四万十源流点	千枚田	大正町市場	中上流域の沈下橋 (一斗俵、三島)	鳴無神社	龍馬脱藩の道
県内	38.0%	82.5%	50.7%	32.6%	56.4%	89.5%	57.7%	38.9%	84.2%	48.1%	31.4%	57.2%
県外	15.7%	39.0%	14.6%	12.3%	12.3%	74.8%	41.3%	20.6%	44.9%	37.8%	7.2%	40.1%
国外	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	30.0%	30.0%	60.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	50.0%
総計	27.5%	62.0%	33.7%	23.1%	35.8%	82.5%	50.1%	30.3%	65.7%	43.2%	20.0%	49.2%
県内-県外	22.3	43.5	36.1	20.3	44.0	14.7	16.4	18.3	39.4	10.3	24.1	17.1
県内-国外	28.0	52.5	50.7	32.6	26.4	59.5	-2.3	28.9	54.2	38.1	31.4	7.2

## ⑨旅行満足度

・満足度について見てみると、「宿泊」、「食事・料理店」に対する評価は、「大変良い」「良い」を合わせて、それぞれ75.6%、82.8%となっており、満足度が高いと考えられる。それに対して、「案内標識」、「道路の走行しやすさ」は、「大変良い」「良い」を合わせて、それぞれ48.1%、47.7%と5割を下回っており、満足度が低いと言える。



# 4.2 交通量調査

# 1) 調査実施状況

交通量調査は午前9時から午後5時の8時間、下記の日程で計15回行った。

		調査実施日		回数
7月	17日(日)※	24日(日)	27日(水)	
8月	25日(木)	28日(日)		
9月	11日(日)	18日(日)	21日(水)	計15回
10月	2日(日)	9日(日)	14日(金)	門の回
11月	6日(日)	22日(火)		
12月	7日(水)	11日(日)		

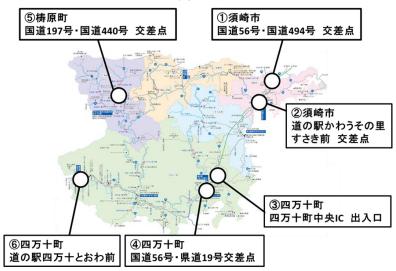
<sup>※</sup>梼原町国道 197 号・国道 440 号交差点は8月 14日(日)に実施

この内、7月17日(日)・9月18日(日)・10月9日(日)は三連休の中日である。 また、梼原町国道197号・国道440号交差点は8月14日(日)・9月18日(日)・10月9日(日)を三連休の中日とした。

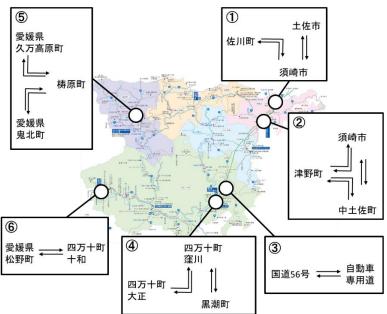
調査地点は次の通りである。

調査地点番号	町村名	調査箇所
1	須崎市	国道56号·県道494号 交差点
2	須崎市	道の駅かわうその里すさき前 交差点
3	四万十町	四万十町中央IC 出入口
4	四万十町	国道56号·県道19号 交差点
5	梼原町	国道197号·国道440号 交差点
6	四万十町	道の駅四万十とおわ前

# ・調査地点



# ・調査地点 方向図





# ※収支図について

枠内の数字は、その方向の一日あたりの交通量を示している。 地図上の数字は、矢印の方向に一日あたりの交通量がその台数 分多かったことを示している。

例の場合、上から下方向に一日あたり60台、下から上方向に50台の交通があり、下方向に10台交通量が多い。

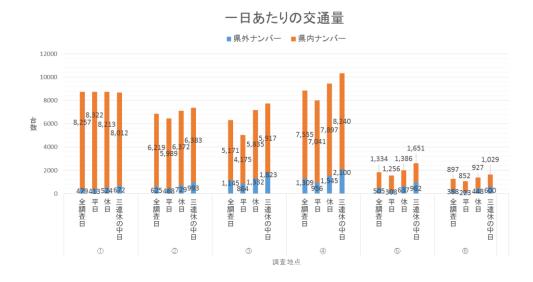
今回の調査においては、時間別・進行方向別・車籍地別・車種別・「わ」ナンバーを判別するため、高知ナンバーについてはカウンターを使用し、高知ナンバー以外の県外ナンバーについては IC レコーダーに進行方向・車籍地・車種・「わ」ナンバーかどうかを記録する手法を用いた。

IC レコーダーデータは、調査終了後にデータ打ち込み作業を行ったが、一部音声に乱れがある等の要因ですべての情報が判明しないデータがあった。集計種別により利用可能なデータに差異があるため、一部のデータにおいて県外ナンバーの合計台数が異なる場合がある。

# 2) 調査結果

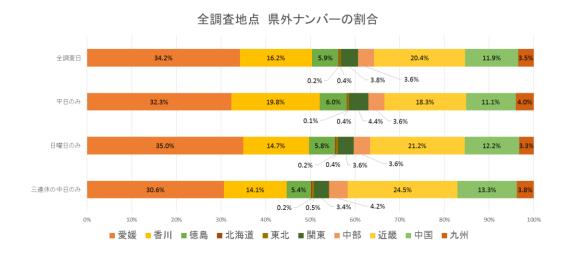
#### 総交通量

- ○国道 56 号沿いに交通量の多い地点が集中している。
- ○休日は交通量が増加し、三連休の中日はさらに増加している。
- ・総交通量は高知県内主要幹線道である国道 56 号沿いの 3 地点、および自動車専用道西側 終点である四万十町中央 IC が多い。
- ・県外ナンバーは四万十町中央 IC、四万十町国道 56 号・県道 19 号交差点が多い。また、 梼原町国道 197 号・国道 440 号交差点、四万十町道の駅四万十とおわ前の 2 地点でその 比率が高い。一方で須崎市国道 56 号・県道 494 号交差点では総交通量、割合ともに低い。
- ・須崎市国道 56 号・県道 494 号交差点では平日、休日の総交通量・県外ナンバー率ともに変化が少ない。その他の調査地点では平日に比べ休日の交通量が 10%以上増加し、特に増加率の高い四万十町中央 IC では 42%増加した。



#### 県外ナンバーの割合

- ○県外ナンバーのうち、およそ 20%が近畿地方のナンバー、10%が中国地方のナンバーである。
- ○県外ナンバーのうち、四国地方のナンバーが半数以上を占める。
- ・奥四万十地域内全体で見た場合、県外のナンバーのうち四国3県のナンバーで55%を超えるが、三連休の中日では約50%である。
- ・四国内以外では近畿地方のナンバー、ついで中国地方のナンバーが多く、特に日曜日、連 休中に増える傾向にある。
- ・地点別に見た場合、愛媛県側の調査地点⑤および調査地点⑥での愛媛ナンバーの割合は 60%を超え、突出している。
- ・調査地点③と調査地点④では近畿地方ナンバー、中国地方ナンバーの割合が合わせて約40%と他の地点に比べて高い。



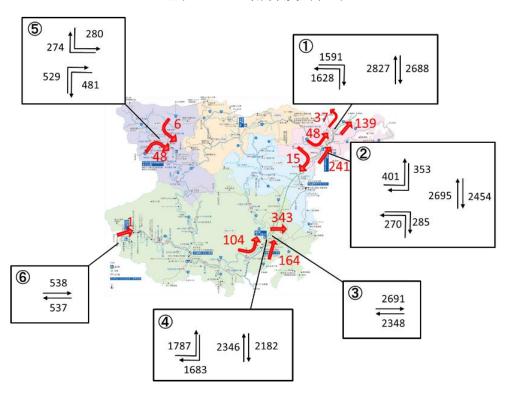
調査地点別 県外ナンバーの内訳(全調査日)

■愛媛 ■香川 ■徳島 ■北海道 ■東北 ■関東 ■中部 ■近畿 ■中国 ■九州

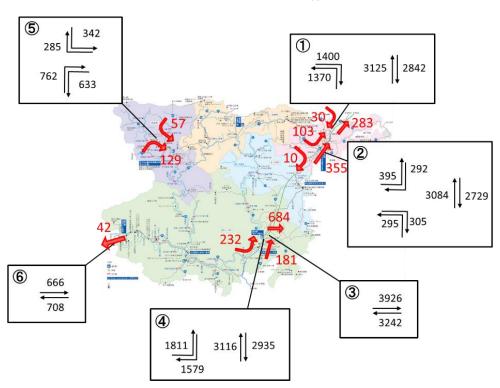
#### 全ナンバーの域内収支

- ○平日・休日ともに地域の西、南から流入し、高知市方面へ流出する台数が多い。
- ○四万十町道の駅四万十とおわ前の地点では、平日は流出・流入が拮抗し、休日は愛媛 県松野町方面への流出が多い。
- ・平日・休日ともに調査地点④において黒潮町、四万十町大正方面から国道 56 号への流入の傾向が強いが、流入数以上に調査地点③四万十町中央 IC から高知市方面への流出が多い。
- ・平日・休日ともに調査地点⑤からの流入が多く、調査地点②で国道 56 号に乗り高知市方面へ向かう車が多い。
- ・調査地点⑥では他の調査地点と傾向が異なり、平日に流出・流入が拮抗し、休日には愛媛 県松野町方面への流出が多い。

#### ・全ナンバー 域内収支(平日)



# ・全ナンバー 域内収支(休日)



#### 県外ナンバーの動向・域内収支

県外ナンバーの動向について、奥四万十地域と接し他の県外ナンバーと異なる動向を示すと考えられる愛媛ナンバーと、四国外のナンバーの中でも割合の高い近畿地方・中国地方のナンバーについて、それぞれの動向を以下に分析する。

# 愛媛ナンバー

- ○奥四万十地域西部(調査地点⑤・⑥)からの来訪客が奥四万十地域東部(須崎市、中土佐町久礼、四万十町窪川)まで訪れる流れが確立していない。
- ○幡多地域を通り黒潮町から流入してくる来訪客の多くはそのまま自動車専用道を利用し、奥四万十地域を通過していると推測できる。

# 調査地点⑤梼原町国道 197 号・440 号について

- ・国道197号線への流入を見ると、平日は流入と流出が拮抗し、休日は流入が若干多い。
- ・平日、休日ともに調査地点②須崎市かわうその里すさき前の交差点での交差点流入数が半数以下である。

#### 調査地点⑥四万十町道の駅四万十とおわ前について

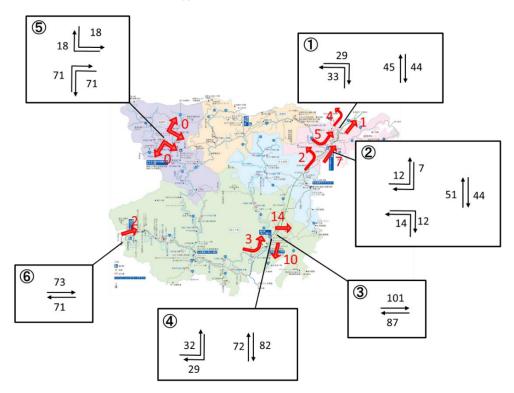
- ・平日、休日ともに流入・流出は拮抗している。
- ・平日、休日ともに調査地点④で県道 19 号から国道 56 号へ流入する数は調査地点⑥の流入数の半分以下である。

#### 調査地点③四万十町中央 IC および

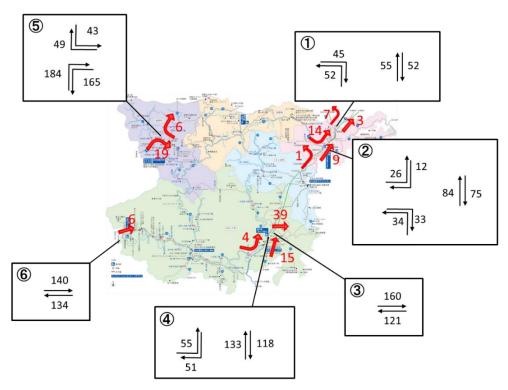
### 調査地点④四万十町国道 56 号・県道 19 号交差点について

・黒潮町方面からの流入が一定数あるが、それ以上に四万十町中央 IC から流出している。

# ・愛媛ナンバー 域内収支(平日)



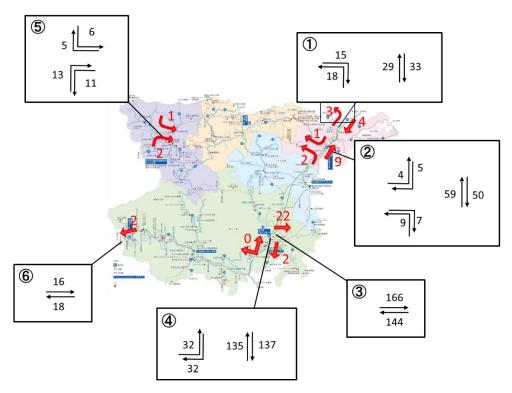
# ・愛媛ナンバー 域内収支(休日)



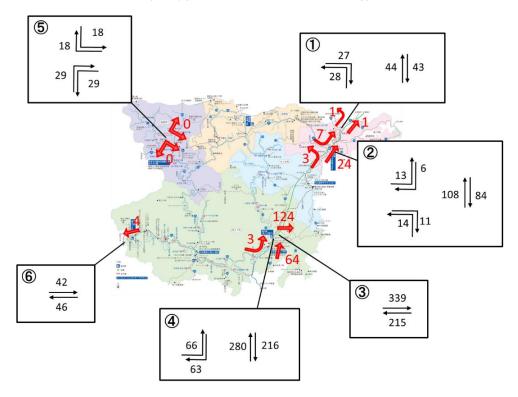
#### 近畿地方ナンバー・中国地方ナンバー

- ○近畿地方・中国地方からの来訪客は国道 56 号および自動車専用道での通行が多く、 梼原町・津野町方面へ向かう国道 197 号への流入出、および四万十町大正方面へ向か う県道 19 号への流出入が少ない。
- ○幡多地域を通り黒潮町から流入してくる来訪客の多くはそのまま自動車専用道を利用し、奥四万十地域を通過していると推測できる。
- ・調査地点③四万十町中央 IC、調査地点④四万十町国道 56 号・県道 19 号線において平日・休日ともに他の地点に比べて交通量が多く、2倍近い。
- ・調査地点②において津野町・梼原町方面国道 197 号線への流入・流出ともに少ない。
- ・国道 56 号線沿い調査地点(調査地点①~④) での交通量が多く、調査地点⑤・⑥で少ない。
- ・調査地点④で黒潮町方面からの流入が多いが、それ以上に四万十町中央 IC から自動車専用道へ流出している。

#### ・近畿・中国地方ナンバー 域内収支(平日)



・近畿・中国地方ナンバー 域内収支(休日)



# 地域内周遊の現状

交通量調査の結果を総合的に見ると、奥四万十地域への来訪客は自動車専用 道四万十町中央 IC から四万十町国道 56 号・県道 19 号までの交通量が多く、四万十町中央 IC から自動車専用道に乗った訪問客は奥四万十地域から流出しているとした場合、幡多方面と高知市方面を行き来する際の通過点となっていることが考えられる。また、愛媛県からの来訪客は愛媛県側に、その他の県外からの来訪客は国道 56 号・自動車専用道などの幹線道路が走る太平洋側にとどまり、地域内周遊が確立していないことが推測される。

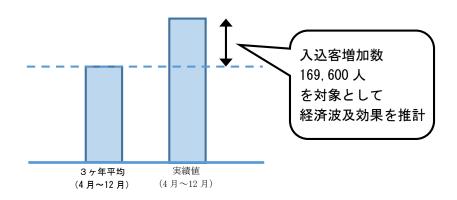
平成30年には四万十町西ICから黒潮町の拳ノ川ICの開通も予定されており、さらなる通過地化の事態も想定される。奥四万十地域内での太平洋側と山間部の連携や、幡多地区・愛媛県側との連携を視野に入れながら周遊ルートを作り上げていくことが重要である。

#### 4.3 直接効果・経済波及効果

#### 1) 経済効果分析

#### 入込客増加数の内訳

経済効果を算出するにあたって、奥四万十博開催による入込客の増加数を算出した。奥四万十博開催前( $H25\sim H27$ )の 4 月~12 月での入込客数(3 ヶ年平均)2,092,928 人…①※と奥四万十博開催中(H28)の 4 月~12 月での入込客数 2,262,528 人…②の差分を求め算出された<u>奥四万十博開催による入込客増加数(②一①)169,600 人</u>を今回の経済分析の対象とした。



入込客の消費単価の差を考慮し、『県内からの宿泊客』『県内からの日帰り客』『県外からの宿泊客』『県外からの日帰り客』の4つのカテゴリに入込客を分類した。

	宿泊客 (奥四万十地域内・地域内を除く 高知県内・県外、全て含む)	日帰り客
高知県内からの訪問客	県内宿泊客	県内日帰り客
高知県外からの訪問客	県外宿泊客	県外日帰り客

アンケート調査 (n=3440、対象グループ総数 10,742 人) より算出した県内宿泊客、県内日帰り客、県外宿泊客、県外日帰り客の比率を入込客増加数 169,600 人に乗じて、入込客数における県内宿泊客、県内日帰り客、県外宿泊客、県外日帰り客の総数を推計した。

※今回、経済効果分析を行うにあたって、下記の理由により「奥四万十博インフォメーション」および「中土佐まるごと市」の入込客を対象外とし、平成 28 年入込客数より除外している。

①須崎市「奥四万十博インフォメーション」は、須崎市「道の駅かわうその里すさき」は同一施設内にあり、ダブルカウントの可能性がある。「奥四万十博インフォメーション」を訪れた人は奥四万十地域内の他のいずれかの施設に訪れている可能性が高いことから、「奥四万十博インフォメーション」を対象外とする。

②イベント、中土佐町「中土佐まるごと市」は高知市中央公園で開催されており、消費活動は高知市で行われたとみなされることから、「中土佐まるごと市」を対象外とする。

※経済波及効果算出の計算においては、小数点以下を四捨五入して記載している箇所がある。

# アンケート調査における県内客・県外客/宿泊・日帰り、それぞれの人数

単位:人

			<u> </u>
	宿泊	日帰り	総計
県内	598	4, 779	5, 377
県外	2, 978	2, 387	5, 365
合計	3, 576	7, 166	10, 742



# 県内客・県外客/宿泊・日帰り 比率

	宿泊	日帰り	総計
県内	5. 567%	44. 489%	50. 056%
県外	27. 723%	22. 221%	49. 944%
合計	33. 290%	66. 710%	100%



# 入込客増加数 169,600 人の内訳推計値

畄位· 人

			<u> </u>
	宿泊	日帰り	総計
県内	9, 442	75, 453	84, 895
県外	47, 018	37, 687	84, 705
合計	56, 460	113, 140	169, 600

#### 平均消費単価・直接効果の推計

アンケート調査より得られた

・高知県内からの宿泊客 598人

・高知県内からの日帰り客 4,779人

・高知県外からの宿泊客 2,978人

・高知県外からの日帰り客 2,387人

から、それぞれの奥四万十地域内における消費額を平均し、部門ごとの平均消費単価を 推計した。なお、この際に消費額の内訳が不明なもの等のクリーニングを行った。

今回のアンケート調査では奥四万十地域内での消費単価を推計するために、図 の通り 費目別、消費地別に記入欄を設け調査を実施した。

#### ・アンケートの消費単価質問形式

Q13. 今回の旅行で使う、およその費用 (これから使う予定も含めて)を教えてください。 1人あたりの費用を、下欄の項目別にご記入ください。

※交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、奥四万十地域内分・地域外分を分けて記入

※今回の旅行がパック旅行である場合、費用が奥四万十地域のみか、地域外を含むかを選択

※表内の回答がグループ合計の場合はこちらにチェックをしてください → □

	使用(予定)額	使用(予定)額	使用 (予定) 額
	(奥四万十地域内)	(奥四万十地域以外の県内)	(県外)
① 交通費	円	円	P.
② 宿泊費	円	円	P.
③ 土産代 (総額)	円	円	P.
1. 農作物	P	円	P.
2. 水産物	円	円	F
3. お菓子類	円	円	F
4. お菓子類以外の加工食品	円	円	F
5. 衣料品	円	円	Р
6. 雑貨	円	円	P
7. その他( )	円	円	P
④ 飲食費	円	円	P
⑤ 入場料	円	円	P
⑥ その他	円	円	Р
<ul><li>⑦ パック料金</li><li>(地域のみ・地域外含む)</li></ul>	円	н	Ь

↑○をつけてください。

※入込客推計値の宿泊者には奥四万十地域内宿泊者、奥四万十地域外宿泊者のいずれも含まれるが、今回の経済効果算出では奥四万十地域内での消費額と奥四万十地域外での消費額を分けて調査することで案分を行っている。たとえば、奥四万十地域外のみに宿泊した宿泊客の奥四万十地域内での宿泊費消費額は0円となり、平均消費単価算出の際にはこの0円も計算に含まれている。この方法により、奥四万十地域内、奥四万十地域外の両方に宿泊した訪問客が、奥四万十地域内でどの程度消費したか、を計算に含めることが可能となる。

#### 一人当たりの奥四万十地域内での平均消費単価

単位:円

	県内客	県内客	県外客	県外客
	宿泊(n=519)	日帰り(n=4,637)	宿泊(n=2,762)	日帰り(n=2,332)
交通費	2, 161	692	3, 866	1, 317
宿泊費	3, 911	0	4, 527	0
土産代	619	606	1, 101	849
飲食費	1, 630	1, 189	2, 576	1, 441
入場料	135	59	156	65
その他	6	16	60	2
合計	8, 462	2, 562	12, 286	3, 674

※パック料金は奥四万十地域へ来る観光客が消費した場合、奥四万十地域内で発生することはなく、算定の対象外とし、この表には含めていない。

この平均消費単価に先に推計した入込客増加数をかけることによって、奥四万十博開催による入込客の観光消費額を推計した。

奥四万十地域内消費総額推計值

単位:円

	県内客宿泊	県内客日帰り	県外客宿泊	県外客日帰り	合計
交通費	20, 404, 162	52, 213, 476	181, 771, 588	49, 633, 779	304, 023, 005
宿泊費	36, 927, 662	0	212, 850, 486	0	249, 778, 148
土産代	5, 844, 598	45, 724, 518	51, 719, 800	31, 996, 263	135, 285, 179
飲食費	15, 390, 460	89, 713, 617	121, 118, 368	54, 306, 967	280, 529, 412
入場料	1, 274, 670	4, 451, 727	7, 334, 808	2, 449, 655	15, 510, 860
その他	56, 652	1, 207, 248	2, 821, 080	75, 374	4, 160, 354
合計	79, 898, 204	193, 310, 586	577, 616, 130	138, 462, 038	989, 286, 958

奥四万十博開催による入込客増加数 169,600 人がもたらした観光消費額(直接効果)は 約 9 億 89 百万円となった。

# 3) 産業連関表における経済波及効果算出

2.2.6 奥四万十地域内の産業連関の項目で記載した産業連関表を用いて、奥四万十博開催による経済波及効果を算出する。

産業連関表により算出された各産業への直接効果および波及効果は以下の通りとなった。

奥四万十地域内の各産業への波及効果

単位:百万円

		新規需要額	間接1次波及効果	直接効果+間接1 次波及効果	間接2次波及効果	直接効果+間接1 次波及効果+間接 2次波及効果
1	農業	17	17	34	3	36
2	林業	0	1	1	0	2
3	漁業	19	9	29	1	30
4	鉱業	0	0	0	0	0
5	飲食料品	41	15	56	4	60
6	繊維製品	1	0	1	0	1
7	製材・木製品・家具	0	2	2	0	2
8	パルプ・紙・紙製品	0	0	0	0	0
9	印刷・製版・製本	0	0	0	0	0
10	化学製品	0	0	0	0	0
11	石油•石炭製品	0	0	0	0	0
12	窯業·土石製品	0	2	2	0	2
13	鉄鋼·非鉄金属	0	1	1	0	1
14	金属製品	0	0	0	0	0
15	一般機械	0	0	0	0	0
16	電気機械	0	0	0	0	1
17	情報·通信機器	0	0	0	0	0
18	電子部品	0	0	0	0	0
19	輸送機械	0	0	0	0	0
20	精密機械	0	0	0	0	0
21	その他の製造工業製品	16	0	17	0	17
22	建設	0	5	5	1	6
23	電力・ガス・水道	0	21	21	5	26
24	商業	41	29	70	21	91
25	金融•保険	0	16	16	8	24
26	不動産	0	21	21	28	49
27	運輸	309	45	354	7	362
28	情報通信	0	12	12	7	19
29	公務	0	1	1	2	3
30	教育•研究	0	2	2	5	7
31	医療・保健・社会保障・介護	0	0	0	5	5
32	その他の公共サービス	0	1	1	3	4
33	対事業所サービス	0	28	28	4	32
34	対個人サービス	546	3	549	11	560
35	事務用品	0	1	1	0	1
36	分類不明	0	5	5	1	5
	合計	989	240	1229	117	1,346

※商業 (卸売業・小売業) および運輸は、他の産業に新規需要が発生した際にも流通経費として一定の需要が発生する。この際に発生する需要は波及効果と別に商業マージン・運輸マージンとして直接効果に加えられる。

※交通費が運輸業に対応していることから運輸業の金額が高くなっている。自動車専用 道の利用料金は運輸施設提供業として運輸業に含まれる。

※宿泊業・飲食店は対個人サービスに含まれることから、特に金額が高くなっている。

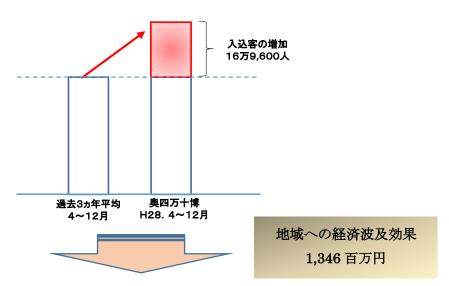
奥四万十地域での過去 3 年、4 月~12 月における入込客実績と、今年度 4 月~12 月における入込客実績の増加分(169,600 人)を対象とする生産誘発効果は、<u>直接効果約 9 億</u> 89 百万円、それに伴う生産誘発効果は約 13 億 46 百万円</u>となった。

# 4.4 奥四万十博の効果

奥四万十博実施の効果:

- ・ 入込客数の増加と、それに伴う地域への経済波及効果
  - <要因>
    - ・ メディアなどへの積極的な情報発信
    - ・ 新たなイベントや体験プログラムの造成
- 奥四万十博の実施によって、5市町、民間事業者、メディア関係等のジャンルを超えた連携が展開され、奥四万十地域における広域観光の推進における基盤が整った。
- ・ 「奥四万十」の知名度向上

# 【入込客数の増加】 過去三ヵ年平均比 108% **169,600** 人増



#### 【入込客数の増加による経済波及効果】

	入込客	入込客の増加	直接効果	経済波及効果	
奥四万十博 (H.28.4月~12月)	2, 262, 528人	169, 600人	989百万円	1, 346百万円	

# 【情報発信とイベント・体験プログラムの効果】

- ・メディアへの早めの情報発信の徹底や、域内のイベントをガイドブックと HP で纏め て掲載するなど、効果的な情報発信 (PR) と、新規のイベントや体験プログラムの効 果で地域への入込客数増加を実現した。
- ・奥四万十博開催における目標数値は平成 25 年度から平成 27 年度の入込客数 3 ヶ年平均値を基準として、宿泊施設・体験プログラムについては 10%増、主要観光施設・イベントについては 20%増であった。
- ・奥四万十博開催期間中の入込客数と過去3ヵ年平均比較

#### 【経済波及効果算出用】奥四万十博期間H28.4月~12月 と H25~H27(4月~12月)の比較

**入込客数** 単位:人

H28	宿泊施設	主要観光施設	体験プログラム	イベント	計
須崎市	19,856	374,327	7,951	167,519	569,653
中土佐町	9,824	215,314	4,923	43,850	273,911
四万十町	14,284	908,086	4,995	79,861	1,007,226
津野町	9,479	247,874	5,371	15,146	277,870
梼原町	6,545	92,157	2,019	33,147	133,868
合計	59,988	1,837,758	25,259	339,523	2,262,528

単位:人

H25~H27平均	宿泊施設	主要観光施設	体験プログラム	イベント	計
須崎市	17,895	367,463	6,477	86,552	478,386
中土佐町	10,709	212,211	4,257	42,625	269,802
四万十町	13,636	920,448	2,301	44,762	981,147
津野町	8,108	225,126	261	12,732	246,227
梼原町	6,310	86,021	812	24,221	117,365
計	56,657	1,811,270	14,109	210,892	2,092,928

#### 増減比較

**入込客増数** 単位: 人

差分	宿泊施設	主要観光施設	体験プログラム	イベント	計
須崎市	1,961	6,864	1,474	80,967	91,267
中土佐町	-885	3,103	666	1,225	4,109
四万十町	648	-12,362	2,694	35,099	26,079
津野町	1,371	22,748	5,110	2,414	31,643
梼原町	235	6,136	1,207	8,926	16,503
合計	3,331	26,488	11,150	128,631	169,600

#### 入込客増減率

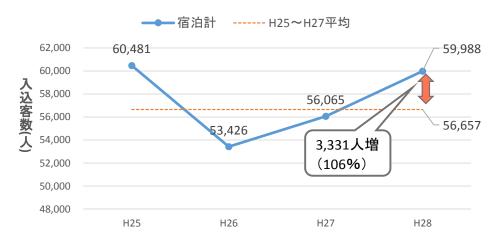
差分	宿泊施設	主要観光施設	体験プログラム	イベント	計
須崎市	111%	102%	123%	194%	119%
中土佐町	92%	101%	116%	103%	102%
四万十町	105%	99%	217%	178%	103%
津野町	117%	110%	2,058%	119%	113%
梼原町	104%	107%	249%	137%	114%
合計	106%	101%	179%	161%	108%

※塗りつぶしは目標を達成したもの

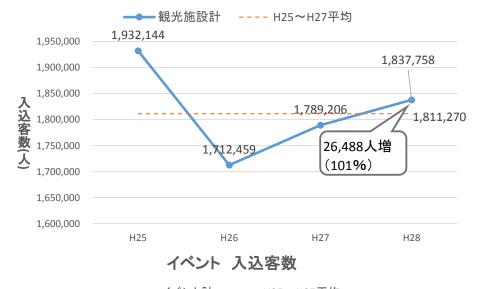
※上記の表の『H25~H27 平均』の数値は、各市町、各分野(宿泊施設、主要観光施設、体験プログラム、イベント)の各年の合計の数字をそれぞれ平均している。そのため、個別の施設・イベント等の個別の3ヶ年平均の合計とは一致しない場合がある。

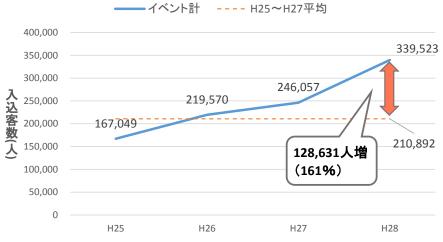
# 【情報発信とイベント・体験プログラムの効果】

# 宿泊施設 入込客数

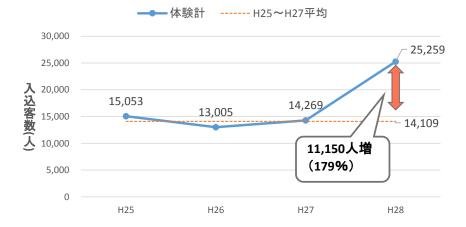


# 主要観光施設 入込客数





# 体験プログラム 入込客数



# 【特に集客増に貢献したイベント】

市町	名称	H28集客数
須崎市	ご当地キャラクターまつり	95,000
梼原町	ゆすはらグルメまつり	30,000
須崎市	奥四万十博オープニング	25,000
中土佐町	かつお祭	19,000
四万十町	米こめフェスタ	15,000
四万十町	海洋堂造形怪獣総進撃	14,057
須崎市	すさきX'masイルミネーション	4,500
須崎市	海の駅・須崎の魚まつり	4,000
四万十町	奥四万十博クロージング	3,000
四万十町	ジオラマ展 in 四万十	2,263
四万十町	土佐大正駅ミュージック&レールフェスタ	2,200
須崎市	SU.SU.MU.FES	2,000
津野町	ツノチャ・マルシェ	2,000

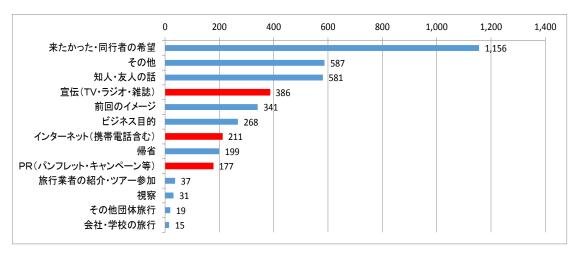
### 【特に集客増に貢献した体験プログラム】

【 1710 未 日 10 頁 前 0/2 体験 2 日 2 2 2 2				
市町	名称	H28集客数		
津野町	トゥクトゥク乗車体験	3,460		
中土佐町	上ノ加江漁港 漁業体験	1,540		
四万十町	ジオラマ作り体験	1,380		
須崎市	シーカヤック&SUP無料体験	1,283		
梼原町	坂本龍馬脱藩の道ウォーキング	1,274		
四万十町	ラフティング(ふるさと交流センター)	1,200		
津野町	天狗高原セラピーウォーキング	1,001		
須崎市	かまぼこ作り体験	591		
四万十町	ブルーベリー摘み体験(サンビレッジ影野)	356		

# 【メディアへの情報発信効果】

県外訪問客で多かった愛媛県からの来訪客は、テレビ CM・新聞などの情報発信で奥四万十博を訪れるケースが多かった。

今回の「調査地点を訪れたきっかけ」アンケートでは、上位を占めている同行者・知 人・友人の希望・話を除くと、メディア広告で奥四万十博を訪問した観光客の割合は多 い。



調査地点を訪れたきっかけ

以下の表は、奥四万十博開催中に協議会がメディアを利用して実施した情報発信の一部だ。

【メディアの情報発信 H.28 4月~12月】

メディア	愛媛あい TV、高知民放、FM 高知・愛媛・くらしき、愛媛新聞、高
	知新聞、朝日新聞、産経新聞、BS-TBS、BS フジなど
イベント PR	松山三越、四国 DC キャンペーン、高松ゆめタウン、ゆめタウン徳
	島、大阪駅 DC キャンペーン、阪急梅田など
旅行会社セールス	九州四国フェリー、松山市旅行会社、JTB 販売促進会、東京・大
	阪・名古屋・岡山・福岡・広島セールスキャラバン、東京メディア系
	大手旅行会社、愛媛フェリーなど
テレビ CM	テレビ各局 CM(高知、岡山、愛媛、香川、大阪、兵庫、、、)など

#### 5. 奥四万十地域での広域観光推進について

- 5.1 広域観光とは(一般論)
- 1) 自治体単位の観光地域づくりから広域連携へ

#### 観光地域づくり

- ■求められる観光地域づくりへの対応
  - ・地域住民向けのまちづくりと、域外からの来訪者を受け入れる体制づくりを分けて捉えるのではなく、自然環境・資源の保全、伝統文化の維持・継承、まちなみ・景観形成、新鮮・安全な地場産品の直販などにおいて、地域の関係者が横断的に連携して取り組む観光地域づくりの動きが広がっている。
- ■地域の産業面からみた観光地域づくり
  - ・地域の産業面からみるとこのような観光地域づくりの目指すところは、地域資源を最大限に活用し、地場産品や体験プログラムを積極的に販売し、地域産業の振興を図っていくこととなる。
- ■観光地域づくりの組織体の必要性
  - ・観光産業と農商工業が連携し、地域産業全体の振興を視野に入れた、観光地域づくりを推進していくためは、多様な主体の連携・協働が不可欠であり、これらをコーディネートしつつ、新たな事業や商品・サービスをプロデュースしていく組織が必要とされている。ワンストップ窓口となって、着地型旅行商品の販売をしていく機能を担う観光地域づくりの組織体(観光地域づくりプラットフォーム)が必要とされている。

#### ■広域での連携

・個人やグループの観光客が増え、行動範囲が広域化してきているなかで、国内向け、海外向けプロモーションいずれにとっても、自治体の区域に縛られた取り組みで <u>は限界がある。</u>このような中で、周辺地域との連携をした広域観光地域づくりプラットフォーム(広域連携組織体)が、全国的に形成されている。

#### ■独自財源の確保

- ・このような広域観光地域づくりの組織体が、持続的、かつ効果的に必要な事業を行っていくためには、安定した独自財源を確保していく必要がある。 現実的には、ほとんどの組織が行政からの補助金・負担金に依存している状況である。
- ・広域組織体が造成した※<mark>着地型旅行商品</mark>の開発・販売は、組織自体の収益源にはなっていない所が多いが、地域全体からみると、地域資源を有効活用し、食を中心とした物販につながるなど、地域産業振興に効果を出している。
- ■民間の事業マインドと経営センスをもったプロフェッショナルな事業運営
  - ・既存の広域乾燥組織体において、着地型旅行商品の開発・販売、インバウンドへの 取組等、多様化・高度化する事業を効果的に実施していくためには、民間の事業マイ

ンドと<mark>経営センス</mark>を持った責任者が不可欠である。各組織の統括責任者には、旅行会 社経験者、民間の事業経営センスを有した地域出身者等が就いて、事業の効果をあげ ているところが目立つ。

#### ■観光まちづくりを結実させていくための究極はひとづくり

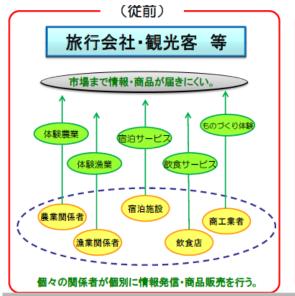
・観光まちづくりを結実させていくためには、観光産業とまちづくりの両者のマインドを持ち、多様な関係者を束ね、動かしていくリーダーの存在が不可欠である。

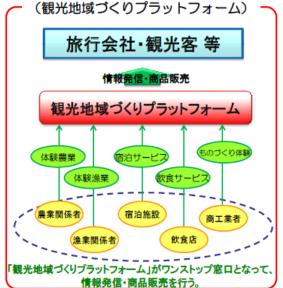
※着地型旅行商品とは:旅行先の地域が主体となり、各種体験や地元産品等当該地域ならではの観光資源 を活用して造成された旅行商品。

#### 【参考】観光庁の「観光地域づくりプラットフォーム」2013年4月1日

観光を通じた地域振興を図っていくためには、行政区域にとらわれないエリアで様々な関係者が協働し、当該地域の資源を活用した着地型旅行商品を企画・販売する等、滞在型観光につながる持続的な取り組みを活性化させていくことが重要である。

そのためには、地域内の着地型旅行商品の提供者と市場(旅行会社、旅行者)をつなぐワンストップ窓口としての機能を担う事業体が必要である。





出典:観光庁 HP より

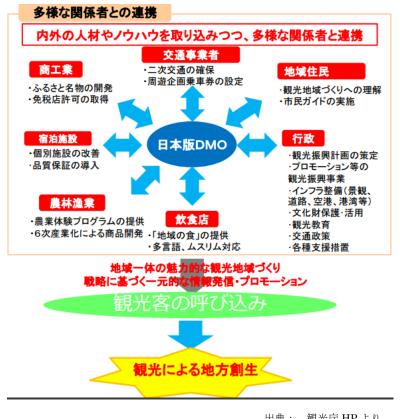
#### **2) 顧客志向の広域観光推進への転換** - 日本版 DMO -

- 観光地域づくりプラットフォームから、日本版 DMO へ -

日本版 DMO は、観光地域づくりプラットフォームの「ワンストップ窓口」としての機能を超えて、経営の視点から地域の観光資源を総合的にまとめて、新たな市場を創造する役割を担う法人である。

観光庁が定義する日本版 DMO が担う基礎的な役割と機能(観光地域マーケティング・マネジメント)は、以下のとおりである。

- ① 日本版 DMO を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者 の合意形成
- ② 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立
- ③ 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション



出典: 観光庁 HP より

#### 【参考】日本版 DMO 候補登録法人数

広域連携 DMO 4件、地域連携 DMO 56件、地域 DMO 63件

#### 5.2 県の広域観光推進体制について

高知県では、国が地方創生施策として推奨している日本版 DMO による観光地域づくりを受けて、県下の広域観光組織の体制強化(法人化)を進めており、平成27年時点で3か所の広域観光組織を平成31年には5か所の法人化を目標設定している。

高知県では、日本版 DMO の考え方に基づいて、以下のような広域観光組織体の整備を進めている。

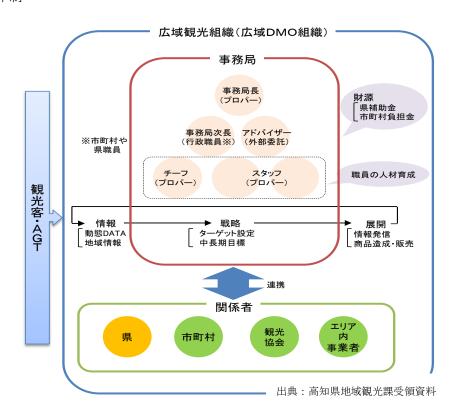
#### ■広域連携の必要性

- 1)旅行者の広域観光ニーズへの対応
- 2) 地域ブランドの確立と訴求力強化
- 3) 圏域内への経済波及効果を高める

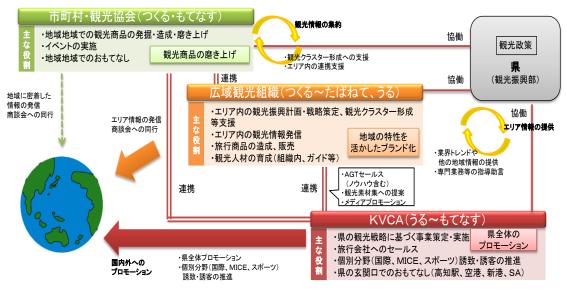
#### ■広域観光組織が担うべき機能

- 1) 企画・統括機能
- 2) 情報発信機能
- 3) 旅行商品造成·販売機能
- 4) 広域観光ブランディング機能

#### ■体制



#### ■関係団体の連携



出典:高知県地域観光課受領資料

# 5.3 県内の広域観光推進の動向

高知県内でも、既に広域観光を推進する組織が立ち上がり、取り組みを始めている地域がある。

以下の三つの広域観光組織に、広域での観光推進の体制・取り組みをヒアリングした内容を整理する。

地域ブロック	広域観光組織	設立 (法人化)
幡多地域	(一社) 幡多広域観光協議会	平成 22 年 6 月
仁淀川地域	(一社) 仁淀ブルー観光協議会	平成 27 年 12 月
安芸地域	(一社) 高知県東部観光協議会	平成 28 年 2 月

※幡多広域観光協議会は、日本版 DMO の地域連携 DMO 候補法人として登録されている。

# (一社) 幡多広域観光協議会

#### 【設立】平成22年6月

#### 【目的】

幡多6市町村(四万十市・宿毛市・土佐清水市・黒潮町・大月町・三原村)・観光協会等が連携して高知県内で初めての地域広域観光組織として設立された。



出典: 幡多広域観光協議会 HP より

#### 【組織概要】

代表理事:四万十市観光協会会長兼務

事務局長:高知県から出向

スタッフ:6名(派遣1名、正職員3名、

契約1名、臨時1名)

事業予算: 66,000 千円 (H29 年度)

内事業収入 17,000 千円

### 【主な事業】

- ・旅行事業に関する商品造成、誘客促進
- 対象商品:

教育旅行、スポーツツーリズム、

一般旅行、国際観光

### 【職員について】

	職員A	職員B	職員C	職員D	職員E	職員F
肩書:	事務局長	企画広報主任	事務局員	事務局員	事務局員	事務局員
雇用形態:	出向	正職員	正職員	正職員	契約職員	臨時職員
出身:	高知県庁	協議会	協議会	-	_	_
担当:	全体運営、管理	一般旅行・教育旅行、 情報発信関係業務	一般旅行・教育旅行、 情報発信関係業務	教育旅行、総務	一般旅行・旅行業	補助的業務

### 【今までの主な取り組み】

- 1) 第二種旅行業の登録。 平成 22 年 11 月
- 2)「楽しまんと!はた博」開催 平成25年度
  - ・幡多地域への誘客促進に向け、高知県や幡多6市町村、商工団体、観光関係事業者などが官民一体となって地域博覧会「楽しまんと!はた博」や誘客キャンペーンを展開している。

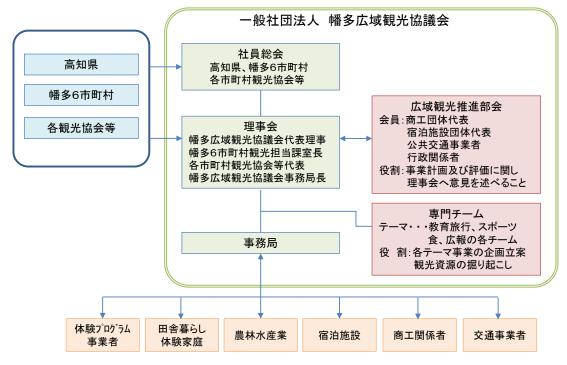
- 3) 幡多広域観光振興計画の策定 平成27年3月
  - ・幡多広域観光振興計画を策定し、幡多広域観光の目指す姿や現状と課題を明らかにし、平成27~32年度の6カ年で目指すべき数値目標を定めている。
    - **H33** 年 **県外観光客 7** 万人以上増、観光消費額 **19** 億円以上増 同計画では、取り組みのターゲットを「教育旅行」、「スポーツツーリズム」、「一般旅行」、「国際観光」と定め、それぞれのターゲットごとに具体的な施策として、(1)商品造成、(2)誘客促進、(3)広報 **PR**、(4)体制強化に取り組んでいる。

#### 【主な実績】

#### 教育旅行受入

農林水産業体験や田舎暮らし体験といった強みを活かした教育旅行の受入実績 H27 年度実績 1,313 人 H28 年度見込み 1,500 人

#### 【体制】



出典: 幡多広域観光協議会から受領した資料に基づいて作成

# (一社) 仁淀ブルー観光協議会

### 【設立】平成 27 年 12 月

### 【目的】

高知県仁淀川流域6市町村(土 佐市・いの町・日高村・佐川町・ 越知町・仁淀川町)にある、自 然や歴史文化、伝統産業などそ れぞれの観光素材を組み合わ せた広域的な着地型旅行商品 の組み立てや企画、「仁淀川」を 核とした山から海までの流域 6市町村の魅力の発信をして いる。



23・20・27年及 主國主教門川の小員フライフラ (お主世となりなりた: (国工文地省発表)

出典:仁淀ブルー観光協議会 HP より

### 【組織概要】

代表理事:いの町観光協会会長兼務

事務局長:高知県から出向

スタッフ: 4名(出向1名、契約3名)

事業予算: 53,360 千円 (H28 年度)

初年度のため事業収入は

殆どない。

### 【主な事業】

- ・エリア観光情報の県内外への情報発信
- ・県外旅行エージェントへのセールス活動

### 【職員について】

	職員A	職員B	職員C	職員D
肩書:	事務局長	企画員	企画員	総務
雇用形態:	県より出向	契約社員	契約社員	契約社員
出身:	高知県庁	旅行エージェント	旅行エージェント	_
担当:	管理運営	造成企画随行など	造成企画随行など	庶務・会計

#### 【今までの主な取り組み】

- 1) 第二種旅行業登録 平成 27 年 12 月 16 日
- 2)情報収集・発信事業
  - ·WEB 利用、SNS 利用 (FB、Twitter)

HP アクセス数 388,917 ページ (前年比 10%増)、翻訳エンジン利用による多言 語化対応

- ・各種メディアを利用した情報発信 テレビ、雑誌等への露出拡大(鉄腕 DASH、路線バスの旅)
- 3) 販売事業
  - ・高知県観光説明会等でのPR(全国 178 社)
  - ・旅行代理店への個別セールス(全国48社)
- 4) 観光人材育成
  - ·地域観光担当者研修会(8回)
- 5) 日本版 DMO 登録準備
  - ・観光動態調査結果・分析を経た観光振興計画の見直し
- 6) 事務所移転
  - ・平成29年2月1日 事務所を西佐川駅に移転し、体制を強化する。

#### 【今後特に力を入れたい事業】

- 旅行商品の企画造成及び販売
- ・ 地域の受入体制の整備
- ・インバウンド受入環境の整備
- ・自主財源の確保(賛助会員拡大、物販、自主企画旅行商品開発・販売)

#### 【これまでの事業で、より効果的であったもの】

- ・県・観光コンベンション協会と連携したセールス・プロモーション
- ・県外での物産観光フェアを通じたPR
- ・県外旅行エージェントへのツアー造成補助

#### 【今後の取り組み事業においての課題】

- ・新たな観光素材の発掘や周遊コースの開発
- ・旅行商品自主財源の確保(旅行商品や物販販売、賛助会員の拡大など)
- ・宿泊施設の拡大と二次交通の充実

### 【実績と目標】

・仁淀川エリアへのツアー誘客拡大

H23年から5年間で7倍の誘客!

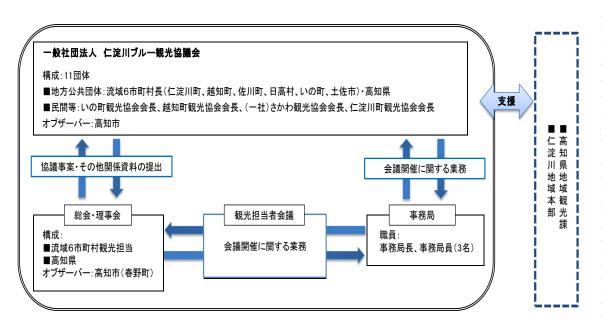
H27 年度のツアー実績: **3.784** 人 (催行本数 147)

経済波及効果は 127,940 千円

H28 年度の見込み: **4,500 人** (催行本数 180)

H29 年度の目標: **6,000** 人

# 【体制】



出典: 仁淀ブルー観光協議会から受領した資料に基づいて作成

### (一社) 高知県東部観光協議会

### 【設立】平成28年2月



# 【目的】

「高知県東部観光協議会」は、平成 28 年2月に設立された広域観光組 織で、高知県の東部地域9市町村 (安芸市、室戸市、芸西村、田野町、 安田町、奈半利町、東洋町、北川村、 馬路村)で開催された観光キャンペ ーン「高知家・まるごと東部博」を 契機に、その際に築き上げたネット ワークや広域観光推進の取り組み を継続していくために設立された。 交流人口の拡大による地域経済の 活性化を図ることを目標に、地域の 戦略づくりや体験プログラムの造 成・磨き上げ、広域的なプロモーシ ョンや情報発信・キャンペーン等に よる誘客を進めている。

# 【組織概要】

代表理事: 安芸市長

社員:正会員10名(9市町村長、県知事)

事務局長:高知県から出向

スタッフ:6名(行政派遣2名、

旅行会社派遣1名、

正職員2名、臨時1名)

事業予算: 70,855 千円 (H28 年度案)

初年度のため事業収入はない。

#### 【主な事業】

- ・地域観光商品等の企画・造成・販売
- ・地域観光情報の収集および発信
- ・人材育成および観光客等の受け入れ体制構築

#### 【職員について】

	職員A	職員B	職員C	職員D	職員E	職員F
肩書:	事務局長	事務局次長	観光マネージャー	チーフ	企画スタッフ	スタッフ
雇用形態:	県より出向	派遣	正職員	安芸市より派遣	正職員	臨時
出身:	県	旅行エージェント	旅行エージェント	安芸市	-	-
担当:	管理運営	マーケティング総括	PR、一般旅行全般	PR、一般旅行全般	PR、一般旅行全般	総務・会計

#### 【平成28年度の主な取り組み】

#### 1) 広域観光圏プロジェクト

「第三次安芸広域ふるさと市町村圏計画(平成 23 年度~平成 32 年度)」において、 観光は地域の新たな基幹産業として位置付けられ、「広域観光圏プロジェクト」をテ ーマに、滞在型・体験型観光の拡充、情報発信、宿泊機能の強化、スポーツ交流、他 地域との連携等に取り組む。

#### 2) 企画統括事業

・マーケティング調査実施 地域の観光客動向調査・分析・戦略策定に係る調査を JTB へ委託。 日本版 DMO 研修会へ参加

#### 3) 情報発信・セールス活動事業

- ホームページ作成 高知大のアドバイスにより HP を作成中。
- ・教育旅行会社へのセールス活動

高知県観光説明会と併せてのセールス活動を実施(全国 11 か所、53 社訪問) 主な旅行会社:東武トップツアー、阪急交通社、日本旅行、ほか

- ・県内外のイベントでの PR四国 DC (高松、大阪など)
- ・メディアを利用した情報発信(テレビ CM、雑誌・新聞等)

#### 4) 観光人財育成事業

- ・民泊研修、観光資源の磨き上げ・造成支援
- 5) 旅行業取得事業
  - 旅行業2種取得準備:高知県知事登録手続き申請中。

#### 【主な実績】

教育旅行受入で実績! - 積極的な教育旅行代理店へのセールスと民泊の開発-

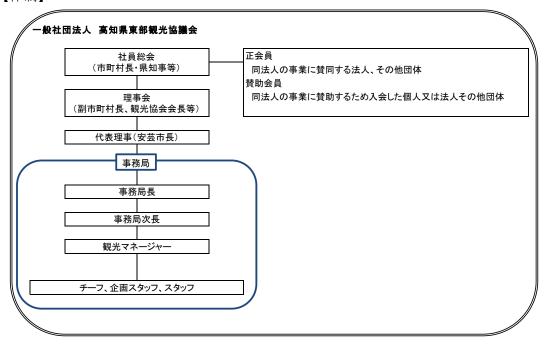
H28 年度実績 3 校 計 **569** 名

H29 年度受入決定 4 校 計 640 名

H30 年度受入決定 5 校 計 **800** 名

民泊登録数 **106** 軒 (H28 年 12 月末現在)

# 【体制】



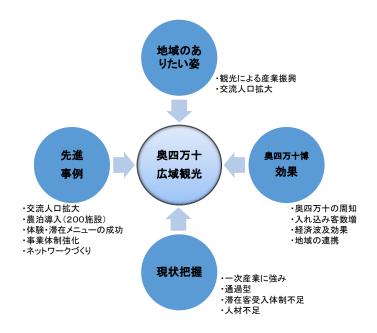
出典:高知県東部観光協議会から受領した資料に基づいて作成

# 5.4 広域観光推進の実施手順

広域観光推進の手順として、今後のありたい姿、目指す姿を「ビジョン」として整理をして共有し、それを基にして、ビジョンを実現する為に必要な戦略と組織をマネージメントする広域連携組織体をつくるという考えで、以下の広域観光推進の手順を提案する。

奥四万十の1) 地域観光の特色を把握し、2) 奥四万十地域のあるべき姿・ありたい姿・めざす姿を考え、めざす姿に対して3) 現状を把握し(問題、課題、強み、弱み、需要機会など)、4) めざす姿と現状とのギャップを抽出し、5) ギャップを埋めるためにやるべきことを緊急度、重要度で整理をし、6) 先進事例の成功例・失敗例を参考にし、7) やるべきことを実現するための広域組織体を設立して、8) やるべきことを広域の組織体と地域の関係者(行政、観光事業者、地域住民)の参加によって、9) 事業戦略・事業計画としてまとめる。

- 広域推進の実施手順
  - ① 地域の特色の整理と地域が「目指す姿」の整理
  - ② 地域の現状を把握する(地理的特性、産業特性、観光の現状と課題)
  - ③ 目指す姿と現状のギャップを洗い出す
  - ④ ギャップを埋めるために何をやるべきかを洗い出す
  - ⑤ 広域組織体のやること(役割)と各地域の組織体の役割を明確にする
  - ⑥ 広域組織体の設立 → 先進事例の取組みを取り入れる!
  - ⑦ 事業戦略・計画の立案 → 奥四万十博効果の維持と Up!
  - ⑧ 事業の実施と PDCA



# 5.4.1 奥四万十地域観光のめざす姿

# - 産業振興の視点から観光振興のめざすべき姿を定義する -

第3章で既述したように、奥四万十地域の5市町には沖縄や箱根のようないわゆる「観光地」としての歴史はなく、一・二次産業に軸を置いた産業構造を持っているため、「地域振興」を考える上でまず優先させるべきは一・二次産業を中心とした「産業振興」であるべきである。その上で、観光振興のめざすべき姿を考える必要がある。

# 地域のあるべき姿:「産業振興」

観光だけではなく、産業振興や環境保全等も含めた「町づくり」を中心に据え、 地域の今後のあるべき姿を描き、地域と一体となって進めていく必要があると考 える。

#### 観光振興のめざすべき姿:産業観光の推進

地域の事業、経済を回している産業「エンジン」を維持・強化することを第 一義とし、それを観光が後押しする、あるいは地域の特色ある産業そのものが 観光資源となる、という視点で観光振興を進めることが重要であると考える。

#### 5.4.2 現状把握と課題解決 (=やるべきこと)

奥四万十地域を以下の4つの現状把握から其々の抱える課題・強みを明確にし、広域と 地域(各市町)でやるべきことを顕在化する。

- 1) 地理・産業特性の現状把握
- 2) 5市町の観光推進(振興)の現状把握
- 3) 【視点1~10】からの現状把握
- 4) 奥四万十博の効果の把握

### 1) 奥四万十地域の地理的特性:

奥四万十地域は、高知市、南予・松山市(中予)、幡多などの中規模観光地域の中間地 点に位置し、通過型の小規模観光地域としての位置づけがされていることは、県の調査、 奥四万十博開催中に実施したアンケート調査結果からも明らかである。

アンケート調査結果から、南予エリア、松山エリアからの来訪者をみると、奥四万十を 目的地として来訪している傾向がある(県調査、奥四万十調査から)。



単一周遊ルートでは、通過型の観光地域という課題の解決は難しいが、 地理的条件を活かして、隣接地域(南予、幡多、高知市、松山市)との PR 連携による誘客、 立寄型の旅行商品の開発によって、立寄り観光客の増加による滞在時間の拡大とそれに伴う消費拡大を図ることが可能性として考えられる。

- 周遊ルートとして不利な地理的条件 → 弱みの克服:
  - ① 通過型を立寄り型の誘客へ
  - ② 隣接地域との協働連携による周遊ルートづくりで滞在型の誘客へ
  - ③ 産業観光資源など、奥四万十広域の観光資源磨き上げによる滞在型の誘 客へ

# 2) 5市町の観光推進における課題

以下の表は、5市町の総合戦略の中で取り上げられている観光戦略の施策に対する現状 と課題について、5市町からヒアリングした内容を整理したものである。

市町	ありたい姿(総合戦略)	現状	課題
須崎市	・体験 ・民泊事業の観光産業化に向けた観光協会の法人化 ・広域観光推進 ・スポーツセンターを活用した体験型観光推進	・観光資源の不足 ・宿泊施設の不足 ・スポーツ体験プログラムの充実と誘客	・観光資源の発掘 ・磨き上げ ・宿泊客受け入れ体制の強化 ・スポーツ体験プログラムの磨き上げ
中土佐町	・地域ブランドの醸成 ・文化財等を活かした観光振興 ・自然を生かしたスポーツ観光の振興	・地域内での人材不足(行政・地元とも)・宿泊施設の不足・地元の産業を整えることが優先	・人材の確保 ・外貨獲得の仕組み整備
四万十町	<ul><li>・広域組織の連携と交流人口の拡大</li><li>・滞在型観光観光拠点施設整備事業</li><li>・道の駅整備事業</li></ul>	・観光資源の連携ができていない ・企画 ・営業面での機能不足 ・宿泊の受け入れ体制が弱い	・観光資源の磨き上げ ・人材の確保 ・地域の受け入れ体制の強化
津野町	・宿泊、体験 ・滞在型観光 ・広域観光推進	<ul><li>・観光を推進する主体がない</li><li>・観光資源の不足</li><li>・地域人材の不足</li><li>・宿泊施設の不足</li></ul>	・観光資源の発掘 ・磨き上げ ・人材の確保 ・地域の受け入れ体制の強化
梼原町	・広域観光の継続的な推進するための 地域全体の観光をコーディネートできる 組織の立上げと人材育成	・地域人材の不足 ・宿泊施設の不足	・人材の確保 ・地域の受け入れ体制の強化
【奥四万十地域全体	1-+'3-+2+ m1		
1 吳四万十地以至体	ありたい姿	現状	課題
奥四万十地域全体に共通するもの	・広域観光の推進 ・体験型、滞在型の観光の推進(交流人口 拡大)	・宿泊施設の不足 ・人材の不足 ・観光資源(発掘 ・磨き上げ)の不足	・地域の受け入れ体制(宿泊施設) の強化 ・人材の確保 ・地域観光資源の発掘・磨き上げ ・広域観光資源の発掘・磨き上げ

#### 【地域共通の目標】

- 奥四万十博で周知された「奥四万十」の認知度の向上と広域観光推進。
- 体験型・滞在型の観光推進による奥四万十地域への交流人口拡大(宿泊客増)。

#### 【目標を達成するための課題】

- 観光推進の人材確保
- 観光資源の発掘と磨き上げ
- 体験・滞在の受け入れ体制(宿泊施設不足の解消)

#### 【課題解決の施策 → 広域観光組織に期待する役割】

- ノウハウのある人材採用
  - ▶ 観光商品造成に必要なマーケティングと事業運営のマネージメントに関する ノウハウを有する人材を民間から採用する。
  - ▶ 採用する人材は、関係各所との利害調整、他地域の広域組織や旅行代理店などジャンルを超えたネットワークを構築できるコミュニケーション力を有する人材が必要。

- 奥四万十地域の人材育成と相互協力
  - ▶ 広域組織体による奥四万十地域内での研修の実施(マーケティングノウハウ研修など)
  - ▶ 奥四万十広域の観光商品の造成(資源発掘と磨き上げ)と情報発信など

※広域組織の役割については、「6.4 広域系組織と地域系組織の役割分担」に記載。

#### 【体験・滞在の受入体制(宿泊施設)課題】

• 先進事例を参考に挙げると、当初、教育旅行等の体験・滞在の受入で課題であった宿 泊施設不足を徐々に解消し、農家民泊・民泊の登録数を増加させている。

東部広域実績: H27年12月 民泊登録件数75軒 から

H28年12月 106 軒に増加へ 体験型教育旅行受入 569 名

そらの郷実績: H27 年現在、農家民泊 200 軒 体験型教育旅行受入 4,000 人

- 体験・滞在の受け入れ体制強化については、先進事例のノウハウを参考に解決を図る ことが期待できる。
  - ▶ 旅行代理店へのセールス、農家・民宿家庭への研修

# 【参考】 「そらの郷」の農家・民宿家庭への研修

そらの郷は、体験型教育旅行の地域の受け入れ体制強化策として、農家・民宿家庭への研修を実施している。

- 体験型教育旅行の受け入れ家庭スキルアップ
- 農林漁家民宿へのステップアップ講習
- 外国語研修

### 3)【視点1~10】からの現状把握

「3.3 奥四万十地域の今後の観光のあり方・考え方」で前述した「視点」を整理し、今後、奥四万十地域で広域観光を推進する上でやるべきことを整理した。

### 【視点1】「目的地づくり」

### あるべき姿:

奥四万十地域のブランド・コンセプトを共有し、コンセプトに合った、 旅行の目的となるような魅力的な観光資源が奥四万十地域に在ること。

### 現状把握と課題:

奥四万十博のマスコミへの露出により、「奥四万十」の名前は、県外に周知された。 一方で、観光客へのアンケートによると、奥四万十のイメージは、「海、山、川」、 「自然がいっぱい」といった漠然としたものが多く、他の地域との差別化がされて いないのが現状である。

### やるべき事:

- ・奥四万十のブランド・コンセプトを創造する。
- ・コンセプトにマッチした差別化されたここにしかない観光商品を開発する。
- ・そのために、先ずは、広域組織が主体となって、地域の関係者と以下の作業を 実施した上で、観光商品を開発する。
  - ▶ 奥四万十博のレビュー実施!
  - ▶ 奥四万十の魅力を再認識するためのワークショップを開催!
  - ▶ 地域の観光資源の分析と活用方向の整理(CS調査、モニター調査など)!
  - ▶ 観光客の特性を知るための基礎データの整理と分析!

実施組織: 広域組織体、行政、観光協会、観光事業者、産業事業者ほか

### 【視点2~4】通過客を引き込む

あるべき姿: 奥四万十地域での滞留・滞在時間の拡大による地域での消費拡大

### 現状把握と課題:

前述した県調査の「周遊ルート分析」によると、「高幡」地域内での周遊は、県内全体の3.6%である。高知市から幡多への周遊ルートにおいて、高幡は通過地点の位置づけである。

### やるべき事:

・多様な顧客のニーズに対して、マーケティング手法を導入したニーズ調査、観光 資源の磨き上げによる観光商品を造成する。

※「5.5 求められる旅行商品と観光資源の磨き上げ」を参照。

実施組織: 広域組織体、行政、観光協会

### 【視点5】他地域との連携

あるべき姿: 他地域との連携による周遊ルートの開発と交流人口の拡大。

### 現状把握と課題:

奥四万十博で、5市町間の連携による「奥四万十」の域内外への周知はできた。

### やるべき事:

- ・奥四万十の周知から認知度向上による域内消費拡大と経済波及効果を拡大する。
- ・ 県内の他地域(広域観光組織)、愛媛県の南予地域などとの連携による周遊ルート を開発する。
- ※ 「6.2 広域組織体のやるべきこと」の「2)観光商品の造成」を参照。

実施組織: 広域組織体、行政、観光協会

### 【視点6】時代の変化への対応

あるべき姿: **IT** を活用した地域の情報発信 - 特に個人・小グループへは - 現状把握と課題:

奥四万十博の個人・小グループの来訪客で20代から40代の多くは、スマホ(インターネット)で地域の情報を収集している(イベント、美味しいものなど)。

### やるべき事:

- Web を利用した情報発信をする。
- ・観光・体験予約サイトとの連携で、サイト内に奥四万十の特集ページを開設する。
- ・オンライン旅行予約サイト、四国 DC サイトと連携し、同サイト内において、来 年度の四国デスティネーションキャンペーンに向け、期間中の域内のイベントや 滞在プログラム、観光施設の PR をする。

※「6.2 広域組織体のやるべきこと」の「3)伝える=情報発信力」を参照。

実施組織: 広域組織体、行政、観光協会

### 【視点7】「産業振興」による「観光振興」

あるべき姿: 地域産業を後押しする観光振興

### 現状把握と課題:

一過性の観光イベントによる誘客と消費が観光振興モデルの主体であり、継続・持 続的な展開に難がある。

### やるべき事:

地域産業と観光資源を融合した差別化された新たな観光資源を創造する。

例:産業観光 × 既存の観光資源(食、文化など) = 産業振興

※『5.5.2 奥四万十広域の「地域資源の掘起こし」と「観光資源の磨き上げ」』 を参照。 実施組織: 広域組織体、行政、観光協会、観光事業者の他に、地域住民や農林水産 業者、商工業者の参画が不可欠。

### 【視点8】観光関連業の事業継続性の確保

あるべき姿: 時代の傾向・ニーズに対応し、継続的・持続的な観光事業の展開

### 現状把握と課題:

一過性の観光イベントによる誘客と消費が稼ぐモデルの主体。

### やるべき事:

- ・観光資源を消費するだけの観光から「限りある観光資源・素材の価値を将来にわたり享受できるような持続可能な観光」を展開する。
- ・そのために、体験型観光、滞在型観光、スポーツ観光、産業観光といった地域で の滞在、体験、学習、研修、交流をするニューツーリズムを推進し、継続させて いく。
- ・そのためには、地域住民や農林水産業者、商工業者の参画が不可欠である。

実施組織: 広域組織体、行政、観光協会、観光事業者の他に、地域住民や農林水産 業者、商工業者の参画が不可欠。

### 【視点9】地域の産業連関を意識した戦略づくりと域内自給率の向上

あるべき姿: 地産地消による奥四万十地域の産業振興

### 現状把握と課題:

「3.3 視点1」で前述したとおり、「飲食料品」の域内自給率を見ると、22.1%と低く、地域内で消費される飲食料品の多くを域外からの移輸入した商品が占めているといえる。

### やるべき事:

・域内の飲食料品の自給率を向上(=地産地消)させることにより、以下の効果が期待できる。

飲食料品の自給率向上 = 一次産業促進(農業、漁業、畜産業、林業へ の波及効果)

- ・観光の視点から見ると、地産地消の観光資源化を推進する。
- ・例えば、奥四万十地域の海・山・川・農耕地の幸(観光資源)を集約させたグリーンツーリズム(レストラン)商品を開発する。
- ・それによって、地域での人の雇用も期待できる。

実施組織: 広域組織体、行政、観光協会、観光事業者の他に、地域住民や農林水産 業者、商工業者の参画が不可欠。

### 【視点 10】

あるべき姿: 「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくり

### 現状把握と課題:

奥四万十地域の訪問客で、滞在プログラム参加を目的にした訪問客は少ない。

### やるべき事:

・奥四万十地域の人々と訪問客が、地域の文化、伝統、食を通じて触れ合う仕組み づくりをする。

実施組織: 広域組織体、行政、観光協会、観光事業者の他に、地域住民や農林水産 業者、商工業者の参画が不可欠。

### 5.5 求められる旅行商品と観光資源の磨き上げ

### 5.5.1 奥四万十地域で求められる着地型旅行商品とは

奥四万十観光地域の課題である交流人口拡大に求められる着地型商品に求められるものは、

- ① 観光客の本物志向が高まる中、当地でなければ体験できない体験型商品か?
- ② 地域内での観光消費額を増加させるため、観光客の立寄りを誘うことができる商品か?
- ③ 日帰り・一泊の観光客が主体の中で、二泊以上の長期滞在を楽しむことができる 滞在型商品か?

### 一般的に

- 非通過型の観光地域では、教育旅行や大都市住民をターゲットに体験・ 滞在型の商品に特化する傾向である。
- 通過型の観光地域では、宿泊客、通過観光客、近隣地域の日帰り客をターゲットに立寄型の商品に絞り込んでいる。

観光地域が通過型か非通過型かは、その地域の地理特性が影響する場合が多い。 奥四万十地域は、

- 周りを中規模観光地域に囲まれた通過型の小規模観光地域である(周遊2時間余りのエリア)
- 松山市観光エリア、高知市観光エリア、幡多観光エリア、南予観光エリアからの中間に位置する。
- ・奥四万十地域は、地理特性で前述したとおり「通過型の観光地域」であることが広域 観光推進をしていく上で課題とされている。課題を克服する一般的な対策としては、 体験型・滞在型旅行商品開発が必要である。
- ・しかし、体験・滞在型旅行商品は、遠方からの観光客が対象になり、遠方からの集客 には変動や限界があるため、近隣地域の観光客や地元観光客のリピーターを増やすこ とが交流人口の拡大、収益安定の鍵となる。
- ・従って、先ずは、課題とされる通過型の地理特性を逆手にとって、周りの観光エリア (高知市、幡多、南予、松山市)からの観光客が立寄りをして満足ができる商品の開 発を目先の短期目標として取り組むことが先決と考える。

### 5.5.2 奥四万十広域の「地域資源の掘起こし」と「観光資源の磨き上げ」

奥四万十の広域観光推進をする上で必要な作業として、先ず、地域の資源をあらためて見直 して、再評価することが重要であると考える。 以下に、奥四万十地域に顕在する観光資源を 取り上げ、広域観光資源の掘起こし・磨き上げの一助とする。

### 1) 産業観光を地域活性化(=産業振興)に活用する -地域産業と観光の融合-

産業観光(さんぎょうかんこう)とは、歴史的・文化的に価値ある工場や機会などの 産業文化財や産業製品を通じて、ものづくりの心にふれることを目的とした観光をい う。基本的には二次産業を中心としたものであるが、一次産業や三次産業にも対象を広 げた観光の形態である。

「2.2.6 奥四万十地域内の産業連関」で述べたとおり、奥四万十地域は、県内の他地域と 比較して、一次産業・二次産業の特化係数が高く、それらを刺激することにより地域の 産業全体に経済的波及効果を与えることが期待できる地域特性を有している。

梼原・津野の山間部から四万十町の農耕地・台地、そして須崎・中土佐の海岸部を有し、多様な産業の宝庫として、高知県だけではなく四国内でもアドバンテージを有した地域である。地域産業と観光資源を融合させるという視点で奥四万十地域の産業観光資源となり得る資源を以下に取り上げてみた。

地域	産業観光資源
【山間部】	・梼原・津野の風力発電 ・津野町のお茶生産による六次産業 ・檮原町のFSCを取得した森林経営 ・檮原町のバイオマス事業 ・四万十大正町の「四万十ひのき」 ・北幡地域は県内一の栗の産地 ・四万十とおわの六次産業(栗カフェ) ・ダバダ火振り(ものづくり)
【農耕地・台地】	・全国有数のブランド米産地 ・全国ブランドの生姜・茗荷 ・四万十ポーク・牛(畜産業) ・県立農業担い手育成センター(研修) ・次世代施設園芸団地
[海岸部]	・酒造ギャラリー(県下最古の酒蔵) ・一本釣り・定置網沿岸漁業 ・浦ノ内湾・野見湾の養殖業 ・漁業と共に発展した漁師町 ・大正町市場 ・須崎セメント工場(国内最大級規模) ・ちくわ・じゃこ天作り(ものづくり)

# 産業観光へ磨き上げる 【有形観光資源として】 ・生産現場(工場、工房) ・エネルギー関連施設 ・漁場 農場 牧場 【無形観光資源として】 ・産業体験 ・ものづくり(わざ、熟練) 【有形+無形観光資源として】 ・産業博物館、資料館 ・産業景観 ・産業景観

出典:筆者が5市町の産業観光資源となる資源を選定した

このように、<u>奥四万十地域は、産業観光となり得る豊富(多様)な産業観光資源を有している地域であることが把握できる。</u>

### 2) 奥四万十地域 A級、特A級観光資源 - 全国レベルの観光資源の有効活用 -

更に、奥四万十地域には、観光資源台帳に**A級、特A級**で選定された全国で通用する 観光資源が**27か所**存在することをご存知でしょうか。

A級、特A級の観光資源に脚光を浴びせる仕組みづくり(企画)をするなど、全国レベルの観光資源を利用した観光商品づくりを企てることが交流人口拡大に発展することが期待される。

市町	観光資源(観光資源台帳 特A級,A級)	
【須崎市】	・スカイベイゴルフクラブ ・桑田山雪割り桜 ・須崎まつり ・くろしおフェアinすさき ・道の駅「かわうその里すさき」	
【中土佐町】	・黒潮本陣 ・かつお祭 ・久礼八幡宮大祭 ・久礼大正町市場/市場のめし屋「浜ちゃん」	
【四万十町】	・海洋堂ホビー館四万十 ・海洋堂かっぱ館 ・高南カントリークラブ(現:スカイヒル ゴルフクラブ) ・岩本寺 ・ホテル松葉川温泉 ・興津海水浴場 ・道の駅あぐり窪川 ・米こめフェスタ ・道の駅四万十大正 ・道の駅四万十とおわ ・こいのぼりの川渡し	
【津野町】	・四国カルスト天狗高原 ・高原ふれあいの家 天狗荘	
【梼原町】	・雲の上の温泉 ・雲の上の市場 ・太郎川公園 ・梼原千百年物語り資料館 ・雲の上のレストラン	
奥四万十地域 全体		27

出典: H. 26 年度 (財)日本交通公社 観光資源評価委員会「観光資源台帳」より

### (観光資源の内容について)

観光資源は、(財)日本交通公社を事務局として新たに設置した「観光資源評価委員会」が検討し選定しました。 (観光資源選定の基準)

台帳では、我が国の観光資源約8,000件を自然系15種類、人文系10種類に分類し、種類別に「美しさ」、「大きさ」、「珍しさ」、「古さ」、「静けさ」、「地方色」の6つの視点から客観的データと専門家の判断により総合評価を行い、特A級、A級、B級、C級の4つのランクにクラスわけしてあります。

(評価基準)

特A級:わが国を代表する資源でかつ世界にも誇示しうるもの。わが国のイメージ構成の基調となりうるもの

A級:特A級に準じ、その誘致力は全国的で観光重点地域の原動力として重要な役割をもつもの

B級: 地方スケールの誘致力をもち地方のイメージ構成の基調となりうるもの

C級:主として県民および周辺地域住民の観光利用に供するもの

### 3) 奥四万十地域の多様で豊富な観光資源 - 既存の資源の再評価 -

以下のリストは、既存の奥四万十地域の観光資源を自然、食、歴史などに分類したものである。これらの多種多様な観光資源を以下の視点であらためて評価することにより、競争力のある観光商品に磨きあげることが可能である。

- 奥四万十博で評価の高かった観光資源を取り上げ、観光客がどこに価値を見出したかを確認する。
- 地域資源の認知度、興味度を調査し、潜在価値のある資源を顕在化する。

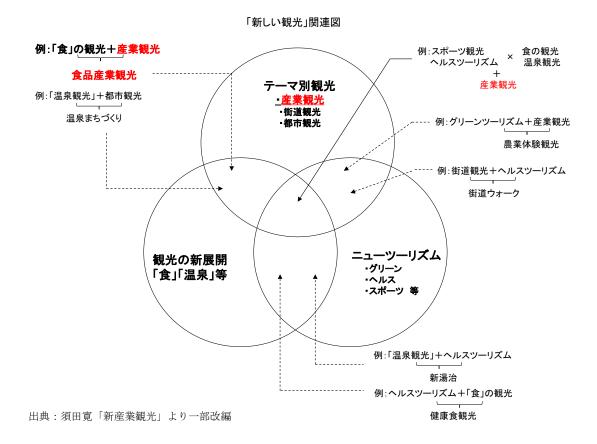
	須崎市	津野町	梼原町	中土佐町	四万十町
【自然・景観】	海岸線 <b>新荘川</b>	四万十源流点四国カルスト	四国カルスト 千枚田(神在居)	島ノ川渓谷だるま朝日	興津海岸(海水浴も) 下津井めがね橋
	樽の滝	長沢の滝	隈研吾氏建築物(雲の上ホテル・マ ルシェユスハラ・総合庁舎)	ふれあい公園(ゴルフ場)	予土線ホビートレイン
	細蛇森 大谷の權(須賀神社) 桟浪半島 安和海岸 鳴無/內湾 野見灣 雪割削桜 洋蘭園	風の里公園 <b>夏空</b> 風車 貝の川棚田 奏の川河川ブール 新荘川 追合滝 カルストの高山植物	後述み 大郎川公園	小矢井賀の浜 ホタル(大野見) 久万秋の湧水 ふるさと海岸	五在所ノ峰 下津井ダム湖畔 こいのぼりの川渡し 森公園(石の風車、つつじ) 龍王の滝
【食べ物】	鍋焼きラーメン ウツボ <b>州新子</b> イチゴ(観光農園) 伊勢海老 アメゴ 養殖(マダイ、ブリ、カンパチ)	津野山牛 <b>つの茶</b> 満天の星大福 アユ、アメゴ	<b>キジぐるめ</b> 鹿取キムチ アユ、アメゴ	かつお 大正町市場 <b>日本酒</b> 久礼井 風工房(イチゴスイーツ) ところてん 久礼天 大野見米 七面鳥 アユ、アメゴ	四万十ポーク 仁井田米 あゆ うなぎ しょうが 文旦 椎茸 ダバダ火振り 四万十ロール
【歴史文化・ 伝説継承】	レトロな街並み	吉村虎太郎邸	脱藩の道	久礼八幡宮(厄ぬけ石) 重要文化的景観(街並み)(漁師	帽多神楽
	まちかどギャラリー 日曜市、木曜市 芸智半平太像 鳴無神社 30歳かされた伝説 猫神社 30歳神社 花取り踊り しなねまつり・チリッツボ(鳴無神社) お馬神社(かんざし)	吉村虎太郎像 郷土歴史館 津野山古式神楽 酒蔵ホール 高歌ホール 高花取り願り 堂の口期け 世の口期け 胆万十街道ひな祭り	津野山神東 韮ヶ峠 米堂 維新の群像 ゆすはら座 千百年物語り資料館 三嶋県神社 流津見神社(六志士の墓) 四万十街道いな祭り	至安人にお京教に関連が「無い即 町立美術館 大野見四万十民俗館 双名島(鬼が運んだ伝説) 四万十街道ひな祭り 西岡酒造ギャラリー 青柳裕介(土佐の一本釣り)像	郷土資料館 ホビー館・かつば館 旧竹内家 旧門脳家住宅 旧都築邸(古民家カフェ半平) 薬師寺、岩本寺
【体験(自然)】	シーカヤック体験 海釣り	天狗高原セラピーロード 源流点への道ハイキング 稲葉洞冒険ガイドツアー アユ釣り	久保谷セラピーロード	<ul><li>矢井賀釣りイカダ</li><li>添蚯蚓(週路道)</li><li>釣り</li><li>シーカヤック</li><li>サーフィン</li><li>海水浴</li></ul>	川舟くだり ウォーキング(下津井ダム湖畔、王 在所ノ峰) 川遊び(ふるさと交流センター)
【体験(文化・ 生活)】	土佐刃物づくり体験 かつおたたき 木工体験	田舎こんにゃく作り体験 そばうち体験 よしうの散策ガイドツアー	紙漉き体験 キムチでり体験 お菓子作り体験	重要文化的景観街歩き 鰹のタタキづくり体験 ブルーベリー狩り	豆腐、こんにゃく作り体験 十川泉貨紙紙漉き体験 下津井遊覧船
	虎斑竹(竹細工)	森の巣箱(農村交流施設) 陶芸体験		上ノ加江漁業体験	ピザ焼き体験 新聞ばっぐづくり体験 ジオラマ作り体験

出典:各市町の資料に基づいて作成

### 4) 産業観光資源 × 地域の観光資源

産業観光は、産業観光単体では、必ずしも強い集客力を持たないものも多い。他の観光 資源(商品)と組み合わせることにより、新たな付加価値を有した差別化された観光商品 の造成が期待できる。

これらを他の観光資源と組み合わせて魅力を高めたり、地域への滞在時間を延ばす取り組みが行われている。



地域の豊富な資源を組み合わせて、奥四万十広域の差別化商品を造成する!



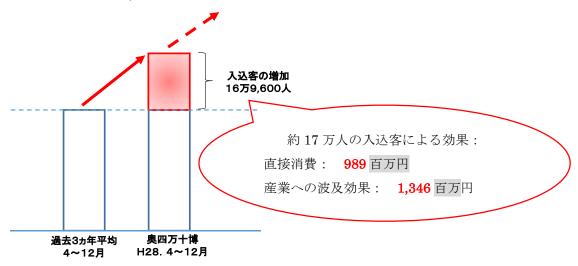
### 6. 奥四万十地域における広域観光推進

- 奥四万十博効果を Up し、地域の産業振興を! -

### 6.1 広域組織体による広域観光推進

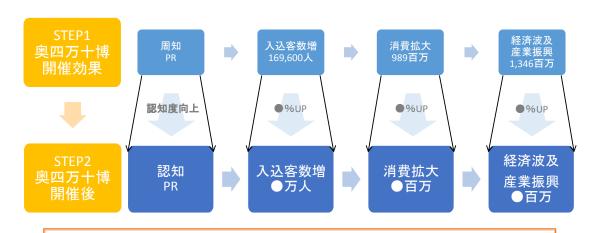
### 1) 奥四万十博の効果 - 交流人口拡大! -

5市町の連携によって、メディア等を利用した**周知PR**、新たな体験プログラムづくり、各市町での積極的なイベント実施などによって、奥四万十博による地域への入込客数は過去 3 ヵ年平均に対して約 17 万人増え、その結果、地域に 989 百万円の直接消費が生まれ、地域の産業に 1,346 百万円の波及効果があった。



### 2) 奥四万十の周知から認知 (ブランド化) へ、そして更なる地域の産業振興へ

奥四万十博によって、周知された「奥四万十」のブランドを浸透させ、認知度をUpすることによって、更なる観光推進による産業振興を展開する。



目標設定 〇〇年後

入込客数:○○%Up、直接消費:○○%Up、経済波及:○○%Up

### 3) マーケティングとマネージメント機能を有した組織(体制)による事業運営

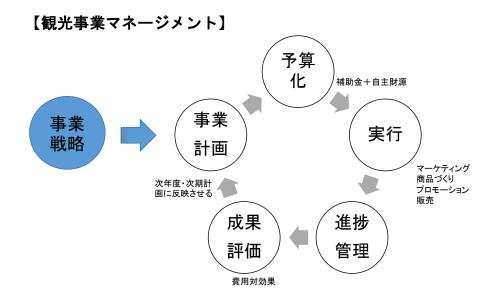
奥四万十博は、周知PRによって交流人口の拡大をすることはできた。 今後、認知活動、交流人口を拡大し消費を拡大していくには、マーケティングに基づいた戦略(市場調査、商品造成、PR、販売など)、すなわち売れる観光商品づくりが必要であり、さらにその仕組みを、マネージメントしていくことが必要になる。

### 【マーケティング機能】

奥四万十地域での新たな商品造成をするには、マーケティング手法の導入が必要となる。 各行政に売れる商品づくりの手順を伝えることが重要!



### 【マネージメント機能】



### 4) なぜ? 広域観光推進組織体が必要か!

- ① 奥四万十地域が一つのブランド観光地「奥四万十」として観光客に認知されるために、
- ② 奥四万十地域全体で産業、自然、歴史・文化、食、温泉、農家民泊など共通の地域資源を核として新たなブランド観光地域として確立するために、
- ③ 他地域の広域組織体との連携によって、奥四万十地域への誘客促進をするために、

広域連携組織体の設立が必要である。

- ① 「奥四万十」のブランド認知について
  - ・奥四万十博の開催によって、奥四万十として一つのブランド観光地として観光客 に周知されたが、認知度を高める必要がある。
  - ・認知されているか否かは、新たに認知度と興味のGAP調査を実施することにより、観光資源ブランドとしての「奥四万十」の磨き上げが必要である。

### ② 共通の地域観光資源について

前述したように、<u>奥四万十地域は、産業観光となり得る豊富(多様)な産業観光</u> <u>資源を有している地域である。この産業観光資源を他の観光資源などと組み合わせて</u>、新たな価値を創造する奥四万十地域共通の観光資源を核とした「差別化された観光地域圏」を確立するために、広域連携組織体の設立意義がある。

### ③ 他の広域との連携について

通過型という課題を抱えている地域として、観光客に滞在してもらうために、1 泊から2泊の周遊ルートのモデルコースを形成することが課題解決の一施策である。 南予、幡多などの近隣の広域組織体との連携を試みてはどうか。

### **6.2 広域組織体のやるべきこと** - 先ずは、マーケティング -

ーマーケティング手法の導入による 売れる商品づくりの手順 ー



### 1) 観光資源の客観的・科学的な調査 - ニーズ調査 -

奥四万十地域の観光資源の中で、 何が、どんな理由で魅力があるのか・ないのかなど、以下の科学的な調査を実施し、地域の観光資源の客観的な評価を実施し、広域観光商品づくりの基盤データを構築する。

現在の全ての観光資源(産業観光、観光台帳記載のA級・特A資源、その他資源)を対象にして、顧客の認知度、興味度、顧客の志向・嗜好を調査する。

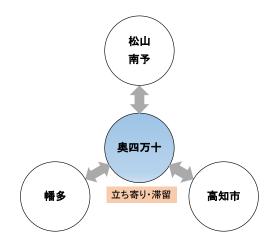
顧客のニーズ(志向・嗜好)に合った観光資源の磨き上げをする。磨き上げをすることがマーケティングになる。

### 2) 観光商品の造成

優先順位(=緊急度 × 重要度)に従って、地域の観光資源を磨く作業をする。 以下は、奥四万十地域の地理・産業特性、行政へのインタビューからの現状把握(課題)、 奥四万十博の効果などから、奥四万十地域の観光推進で取り組む商品づくりの提案で ある。

### ① 立寄り型観光商品の造成による地域滞留者増加を企てる(短期施策)

取りあえず、近隣からの誘客の仕組みづくりをして、入込客数を増やすことを優先させる。



### ② 産業観光資源の磨き上げと既存の地域資源の融合(中期施策)

奥四万十地域内の産業観光資源の対象を整理・調査し、産業観光資源として磨き上げる。磨き上げには、マーケティング手法を用いて、顧客(訪問客)のニーズに合った産業観光資源の磨き上げをする。

同時に、奥四万十博で観光客の興味の高かった地域の観光資源や潜在価値のある資源との組み合わせによる差別化商品を造成する。

産業観光資源と他の観光資源(食文化など)を掛け合わせた視察・研修ツアーによって、平日でも視察・研修者が滞在する仕組みづくりを企てる。

### ▶ 収益構造の確立

視察・研修で終わらないように、宿泊へ繋がるコースの開発、地産地消メニュー、お土産販売など、地域内の情報発信と経済波及効果を目指した仕組みづくりが重要である。

- ③ 目的・滞留・滞在型観光商品 -着地型周遊ルートの開発 (中期施策) **周遊ルートづくり**:
  - ・周りの広域(地域)と連携をすることによって、1 泊から 2 泊の周遊ルートの開発 を企てる。

### 例:【奥四万十・南予・幡多 周遊ルート】

四国の最西端に位置し、南予、幡多、奥四万十の3地域を合わせて、テーマ性、ストーリー性を持った周遊ルートづくりを企てる。

この3地域は、幡多博、南予博、奥四万十博を経験し、地域連携による観光推進の 実績・ノウハウがあることや、スポーツイベントの実施で、既に連携の基盤ができ ている。共通のテーマやストーリーを作って地域間連携による広域観光推進を展開 してみてはどうか。

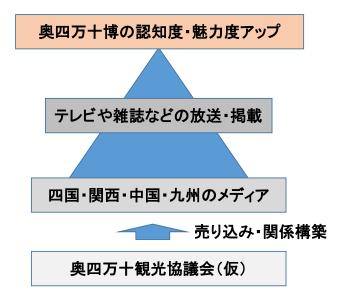


### 3) 伝える=情報発信力

奥四万十博後、奥四万十博で周知された「奥四万十エリア」の認知度向上に「メディアを利用した情報発信」を大いに活用し、域内への更なる交流人口拡大で地域の経済波及効果を拡大すべきである。



そのためには、広域組織体において、マーケティング手法に基づいた効果的なメディアの利用、プロモーションを展開することが、広域組織体の最優先取り組み事項として重要である。



奥四万十博において、メディアを利用した情報発信が域外、特に県外からの誘客に効果があったことは疑う余地はない。

以下は、奥四万十博で実施したメディアへの情報発信の中で、域外からの誘客をする 場合に効果的であったメディアの利用法である。

旅行予約サイト	旅行予約サイトとの提携によって、予約サイト (楽天) のホームペ
	ージに奥四万十の特設ページを設定した。
メディア・ミックス	「新聞広告から WEB サイトへ誘導」、 「新聞広告で、テレビ・
	新聞・WEBのキャンペーン告知」など、一つのメディアである新
	聞と他のメディアをからめて効果を引き上げる「メディア・ミック
	ス」の方法を使った。

### 動画広告

WEB 動画広告はテレビ CM よりも安く、国内の自治体、旅行サイトなどで採用するケースが増え、テレビ CM に代わって動画 (Youtube) による情報発信が普及する。奥四万十博では、奥四万十博の HP「奥四万十情報ちゃんねる」および「楽天の旅行予約サイト」で奥四万十博の PV「がんばる乙女」を発信して、奥四万十の認知度向上に効果を発揮した。

▶ 奥四万十博後、奥四万十博で周知された「奥四万十エリア」の認知度向上に「メディアを利用した情報発信」を大いに活用し、域内への更なる誘客拡大で地域の経済波及効果を拡大すべきである。

### 6.3 広域観光推進組織の事業運営

運営上のポイント:

- 企業感覚の事業運営を目指す -
- 儲かる事業運営を目指す -
- 自由度が高く、持続的で安定的な事業運営を目指す -

そのために、必要なことを実施する。

### 1) 資金調達

県、市町村からの運営補助金と負担金が収入源の殆どである。 広域組織体立上げ当初 は、補助金による運営が必要であるが、徐々に旅行事業などの自主財源での運営維持に移 行していくことが理想的である。 先進事例の資金調達については、県下各広域と「そら の郷」の収支を参照。

### 2) 財源確保

経営の視点に基づく自由度の高い組織運営及び事業の持続的かつ安定的な実施を確保 していく上で、できるだけ幅広く自主財源を確保していくことが重要である。具体的に必 要な取り組みとして、一般的には、

- ① 旅行業(第二種・第三種)による手数料収入、道の駅やインターネットにおける土産品の物販事業、宿泊施設・飲食施設・温泉施設・文化施設などの施設運営事業などの収益事業を行うこと。
- ② 受益者負担の原則により、観光客志向の情報発信事業などのプロモーションに参加する民間事業者・団体から参加費・広告費を徴収する。
- ③ 地域内外の民間企業・財団をスポンサーとして確保し、企業の CSR 事業と観光地 域づくり事業をコラボレーションで実施すること。
- ④ 国や都道府県の各種支援制度の活用

安定した事業運営を維持するには、旅行業による手数料収入、物販事業、施設運営事業等の収益事業を行うことが必要である。

広域組織体の設立当初は、県からの補助金や各市町の負担金で事業予算が賄われるが、収益事業の対象を明確にし、事業計画に基づいた事業運営により段階的に収益事業による広域組織体の事業運営が望まれる。

<u>ヒアリングした高知県下の広域組織体については、現段階では、旅行商品の造成、情報発信、旅行代理店への商品のセールスが事業の中心であり、事業収益については、教育体験プログラムなどによる旅行商品の手数料収入が事業収益になっている。</u>

### 【参考】 「そらの郷」の事業運営

教育旅行や滞在型旅行商品からの事業収益で、自主財源による運営を目指している先進事例として、「そらの郷」にヒアリングを実施し、事業体制、商品づくりについて整理をした。「7.1 広域観光推進 先進事例 そらの郷 」を参考。

### 【参考】

広域観光推進組織体からヒアリングした旅行事業で収益をあげるためのポイントを、 参考として以下に列挙する。

旅行業で収益を上げるためには!

- 差別化商品の開発、PR と販売 -
- 大手旅行代理店に営業をするセールスツールの開発 -
- 企画と営業力が必要 -
- 他の広域組織など、ジャンルを超えたネットワーク構築力 -
- 組織体のリーダーが「一人商社マン」を演じられるような行動力 -

### 3)組織

### 【組織体のリーダー】

組織体へのヒアリングを通じて、リーダー(中核メンバー)に求められる資質・能力として考えられるものは、

- ① 情熱とモチベーション、率先垂範能力
- ② 観光市場の変化、地域内の観光動向、組織体の事業の進捗、国などによる支援 制度等の**情報を収集・整理・分析**する能力。
- ③ 観光客の事を知り尽くして売れる商品・サービスを提供するマーケティング 戦略、職員の能力を高め事業の効果性・効率性を高める組織マネージメント能力。
- ④ 市町村、観光関係事業者・団体との協議・調整、農林水産・商工業者を含む地域住民の理解と協力の確保・意識啓発、旅行会社との対応ができるコミュニケーション・利害調整能力
- ⑤ 収益事業を実施する組織体では、**収益事業の運営**に関する経験と能力
- ⑥ 周遊ルートの開発など、他の広域や民間事業者とのネットワーク構築力

上記の能力を実現するには、ビジョン・考え方を共有する地域内の人材確保、外部人材の登用が必要。 広域組織体や地域の現況・課題を踏まえ、求める人材が上述の能力のいずれなのかを明確にして公募・採用する必要がある。

### 6.4 広域組織と地域組織の役割分担 - 地域と広域の連携 -

重要な機能である域外(特に県外、国外)への「観光マーケティング機能の強化」実現に対して、狭いエリアに隣接する5市町が個々バラバラにマーケティング調査を実施するのは非効率であり、人材不足から、単独の市町では十分なマーケティングができない自治体もあることが現実である。

今後、奥四万十地域での広域観光を推進していくには、観光マーケティング機能と観光 事業のマネージメント機能を有する域外(特に県外、国外)からの「誘客を促進する広域 組織」と、地域(各市町)での産業振興、イベント実施、観光客へのおもてなしなどの 「まちづくりを促進する地域組織」との連携が重要である。

# 大塚組織 奥四万十地域の観光促進へ 広域組織 地域組織 まちづくりを促進する機能

大社 充著 「地域プラットフォームによる観光まちづくり」、P230 一部修正

以下は、高知県下の広域観光推進協議会と「そらの郷」のインタビューから、奥四万十地域の広域観光推進組織と、奥四万十地域の各市町および観光協会、高知県観光コンベンション協会(KVCA)との連携を踏まえた「奥四万十広域観光推進組織」の役割(案)をまとめたものである。 本表は、高知県東部観光協議会から受領した資料を基に作成をした。

	※ 地域=有用門、エッケー英四カームを				
業務内容	市町村・観光協会	奥四万十広域観光組織	県・コンベンション協会		
	まちづくり促進機能	広域誘客促進機能	県への誘客機能		
	・各施設や個別イベント	・エリア(※)への誘客	・高知県への誘客促進		
	運営、地域(※)の観	促進	・県、国外に向けた高知県		
	光資源の磨き上げ、造	・エリア内の観光資源の	のイメージアップ PR		
事業統括	成(体験、グルメな	磨き上げと造成			
	ど)	・エリア内の観光基礎デ			
	・観光客へのおもてなし	ータ収集と分析、分析			
		結果の行政・民間事業			
1					

※ 地域=各市町、エリア=奥四万十広域

者へのフィードバック

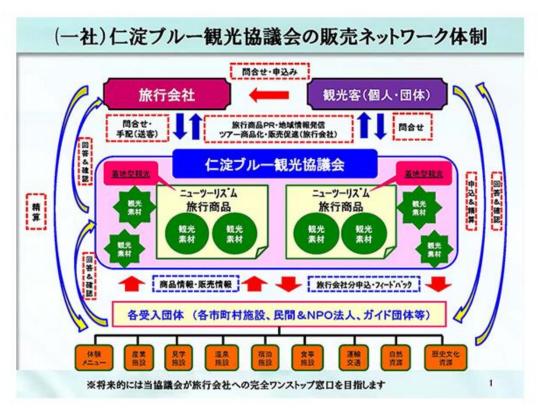
		即ち、エリア内での情	
		報共有	
		<ul><li>情報分析に基づいた誘</li></ul>	
		客戦略の策定	
	・主に県内へ発信	・県内、近隣県、関西・	・県外、国外に発信
		中国・九州に発信	
	・各施設や体験プログラ	・エリア HP 作成	・高知県への誘客に向けた
	ムなどのパンフレット	・エリアのイベントプロ	広報などの発信
	作成	グラムを集約して HP	
情報発信		で一括発信	
		<ul><li>・エリアへの誘客に向け</li></ul>	
		たパンフレット作成	
		・先進的な方法での情報	
		発信:旅行予約サイ	
		ト、メディア・ミック	
		ス、動画広告など	
	・地域の観光資源の発掘	・エリアの観光商品の発	・観光商品磨き上げ支援
	と造成	掘(産業観光など)	
	・磨き上げの実施	・磨き上げへの地域への	
		アドバイス	
	<ul><li>モニターツアーの受入</li></ul>	<ul><li>モニターツアー受入調</li></ul>	<ul><li>旅行会社モニターツアー</li></ul>
旅行取扱		整整	の企画実施
	・受け入れ体制の整備	・エリアの体験・滞在型	<ul><li>教育旅行のセールス</li></ul>
		旅行の窓口およびセー	・高知県観光説明会の開催
		ルス	
		  ・旅行業2種取得が必要	
	- 観光創生塾への参加	・エリア内での研修企画	<ul><li>・観光創生塾の実施</li></ul>
	<ul><li>・各施設、体験プログラ</li></ul>	と実施	
	ムでの研修実施		
	・観光アドバイザー受入	<ul><li>・先進事例の広域組織の</li></ul>	・観光アドバイザー、地域
人材育成		リーダーによる研修	プロデューサーの契約・
2 513 13/24		・観光アドバイザー、地	導入
		域プロデューサーの受	
		入調整	
	_	<ul><li>・農林漁家民泊&amp;民泊研</li></ul>	_
	_		_
		修	

	・宿泊、飲食、物販	・旅行商品販売による手	
観光事業	・ガイド等による地域体	数料収入	_
	験		

高知県東部観光協議会から受領した資料を基に作成

### 【参考】広域での観光商品の販売ネットワーク体制

奥四万十広域での観光商品の販売ネットワーク体制を検討する上で、高知県下の広域 観光協議会の実施例として「仁淀ブルー観光協議会」の例を紹介する。 幡多広域、東 部広域もほぼ同様の体制である。



出典:仁淀ブルー観光協議会 HP より

### 6.5 事業戦略・計画の進め方

### 【将来ビジョン】

中長期における奥四万十地域の広域観光地域として目指したい姿・ありたい姿を示す ビジョンと<u>ビジョンを実現するための活動・方法を定める中長期の事業戦略</u>と<u>戦略を具</u> 現化するための事業計画が必要である。

ビジョンを実現するための事業戦略・事業計画は、地域資源の発掘と磨き上げによる観光商品化、プロモーション、人材育成等の観光地域づくりに係る具体的な取組を日常的に 実施していく際の目標となるものである。

### 【地域が共有できる目標設定のためのプロセス】

事業戦略の策定プロセスは、目標設定(KPI)やそれを実行する計画が絵に描いた餅にならいないように、各市町、観光関連事業者、それと各産業関係者を巻込みながら策定することが必要である。 以下は、奥四万十広域での事業戦略と事業計画策定のプロセス案である。

### Step.1 広域組織体の設置:

① 広域組織が中心となって、行政、観光事業者等との連携による実施体制を構築する。

### Step.2 マーケティング調査の実施:

- ① 地域を取巻く内部・外部環境の評価(SWOT、需要機会)
- ② 観光に関する指標データの収集と分析<入込客数、消費額、経済効果、GAP調査、宿泊施設の 活用状況など>
- ③ 奥四万十博の効果評価
- ④ 奥四万十地域の潜在価値を顕在化 奥四万十地域の観光資源になり得る地域資源洗い出し、それらの認知 度と興味度の調査(GAP調査)を実施する。

### Step.3 事業戦略立案:

- ① マーケティング調査による現状把握と課題
- ② 指標データ分析による将来予測 観光振興による直接効果と経済波及効果の予測
- ③ 将来予測を基にした数値目標設定(これが一番重要)
- ④ 数値目標を達成するための重点項目整理(=戦略) 広域で取り組む重点項目を短期(緊急・重要度)、中長期に分けて整 理する。

### Step.4 事業計画立案:

- ① 戦略(=数値目標)を実現する複数の事業立案をする。
- ② 事業毎に推進体制(事業体制)を明確にする。 人(役割・責任)、もの(商品・ツール)、金(収支)、実行可能な計画を 明確にする。「7.1 広域観光推進 先進事例 そらの郷 」の事業部体 制を参考。

### Step.5 PDCA サイクルを機能させる:

- ① 各事業の進捗管理
- ② 定期的な事業検証と次年度事業計画への反映

### 【参考】先進広域組織での中長期の観光戦略・計画の作成状況

- そらの郷:5か年計画(日本の文化に興味のある外国人をメインターゲットとした)
- 仁淀ブルー観光協議会:今後3ヵ年の中期計画を作成中
- 幡多広域観光協議会: H27年に H33年までの中長期計画を策定
- 高知県東部観光協議会: H28.3 に H31 年までの中期計画を策定

### 7. 参考資料

### 7.1 先進事例による広域観光の取組 ー 「そらの郷」 ー

そらの郷の事務局次長へのインタビューをもとに、そらの郷の事業展開を紹介する。

### (一社) そらの郷

### 【設立】平成23年2月

### 【目的】

「にし阿波〜剣山・吉野川観光 圏」として観光庁の認定に際 し、官民の関係者による協議会 を設け、地域の観光ブランド確 立のための事業を主体的に実施 する組織として設立され、着地 型旅行商品の開発、プロモーション、教育旅行等の受け入れ窓 口となっている。平成28年4 月日本版DMO候補法人として 登録された。

「そらの郷」は、2008年に



出典: そらの郷 HP より

### 【主な事業】

体験型教育旅行の受入

都市と農山村の交流を目的に、平成 10 年から修学旅行生による山村体験を実施し、現在は、にし阿波エリア(2 市 2 町)の全域に拡大し、4,000 人の修学旅行生を「農家民泊」で受け入れている。農泊施設数は平成 27 年で 200。

・インバウンド誘致の体験プログラム

平成 27 年の外国宿泊者数は 15,000 人泊で、8 年間で 15 倍にまで増えている。

### 【職員について】

	職員A	職員B	職員C	職員D
肩書:	事務局次長	事務局次長	コーディネーター	
雇用形態:	出向	正社員	正社員	派遣 × 5名
出身:	JR四国	JR四国ツアー徳島	_	_
担当:	教育旅行事業部統括	観光圏事業部統括	教育旅行担当	各事業部旅行業務

出典: そらの郷受領資料より作成

### 【事業収支】 - 将来、自律運営を目指している -

平成 27 年度の事業規模は 86,277 千円、補助金依存率は約 20%。

収入		単位∶円
旅行商品売上収入		56,000,000
市町からの運営負担金	ĺ	12,963,000
観光圏市町単独事業費負担金		4,400,000
県からの委託料		12,713,000
雑収入		201,000
総収入		86,277,000

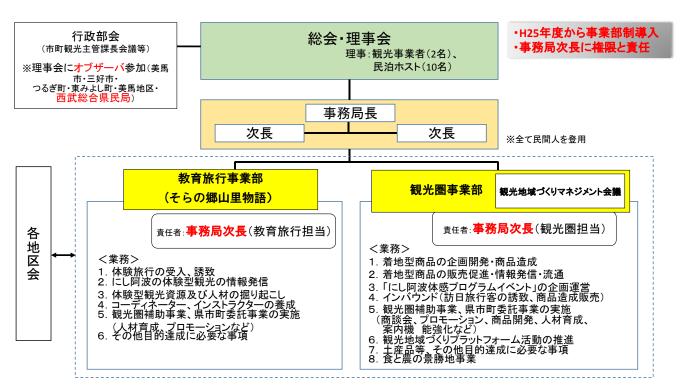
支出	単位:円
旅行商品仕入支出	48,969,000
販売費及び一般管理費	32,908,000
観光圏市町単独事業費	4,400,000
総支出	86,277,000

出典: そらの郷受領資料より作成

※ 旅行商品売上収入については、旅行業収入(手数料・アテンド)として旅行者(ユーザー)から収入を得る仕組みができている。

### 【事業体制】 平成 25 年度以降

- 事業部制による明確な事業運営 -



出典:そらの郷受領資料より作成

### 【「そらの郷」の事業体制強化策】

### ◆主旨・目的:

教育旅行はじめ内外観光客の来訪滞在を更に促進するための組織体制の強化と各事業の一層の推進を平成 25 年 1 月実施し、平成 27 年時点で、外国人観光客 約 15,000 人泊、教育体験旅行受入 4,000 人、受入体制強化としての農泊施設 200 の成果をあげている。

### ◆体制強化策:

① 観光地域づくりマネージャーの参加

民間人から「観光地域づくりマネージャー」となる中核人材が参加(現在 11 名)。職業は、旅行会社、宿泊事業者、レストラン経営、菓子製造販売、専業 農家、体験アクティビティ事業者、食品製造業など。

② 事業部制の導入

「観光地域づくりマネージャー」が効率的に事業推進できるように、「教育旅行」と「一般旅行・物産」の事業部を設置。

担当事務局次長が当該業務の実務執行に関する権限を有し責任を負う。

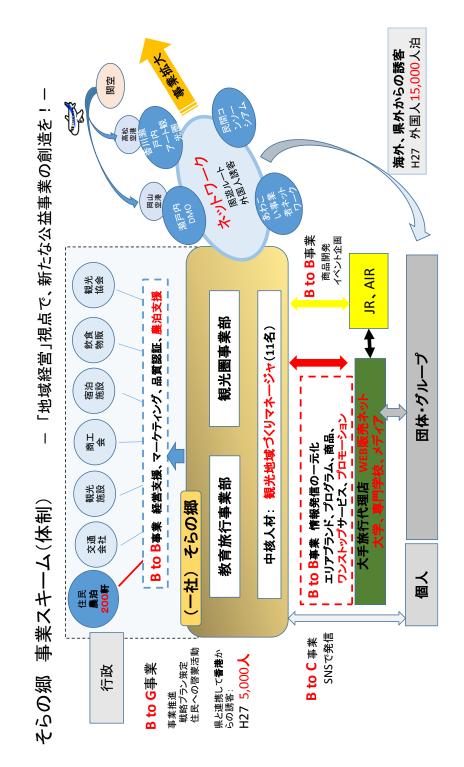
### ◆民間人材の役割:

- ① 担当業務推進:一般旅行事業、教育旅行事業
  - (ア) 大手旅行会社への着地型旅行商品の供給
  - (イ) 大型キャンペーンへの着地型旅行商品の供給
  - (ウ) 内外旅行会社への情報提供と発信
- ② マネージメント:
  - (ア) 市町・県、民間関係者との連携協力
  - (イ) ワンストップ窓口体制づくり推進
  - (ウ) 滞在プログラム造成と販促
- ③ 行政との調整仲介
  - (ア) 最終的には「そらの郷」の自立運営を目指している。現時点では、県と 市町との分担協力は不可欠のため、行政との調整役を担う。
  - (イ) 民間事業者、大手旅行会社等と行政との仲介役を担う。

### ◆事務局次長の権限:

- 各事業部の執行責任者(事務局次長)には民間人を登用し、各事業に関する執行 権限と責任を負う。事務局長の代行。
- ・採用条件として、徳島県出身(地元との連携)で、求める事業への精通者を登用 している。





# 出典:そらの郷受領資料より作成

## 事業取組み概要 からの笛

### 収益モデルの構

- ◆体験型教育旅行などの受入
- ◆交流観光の地域ビジネスとしての経営 教育旅行の市場縮小を見据えて、企業CSR
- 「にし阿波」のみならず、インバウンド需要に対応した広域(四国全域)の手配代行可能な インバセンドの耐入
- ◆欧米豪+香港などのFIT (個人旅行)誘客 インバウンド専門会社への営業
- (にし阿波の2市2町の民間事業者の あわこい事業者のネットワーク化 ◆民間のネットワーク構築 コンンーシアム形成)

### 外国人述べ宿泊数(人) H23:1,974人泊 ♦外国人宿泊数

- H27:15,000人泊 H27 H25年度体制強化 H26 H25 H23 16,000 14,000 12,000 10,000 8,000 6,000 4,000 2,000
- H20:4校 → H26:25校 4,000人 H27:200施設 ◆農泊施設数

◆体験型教育旅行(中高生のみの数値)

◆旅行商品売上収入 H27: 56,000 千円

- 体験型教育旅行の受入や農家民宿の推進
- 研修、ゼミの受入等の開拓を行っている。
- 事業コンソーシアムの構築を目指す
- ・JTB GMT、FREE PLUSなど
- ▶広域連携拡大 ⇒ 交流人口拡大 香川瀬戸内アート観光圏連携事業展開 瀬戸内DMOとの連携、JR四国との連携

◆平成19年度

「そらの郷山里物語協議会」を設立し、 「にし阿波観光圏」が観光圏認定 「にし阿波観光圏協議会」を設立 教育旅行の受け入れ開始 ◆平成20年8月

「(一社)そらの郷」設立 ◆平成23年2月

◆平成25年度: ターニングポイント 教育旅行、内外観光客滞在促進を 目的に体制強化

> 民間人を登用し事業部制を導入 滞在促進地区:大步危,祖谷 ブランド観光地域取組開始 「千年かくれんぼ」がヒット!

日本版地域連携DMO候補法人登錄 ◆平成28年4月26日

◆平成28年11月2日

「食と農の景勝地」認定

### 【民間を活用した事業展開】 - 企業マインドの事業経営 -

旅行業の事業展開に必要な販促ツールの開発、PRの仕組みづくり等の企画提案を 民間企業に募集し、にし阿波観光圏のエリア活性化に参加する仲間を増やすことによって、にし阿波観光圏(2市2町)の観光ポテンシャルを拡大している。 以下は、現在、募集中の企画提案である。

### 事業名:にし阿波滞在プログラム・コンテンツ P R 事業

### 事業の概要:

オンライン旅行予約サイトと連携し、同サイト内において、徳島県西部・にし阿波 (美馬市・ 三好市・つるぎ町・東みよし町) の特集ページを開設し、来年度 の四国デスティネーションキャ ンペーンに向け、期間中の域内のイベントや滞在プログラム、観光施設等のPRを行うことで、 地域の魅力発信と観光客の来 訪・滞在の促進を図る。

発注額:2,000 千円

### 業務名: 体験型教育旅行セールスツール開発事業

### 事業の概要:

体験型教育旅行は、旅行会社からの発注であるため、旅行会社へのセールスは 必要不可欠である。そのため、旅行会社が学校への提案に必要な情報を分析し、 その調査を元にニーズに合った セールスツールを作成する。

発注額: 2.000 千円

### 業務名: にし阿波着地型旅行商品販売促進事業

### 事業の概要:

にし阿波〜剣山・吉野川観光圏域内における、着地型旅行商品の販売を展開するため旅行代金のクレジット決済システムを行えるオンライン旅行予約サイトと連携し、観光圏の特集ページを開設し、イベントや地域の独自資源を生かした滞在プログラム等のPRを行うことで、地域の魅力発信とブランド確立を図る。

発注額:1,700 千円

### 【そらの郷の商品づくり】 - 徹底したマーケティングと事業マネージメント -

以下は、「そらの郷」へのインタビューを基に整理した「そらの郷」のマーケティングと事業マネージメントである。

### Step.1【地域の現状把握と課題】

### 背景•課題

過疎化の進行

65歳以上の高齢者が人口の半数以上を占める「限界集落」が、に し阿波地域全集落の33.3%を占める



地域の自立・維持が困難に

### 観光面では

- ・交通の便が悪い
- •宿泊施設が不足
- 観光商品が不足



地域共通の危機感として認識⇒三位一体の連携構築

出典:そらの郷受領資料より

### Step.2【目指す姿を設定】

### 目的 - 効果

### 交流人口の拡大

- ⇒地域の経済規模の維持
- ⇒観光からの経済波及
- ⇒コミュニティの活性
- ⇒地域文化の継承
- ⇒地域への愛着を育み、人口流出を抑制

「住んでよし、訪れてよし」の観光

交流観光による地域づくり

### Step.3 【調查→分析→商品開発】

### 調查•分析•商品開発

### 来訪者ニーズ

その土地ならではの伝統文化や 自然、生活そのものが魅力

日本の「原風景」や「桃源郷」、 ライフスタイルを見直すフィールド としての、啓発的価値、情緒的価 値に付加価値を見出す



出典:そらの郷資料より



### 地域住民ニーズ

日常生活の延長としての来訪者との交流が活力につながる

「おもてなし」ではない、生活に迎えた来訪者に喜ばれることで、地域の再発見や自分自身の生きがいの発見、喜びとなる



出典: そらの郷資料より



### 体験観光メニューの充実

さらに、地域住民の理解と協力が推進され、好循環が生まれる

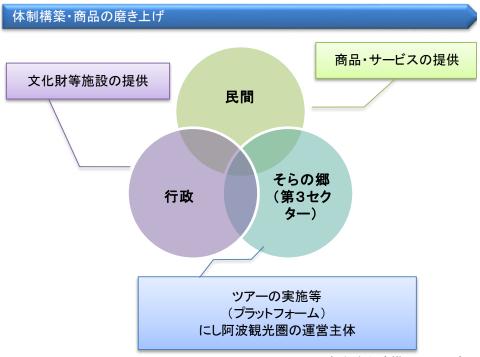


出典:そらの郷資料より

### <観光メニュー例>

早朝、大歩危峡から雲海を眺める「八合霧鑑賞ツアー」は、ホテルから朝食前の1時間で往復するタクシープラン。一年を通して7割以上の確率で雲海を眺めることができる

### Step.4【体制構築と商品の磨き上げ】



にし阿波地域内連携のイメージ

### 「農林漁家民宿」の導入、発展

地域住民との連携構築が進んだことから、「農泊」を導入。一般の農家等を 宿泊施設に利用し、宿泊客が農作業等の体験し、住民と共に食事を作り食 べることで、『ほんものの「食」と伝統的な「生活文化」に触れる』ことができる。 農家等の収入となると共に、宿泊施設不足を解消する

課題であった農泊施設数は

H27:200 施設

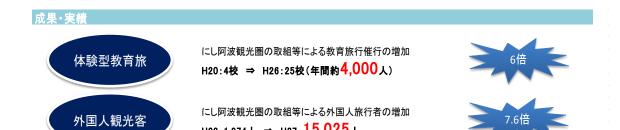
・農林漁家民宿へのステップアップ講習



### 「そらの郷」の取組

- ◆民間企業からの派遣人材による効果的なマネジメント
- ◆事業部制の導入による明確な事業推進体制
- ◆徹底的なマーケティングに基づく商品づくり
- ◆事業拡大を見据えた積極的なネットワーキング

### 【成果・実績】



H23:1,974人 ⇒ H27:15,025人

### 【「そらの郷」のネットワーク拡大】 - ネットワークーキングによる事業拡大 -

他の観光圏、大手旅行代理店、民間事業者等とのネットワーク形成(連携)によって、「にし阿波〜剣山・吉野川観光圏 (2市2町)」の事業規模を拡大していく。



### そらの郷にし阿波剣山・吉野川観光圏

- •日本版DMO候補法人(国交省認定)
- •食と農の景勝地(平成28年度農水省認定)

画像出典: UNDISCOVERED JAPAN HI



大手旅行代理店・観光関連企業(JR、航空会 社等)との連携

•関連商品やツアーの共同開発等

画像出典:JR四国 HP

### 「四国まんなか千年ものがたり」観光列車の共同開発

「そらの郷」が香川県の「香川瀬戸内アート観光圏」と JR 四国との連携で、JR 四国が四国デスティネーションキャンペーンでイチ推しの観光列車を土讃線・多度津一大歩危間に2017年4月1日にデビューさせる。



### **UNDISCOVERED JAPAN**

- •全国13の観光圏との連携 •ゴールデンルートに代わる次世代インバウン
- •コールテンルートに代わる次世代インパウン ドブランドの構築<u>を目指す</u>

画像出典:UNDISCOVERED JAPAN HP

「そらの郷」が仕掛け人となって、**全国13の観光圏との連携**(アライアンス)で、インバウンドの外国人訪問客を拡大!

「Undiscovered Japan まだ知らぬ日本」を共通コンセプトに世界へ向けてプロモーションを展開している。



### 中四国インバウンド周遊ルート上の連携

- •関西国際空港からの誘客(岡山、香川経由)
- •高松空港からの誘客

せとうち DMO、香川瀬戸内アート観光圏との連携で、岡山と高松との周遊ルートを作成し、岡山空港・高松空港から香港などの外国人観光客を誘客している。

H27年度 外国人観光客15,000人達成

### 7.2 奥四万十観光動向調査の詳細7.2.1 アンケート調査データ

### 1)調査概要

調査方法:調査員による対面聞き取り方式 1グループにつき1名(1回答)

調査対象: 奥四万十地域内5市町の住民を除くすべての来訪客

### 調査地点

定点調査: 奥四万十地域内の観光施設・宿泊施設・商業施設計 42 か所

イベント: 奥四万十地域内で開催されたイベント計 15 イベント

### 調査時期

定点調査:平成28年7月~12月(各地点 月2回ずつ)

イベント:イベント実施時

### 取得数

<b>8</b> 80	定	点	イベント	<b>∜</b> ∆=⊥	
月別	施設	宿泊	1ヘント	総計	
7月	365	71	3	439	
8月	428	76	101	605	
9月	216	101	309	626	
10月	449	135	79	663	
11月	470	109	88	667	
12月	378	62		440	
総数	2,306	554	580	3,440	

調查地点·取得数一覧

市町	大分類	中分類	小分類	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
須崎市	定点	施設	道の駅「かわうその里すさき」	29	28		44	47	44	
			須崎市立スポーツセンター(ドラゴンカヌー・シーカヤック体験)	14	2		3			19
			鳴無神社		2					2
			ぐる一め須崎		11		5	2	6	
			須崎まちかどギャラリー	2						2
			橋本食堂	15	21		17	16	11	
		宿泊	そうだ山温泉「和」	10	15		20	22	15	
			須崎プリンスホテル	4	10		16	25	19	
	イベント		ドラゴンカヌー大会		26					26
			新子まつり			31				31
			ご当地キャラ祭り			157				157
			総計	74	115	217	105	112	95	
津野町	定点	施設	道の駅「布施ヶ坂」	46	31	28	35	34	26	
			風車の駅	40	38		36	39	26	
			吉村虎太郎邸			3				,
			<u>山賊茶屋</u>		10		13	16	14	
			四万十源流センターせいらんの里	3	5					13
			自由軒葉山店	21	14	28	36	25	33	
		<u></u>	満天の星	1					<b>.</b>	
		宿泊	高原ふれあいの家天狗荘	10	21	11	32	25	4	
	/ s > 1		農村体験実習館 葉山の郷		2					
	イベント		夜神楽		5 11					
			津野町夏まつり		- !!		21			2
			貝ノ川棚田キャンドルまつり 	101	107	- 0.4		100	100	
4+ FE m-	T	T_+=n.	総計	121	137	84	173	139	103	
梼原町	定点	施設	道の駅「ゆすはら」	39	40	17	34	40	35	20
			大郎川公園							
			だっぱん屋		2			14	4	20
			マルシェゆすはら1F		2			14	4	20
			ライダーズイン梼原 ゆすはら観光交流案内所まろうど館・歴史民俗資料館	6	6		12		2	20
			チムジルバン・レストラン鷹取	16	7		12			28
		宿泊	雲の上のホテル	19	4		3		1	4
		1670	マルシェ・ユスハラ	13	-	10	30	7	3	
	イベント	1	梼原町高原まつり		26		- 00			20
	1 -21		ゆすはらグルメまつり			121				12
			脱藩マラソン				40			40
			総計	80	85	161	119	61	45	
中土佐町	定点	施設	久礼大正町市場	44	58	53	50	51	45	30
+ T [C M]	AC AM	NE DX	ケーキショップ風工房	13	23	40	50		42	209
			西岡酒造店	10	1		- 00	71	72	200
			ローソン久礼店		20					20
			黒潮本陣隣接の黒潮工房	6	33		14	30	1	84
		宿泊	ライダーズイン中土佐	·						Ŭ
			黒潮本陣	22	4	42	18	9	10	10
	イベント		大野見新米フェスタ			1	18	Ī	1	18
			上ノ加江黒潮ふれあい祭り					22		2:
			久礼お宮さん通り門前市					31		3
	•	•	総計	85	139	137	150	184	98	793
四万十町	定点	施設	道の駅「あぐり窪川」	16	25	1	30	30	27	128
	, C,	,,,,,,	道の駅「四万十とおわ」	23	24		31	36	37	
			ふるさと交流センター		1					
			旧都築邸(古民家カフェ半平)	13	11					26
			海洋堂ホビー館	18		25	37	43	24	
			かっぱ館	1	15		2	6	1	24
			オートキャンプ場ウエル花夢				_	Ī	i i	Ī -
		宿泊	松葉川温泉	6	20		16	21	10	7:
	1	I	ウェル花夢	<u>_</u>					i	Ī Ė
				1		_				1 .
	イベント		金太郎夜市	3	3					
	イベント		金太郎夜市  四万十大正あゆ祭り	3	30					3(
	イベント		金太郎夜市 四万十大正あゆ祭り 米こめフェスタ	3				35		

# 2) 調査結果

※特に記載のない場合、数値の単位はサンプル数

#### 居住地

項目	回答数
県外	1,605
県内	1,820
国外	10
不明	5
総計	3,440

				4N 프L	1 005
<u>県外</u>	=1		1 C 6/6 1/1-1	<u>総計</u>	1,605
北海道地方	計	16	近畿地方	計	342
	北海道	16		京都府	36
東北地方	<u>計</u>	9		大阪府	144
	青森県	3		三重県	17
	岩手	0		滋賀県	18
	宮城県	3		兵庫県	107
	秋田	0		奈良県	15
	山形	0		和歌山県	5
	福島県	3	中国地方	計	148
関東地方	計	210		鳥取県	2
	東京都	98		島根県	3
	茨城県	4		岡山県	70
	栃木県	5		広島県	64
	群馬県	3		山口県	9
	埼玉県	19	四国地方	計	756
	千葉県	30		徳島県	72
	神奈川県	51		香川県	166
中部地方	計	81		愛媛県	518
	新潟県	1	九州地方	計	43
	富山県	5		福岡県	19
	石川県	1		佐賀県	3
	福井県	3		長崎県	3
	山梨県	3		大分県	5
	長野県	4		熊本県	4
	岐阜県	6		宮崎県	3
	静岡県	8		鹿児島県	2
	愛知県	50		沖縄県	4

国外	総計	10
国外	計	10
	オーストラリア	1
	チリ	1
	パラグアイ	1
	フランス	1
	マレーシア	1
	香港	1
	台湾	1
	中国	2
	中国(香港)	1

県内	総計	1,820
安芸ブロック	計	48
	室戸市	13
	安芸市	23
	東洋町	1
	奈半利町	3
	田野町	
	安田町	
	北川村	1
	馬路村	
	芸西村	7
物部川ブロック	計	186
	南国市	98
	香南市	54
	香美市	34
高知市ブロック	<u>計</u>	1,104
	高知市	1,104
嶺北ブロック	<u>計</u>	8
	本山町	2
	大豊町	2
	土佐町	4
	大川村	
仁淀川ブロック	計	293
	土佐市	125
	いの町	66
	仁淀川町	17
	佐川町	60
	越知町	18
	日高村	7
幡多ブロック	<u>計</u>	163
	四万十市	97
	宿毛市	19
	土佐清水市	14
	大月町	5
	三原村	2
	黒潮町	26
不明		18

※高幡ブロックはアンケート対象外

### 性別

項目	回答数
女性	1644
男性	1729
不明	67
総計	3440

# 年代別

項目	回答数
10歳未満	5
10代	47
20代	409
30代	660
40代	738
50代	639
60代	602
70代	239
80歳以上	37
不明	64
総計	3440

日帰り・宿泊

項目	回答数
宿泊	1160
日帰り	2279
不明	1
総計	3440

		≠m TE	+44+ +=#:	中空运	kh.											
		奥四万				424	E 24	0.24	724	0.24	10.74	1434	4534	00.74	7.00	6/A=1
_	- > /	0泊	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	9泊	10泊	14泊	15泊	20泊	不明	総計
今	0泊														1	1
回	1泊	188	364												47	599
の	2泊	105	69	95											13	282
旅	3泊	55	21	8	41										5	130
行	4泊	18	7	4		9									1	39
の	5泊	7	4	4		3	12									30
全	6泊	7	2	5				4							1	19
宿	7泊	3	3	3		1			3							13
泊	8泊		1													1
数	9泊			1						1						2
	10泊	3	3		3		1				1					11
	12泊	1	1													2
	13泊	2														2
	14泊	1			1							2				4
	15泊											_	1			1
	20泊													2		2
	35泊	1														1
	不明	3	8		1										9	21
	総計	394	483	120	46	13	13	4	3	1	1	2	1	2	77	1.160

#### 訪問のきっかけ (複数回答)

項目	回答数1	回答数2	回答数3
知人・友人の話	581		
前回のイメージ	325	16	
宣伝(TV・ラジオ・雑誌)	337	47	2
PR(パンフレット・キャンペーン等)	131	42	4
インターネット(携帯電話含む)	152	52	7
旅行業者の紹介・ツアー参加	34	2	1
来たかった・同行者の希望	933	192	31
帰省	178	19	2
ビジネス目的	256	11	1
視察	23	7	1
会社・学校の旅行	12	1	2
その他団体旅行	13	6	
その他	423	125	39
不明	42		
(空白)		2920	3350
総計	3440	3440	3440

#### 訪問目的(複数回答として処理)

主な目的	回答数
ビジネス	395
観光	2881
帰省·知人訪問	238
不明	20
その他	96
総計	3630

#### ビジネス目的内訳

ビジネス目的	回答数
食事	128
休憩(弁当・トイレなど)	79
宿泊	74
軽食(コーヒー・おやつなど)	24
なんとなく・時間つぶし	20
おみやげ購入	16
情報収集・情報検索	15
待ち合わせ	7
その他	29
不明	3
計	395

### 観光目的内訳

観光目的	回答数
自然見物・町歩き	535
食べ物(味覚・酒)	523
祭り・イベント	494
なんとなく(ドライブ等含む)	304
休養・慰安	253
名所旧跡・観光施設などの見学・行楽	161
買い物	151
スポーツ(カヌー・サイクリングなど)	111
登山・アウトドア・キャンプ	60
神仏・霊場巡り	37
農業・林業・漁業などの体験	5
その他	221
不明	26
計	2881

#### 手配方法

項目	回答数
自分で	3072
旅行代理店(宿泊・交通のみ)	42
旅行代理店(添乗員付き旅行プラン)	43
不明	283
総計	3440

#### 同行人数

何人	回答数	何人	回答数	何人	回答数
1人	589	13人	5	30人	6
2人	1518	14人	3	32人	1
3人	552	15人	11	33人	2
4人	394	16人	2	35人	2
5人	133	17人	1	39人	1
6人	76	18人	3	40人	4
7人	27	20人	6	42人	1
8人	17	21人	1	60人	2
9人	15	24人	1	78人	1
10人	22	25人	11	80人	3
11人	14	26人	2	不明	10
12人	3	27人	1	総計	3440

#### 同行相手

だれと	回答数
家族	1662
友人	699
職場·学校	193
その他	139
不明	158
(空白)	589
総計	3440

#### 訪問回数

項目	回答数
はじめて	1287
2回目	379
3回目以上	1765
不明	9
総計	3440

調査対象者・調査地点の訪問回数 調査対象者・奥四万十地域への訪問回数

項目	回答数
はじめて	848
2回目	283
3回目以上	2290
不明	19
総計	3440

観光目的での奥四万十地域訪問回数

項目	回答数
はじめて	845
2回目	287
3回目以上	1765
観光目的ではない	477
不明	66
総計	3440

#### 交通手段

奥四万十地域までの主要な交通手段(複数回答) 奥四万十地域内での主な交通手段(複数回答)

奥四万十までの主な交通手段	回答数
JR新幹線	25
JR在来線	46
私鉄・地下鉄	2
モノレール	0
貸切バス・観光バス	66
高速バス	18
市内バス・路線バス	8
路面電車	0
タクシー・ハイヤー	10
レンタカー	141
自家用車·社用車·公用車	2896
飛行機	91
フェリー	8
バイク	140
その他	29
不明	23
計	3503

奥四万十地域内の主な交通手段	回答数
JR新幹線	0
JR在来線	31
私鉄・地下鉄	0
モノレール	0
貸切バス・観光バス	68
高速バス	0
市内バス・路線バス	7
路面電車	0
タクシー・ハイヤー	13
レンタカー	187
自家用車·社用車·公用車	2893
飛行機	0
フェリー	0
バイク	141
その他	45
不明	51
計	3436

調査地点以外の立ち寄り地点(複数回答)

調査地点以外の立ち寄り地点	調査地前	調査地後	合計
道の駅	924	614	1538
スーパー	73	80	153
コンビニ	374	131	505
商店	50	41	91
喫茶店	21	11	32
レストラン	36	45	81
カフェ	21	22	43
居酒屋・バー	6	3	9
その他飲食店	79	60	139
その他商業施設	241	200	441
四国カルスト	250	196	446
四万十源流点	47	62	109
中上流域の沈下橋	34	53	87
ホビー館・かっぱ館	41	92	133
大正町市場	121	150	271
鳴無神社	3	10	13
横浪三里	3	10	13
興津海岸	0	4	4
千枚田	6	7	13
龍馬脱藩の道	28	30	58
セラピーロード	17	26	43
吉村虎太郎邸	10	3	13
その他観光施設	329	401	730
計	2714	2251	4965

#### 観光地認知度

観光施設	回答数
セラピーロード	945
ホビー館・かっぱ館	2133
横浪三里	1159
吉村虎太郎邸	793
興津海岸	1230
四国カルスト	2838
四万十源流点	1722
千枚田	1042
大正町市場	2260
中上流域の沈下橋(一斗俵、三島)	1486
鳴無神社	687
龍馬脱藩の道	1693

※回答数は知っていると答えたサンプル数

#### 満足度

宿泊について

項目	回答数
大変良い	253
良い	464
普通	214
悪い	14
大変悪い	3
(空白)	2,492
総計	3,440

項目	回答数
大変良い	881
良い	1,562
普通	486
悪い	19
大変悪い	3
(空白)	489
総計	3,440

項目	回答数
大変良い	506
良い	1,819
普通	856
悪い	38
大変悪い	3
(空白)	221
総計	3,440

#### 食事・料理店について 観光施設について 地域内の美化について

項目	回答数
大変良い	593
良い	1,904
普通	872
悪い	23
大変悪い	3
(空白)	45
総計	3,440

項目	回答数
大変良い	371
良い	1,554
普通	1,153
悪い	121
大変悪い	12
(空白)	229
総計	3,440
_	

項目	回答数
大変良い	270
良い	1,360
普通	1,484
悪い	260
大変悪い	17
(空白)	49
総計	3,440

#### 公共トイレの快適性について 案内標識について 奥四万十地域の道の走りやすさについて

項目	回答数
大変良い	256
良い	1,349
普通	1,387
悪い	345
大変悪い	24
(空白)	79
総計	3,440

#### 100 点満点で何点か

<u>回答数</u> 2 0
0
_
2
7
46
92
410
1,063
914
705
10
189
3,440

#### 再訪意欲

項目	回答数
ぜひ訪れたい	1,785
訪れたい	1,418
どちらともいえない	189
あまり訪れたくない	4
もう訪れない	4
不明	40
総計	3,440

# 奥四万十地域 訪問客アンケート調査票

	記入日: 平成 年 月 日 天気: ( )
	調査場所:(
Q1.「奥四万十地域」と言えば…?	٦
00 もれたのわけナルオドラベナム、同中ベキカば柳光庁	目々 海州でもいば団なもできましばとい
Q2. あなたのお住まいはどこですか。国内であれば都道府! また、高知県内にお住まいの場合は市町村名をご記入	
	海外の場合(国名:
高知県内の場合 (市町村名:)	
(市町村名:)	
0.9 もわたの財団 左駆と起しつください 火スレスレコ	~**)+
Q3. あなたの性別、年齢を選んでください。 <u>※それぞれ1</u>	<u> </u>
性別 : 1. 男性 2. 女性	4 20 /5 5 40 /5
年齢: 1.10歳未満 2.10代 3.20代	
6.50代 7.60代 8.70代	9.80
0.4 人口ので計明は口目りですか、 空流ですか	
Q4. 今回のご訪問は日帰りですか、宿泊ですか。	
	コールフェの特別は毎日中マンと ギニコフがとい
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊 また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、 1. 日帰り	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊 また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り  2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り  2. 宿泊	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り  2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内 <u>泊</u> → 奥四万十地域内宿泊施設数 <u>施設</u>
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内 泊 ⇒ 奥四万十地域内宿泊施設数 施設  ) 泊 3. ホテル ( ) 泊
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊  (奥四万十内宿泊施設) 1. 実家や知人・親戚宅( ) 泊 2. 旅館( 4. ペンション・民宿 ( ) 泊 5. 保養所・ 6. キャンプ場 ( ) 泊 7. 別荘・リ 8. (キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊 9. 会員制の宿泊施設 ( ) 泊 10. ユースホ 11. 公共の宿 ( ) 泊 12. その他 ( 《奥四万十内宿泊場所》	どのような施設に何泊するかをご記入ください。  内
宿泊の場合何泊か、そのうち奥四万十地域内では何泊また、奥四万十地域内に宿泊する場合、どの市町の、  1. 日帰り 2. 宿泊	どのような施設に何泊するかをご記入ください。    内

Q5.	今回のご訪問のきっかけを教えてください。(複数回答可)
1.	知人・友人の話 2. 前回のイメージ 3. 宣伝 (TV・ラジオ・雑誌等)
4.	PR (パンフレット・キャンペーン等) 5. インターネット (携帯電話含む)
6.	旅行業者の紹介・ツアー参加 7. 来たかった・同行者の希望
8.	帰省 9. ビジネス目的
10.	視察(場所: ) 11. 会社・学校の旅行
12.	その他団体旅行(老人会,地域の集まり等) 13. その他( )
Q6.	今回のご旅行の主要な目的は何ですか。
1.	ビジネス
	「1 ビジネス」を選んだ場合、ここにはどのような目的で立ち寄ったか、一つ教えてください。 1. 休憩(弁当・トイレなど) 2. 食事 3. 軽食(コーヒー・おやつなど) 4. 待ち合わせ 5. おみやげ購入 6. なんとなく・時間つぶし
	7. 電話 8. 情報収集・情報検索 9. 宿泊 10. その他( )
2.	観光
	「2 観光」を選んだ場合、今回のご旅行の主な目的を1つ教えてください。
	1. 自然見物・町歩き 2. 休養・慰安 3. 祭り・イベント
	4. 登山・アウトドア・キャンプ 5. スポーツ (カヌー・サイクリングなど)
	6. 食べ物(味覚・酒) 7. 神仏・霊場巡り 8. 買い物
	9. 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽 10. なんとなく (ドライブ等含む)
	11. 農業・林業・漁業などの体験 12. その他 ( )
3	i」 帰省・知人訪問
	その他( )
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
Q7.	今回のご旅行の企画・手配について教えてください。
1.	自分またはグループ内で旅行プランを立てて、宿泊・交通機関なども自分またはグループ内で手配した
2.	旅行プランを決めて、宿泊や交通については旅行代理店のフリープランを使っている
3.	旅行代理店でコースが決められている添乗員付きの旅行プランを使っている
Q8.	あなたも含めて、何人での、どなたと一緒の旅行ですか。※子供や乳児も含む
(	)人
	└── 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体 4. その他
Q9.	あなたご自身の、今いる場所のご訪問は何回目ですか。
1.	はじめて 2.2回目 3.3回目以上
Q10.	ご一緒のみなさん全員の、今いる場所のご訪問が何回目かご存知ですか。
1.	知らない $2$ . 知っている $\rightarrow$ 1回目の人数 ( )人 , 2回目の人数 ( )人
	3回目の人数 ( )人 , 4回目以上の人数 ( )人

Q11. あなたご自身の、奥四万十地域へのご訪問は何回目ですか。また、観光目的でのご訪問は何回目ですか。

奥四万十地域への	の訪問回数				
1. はじめて	2. 2回目	3. 3回目以上			
観光目的での奥国	観光目的での奥四万十地域への訪問回数				
1. はじめて	2. 2回目	3. 3回目以上	4. 観光目的ではない		

Q12. ご一緒のみなさん全員の、奥四万十地域へのご訪問が何回目かご存知ですか。 また、観光目的での奥四万十へのご訪問が何回目かご存知ですか。

奥四万十地域への訪問回数						
1. 知らない	2. 知っている →	1回目の人数(	)人,	2回目の人数(	)人	
		3回目の人数(	)人,	4回目の人数(	)人	
観光目的での奥口	四万十地域への訪問回数	ά				
1. 知らない	2. 知っている →	1回目の人数(	)人,	2回目の人数(	)人	
		3回目の人数(	)人 ,	4回目の人数(	)人	
		観光目的ではない(	( )人			

Q13. 今回の旅行で使う、およその費用 (これから使う予定も含めて) を教えてください。 1人あたりの費用を、下欄の項目別にご記入ください。

※交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、奥四万十地域内分・地域外分を分けて記入

※今回の旅行がパック旅行である場合、費用が奥四万十地域のみか、地域外を含むかを選択

※表内の回答がグループ合計の場合はこちらにチェックをしてください → □

	使用 (予定) 額	使用 (予定) 額	使用 (予定) 額
	(奥四万十地域内)	(奥四万十地域以外の県内)	(県外)
① 交通費	円	円	円
② 宿泊費	円	円	円
③ 土産代 (総額)	円	円	円
1. 農作物	円	円	円
2. 水産物	円	円	円
3. お菓子類	円	円	円
4. お菓子類以外の加工食品	円	円	円
5. 衣料品	円	円	円
6. 雑貨	円	円	円
7. その他( )	円	円	円
④ 飲食費	円	円	円
⑤ 入場料	円	円	円
⑥ その他	円	円	円
⑦ パック料金 (地域のみ・地域外含む)	円	Н	円

<u>↑○をつけてください。</u>

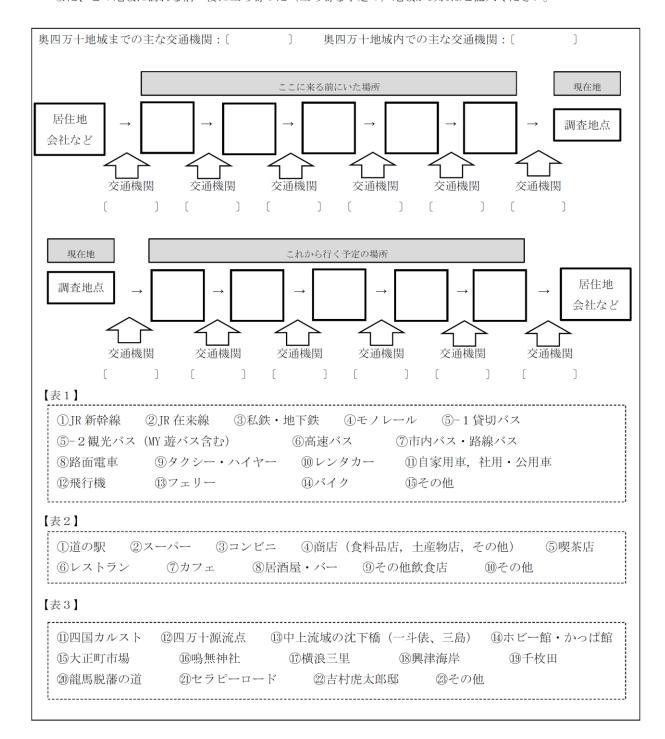
Q14. 今回のご訪問で訪れた場所と移動に用いた交通機関をご記入ください。

また、これから行かれる場所についてもご予定をご記入ください。

※交通機関は【表1】より、商業施設は【表2】より、観光地は【表3】より番号をお選びください。

(その他の場合、可能であれば枠内の空欄に観光地の名称をご記入ください。)

また、この地域に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)地域があればご記入ください。



①四国カルスト	②四万十源流点	③中上流域の	)沈下橋(一斗俵、	三島) ④ホビー負	館・かっぱ館
⑤大正町市場	⑥鳴無神社	⑦横浪三里	⑧興津海岸	⑨千枚田 ⑩	龍馬脱藩の迫
⑪セラピーロード	⑩吉村虎太郎邸				-
L					g <b>-</b>
	の観光資源について、				1 / 4 5 4 1 1 1
	れた観光地の番号を表 、可能であれば枠内の				へください。
C 47 1E 47 - 77 1	· THE CHARLETTE	ノ 土 (南(こ 成)しょと。	7年初をこ記がくた	<u> </u>	
観光地番号	良かっ	った点		改善すべき点	
		~			-0.11
	②四万十源流点				
	⑥鳴無神社 (②吉村虎太郎)			9十枚田 ⑩	龍馬脱藩の道
DE / L - L - F	四百利尼太郎!	W 10-60/1	11,		
7. ご訪問中の満	足度についてお聞き	します。			
つ宿泊について					
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い	
理由【					1
A 本 - 州畑は -					
<ul><li>○食事・料理店に</li><li>1. 大変良い</li></ul>	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い	
理由【	2. RV	9. 目地	4. 20	3. 八友志V·	1
ZIH I					4
)観光施設につい	7				
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い	
理由【					
					1
					1
					1
<ul><li>○地域内の美化に</li><li>1.大変良い</li><li>理由【</li></ul>	ついて 2. 良い	3. 普通	4. 悪い		1

Q15. あなたは以下の観光地をご存じですか。知っているものの番号を〔〕内にご記入ください。

○公共トイレの快適	性について				
1. 大変良い 理由【	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い	1
○案内標識について					
1. 大変良い 理由【	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い	1
  ○奥四万十地域の道	は走行しやすいで	すか。			
1. 大変良い 理由【	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い	1
Q18. 今回のご訪問の	満足度は100点流	満点で何点をお付	けになりますか。		
	<u>点</u>				
Q19. 奥四万十地域に	もう一度来たいで	すか。			
<ol> <li>ぜひ訪れたい</li> <li>あまり訪れたく</li> <li>理由:【</li> </ol>			ちらともいえない		1
Q20. ご意見・ご感想 (他地域と比べてどう		ったことは何か、	その他いろいろお	3聞かせください。)	

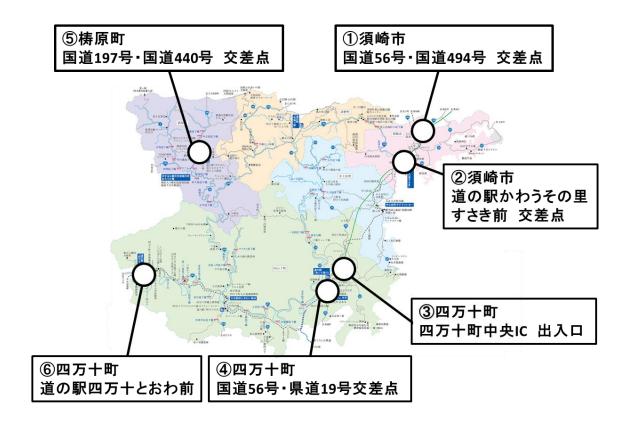
アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

### 7.2.2 交通量調査データ

#### 1)調査概要

#### 調査地点

調査地点番号	市町	名称
1	須崎市	国道56号·県道494号 交差点
2	須崎市	道の駅かわうその里すさき前 交差点
3	四万十町	四万十町中央IC 出入口
4	四万十町	国道56号·県道19号 交差点
5	梼原町	国道197号・国道440号 交差点
6	四万十町	道の駅四万十とおわ前



調査地点①須崎市 国道 56 号・県道 494 号交差点



調査地点②須崎市 道の駅かわうその里すさき前交差点



調查地点③四万十町 四万十町中央 IC 出入口



調査地点④四万十町 国道 56 号・県道 19 号交差点



調査地点⑤梼原町 国道 197 号・国道 440 号交差点



調査地点⑥四万十町 道の駅四万十とおわ前



調査時間:午前9時から午後5時の8時間

#### 調査日程

		回数		
7月	17日(日)※	24日(日)	27日(水)	
8月	25日(木)	28日(日)		
9月	11日(日)	18日(日)	21日(水)	計15回
10月	2日(日)	9日(日)	14日(金)	計12円
11月	6日(日)	22日(火)		
12月	7日(水)	11日(日)		

※梼原町国道 197号・国道 440号交差点は8月14日(日)に実施

識別対象:時間帯・方向・車籍地・車種・「わ」ナンバー

調査手法:車籍地が高知ナンバーの場合 カウンターによる人手調査

: その他のナンバーの場合 IC レコーダー吹き込みによる人手調査

#### 留意事項

・調査結果における「三連休の中日」は7月17日(日)・9月18日(日)・10月9日(日)は示す。ただし、梼原町国道197号・国道440号交差点は8月14日(日)・9月18日(日)・10月9日(日)を三連休の中日とした。

・IC レコーダーデータは、調査終了後にデータ打ち込み作業を行ったが、一部音声に乱れがある等の要因ですべての情報が判明しないデータがあった。集計種別により利用可能なデータに差異があるため、一部のデータにおいて県外ナンバーの合計台数が異なる場合がある。

# 2) 調査結果

#### 総交通量

①須崎市 国道 56 号・県道 494 号交差点

				総数					
				県内	県外	県内	内外計		
月	日	曜日	天気				県外比率		
7	17	日	晴	7,977	702	8,679	8.1%		
7	24	日	雨	7,781	407	8,188	5.0%		
7	27	水	晴	8,046	390	8,436	4.6%		
8	25	木	晴	8,394	399	8,793	4.5%		
8	28	日	曇	7,991	405	8,396	4.8%		
9	11	П	晴	9,308	536	9,844	5.4%		
9	18	日	丽	7,820	576	8,396	6.9%		
9	21	水	鷗	8,474	430	8,904	4.8%		
10	2	日	晴	8,136	401	8,537	4.7%		
10	9	日	鷗	8,238	739	8,977	8.2%		
10	14	金	曇	8,518	490	9,008	5.4%		
11	6	日	晴	8,398	538	8,936	6.0%		
11	22	火	晴	8,193	360	8,553	4.2%		
12	7	水	晴	8,306	408	8,714	4.7%		
12	11	П	晴	8,268	411	8,679	4.7%		
平均 :	全調査日	3		8,256.5	479.5	8,736.0	5.5%		
平均 3	平日のみ	<u></u>		8,321.8	412.8	8,734.7	4.7%		
平均	日曜日の	りみ		8,213.0	523.9	8,736.9	6.0%		
平均:	三連休の	の中日の	つみ	8,011.7	672.3	8,684.0	7.7%		
増減率	(日曜日	1/平日	)	98.7%	126.9%	100.0%			
増減率	(三連位	<b> </b> 中日/	平日)	96.3%	162.9%	99.4%			

②須崎市 道の駅かわうその里すさき前交差点

					彩	验数	
				県内	県外	県内	内外計
月	日	曜日	天気				県外比率
7	17	П	晴	6,533	961	7,494	12.8%
7	24	ш	雨	6,173	593	6,766	8.8%
7	27	水	晴	5,901	464	6,365	7.3%
8	25	木	晴	6,148	536	6,684	8.0%
8	28	日	曇	6,265	638	6,903	9.2%
9	11	ш	晴	6,899	682	7,581	9.0%
9	18	日	丽	6,177	922	7,099	13.0%
9	21	水	鷗	5,953	453	6,406	7.1%
10	2	ш	晴	6,064	568	6,632	8.6%
10	9	П	鷗	6,438	1,095	7,533	14.5%
10	14	金	曇	6,200	502	6,702	7.5%
11	6	日	晴	6,740	679	7,419	9.2%
11	22	火	晴	5,868	441	6,309	7.0%
12	7	水	晴	5,866	414	6,280	6.6%
12	11	П	晴	6,060	421	6,481	6.5%
平均 :	全調査日	3		6,219.0	624.6	6,843.6	9.1%
平均	平日のみ	<del>ሃ</del>		5,989.3	468.3	6,457.7	7.3%
平均	日曜日の	りみ		6,372.1	728.8	7,100.9	10.3%
平均 :	三連休の	カ中日の	)み	6,382.7	992.7	7,375.3	13.5%
増減率	(日曜日	3/平日	)	106.4%	155.6%	110.0%	
増減率	(三連位	木中日/	平日)	106.6%	212.0%	114.2%	

③四万十町 四万十町中央 IC 出入口

					彩	※数	
				県内	県外	県内	内外計
月	日	曜日	天気				県外比率
7	17	ш	晴	6,183	2,082	8,265	25.2%
7	24	田	雨	5,578	1,295	6,873	18.8%
7	27	水	晴	4,514	931	5,445	17.1%
8	25	木	晴	4,363	1,002	5,365	18.7%
8	28	ш	嗤	5,947	1,296	7,243	17.9%
9	11	日	晴	5,858	1,077	6,935	15.5%
9	18	ш	雨	5,525	1,616	7,141	22.6%
9	21	水	嗤	4,183	716	4,899	14.6%
10	2	日	晴	5,491	829	6,320	13.1%
10	9	П	啩	6,042	1,771	7,813	22.7%
10	14	金	曇	4,121	874	4,995	17.5%
11	6	П	晴	6,844	1,213	8,057	15.1%
11	22	火	睛	4,070	874	4,944	17.7%
12	7	水	晴	3,801	784	4,585	17.1%
12	11	日	晴	5,051	813	5,864	13.9%
平均:	全調査日	3		5,171.4	1,144.9	6,316.3	18.1%
平均	平日のみ	<b>ሃ</b>		4,175.3	863.5	5,038.8	17.1%
平均	日曜日の	りみ		5,835.4	1,332.4	7,167.9	18.6%
平均:	三連休の	の中日の	つみ	5,916.7	1,823.0	7,739.7	23.6%
増減率	(日曜日	1/平日	)	139.8%	154.3%	142.3%	
増減率	(三連位	中日/	平日)	141.7%	211.1%	153.6%	

④四万十町 国道 56 号・県道 19 号交差点

					ŕ	総数	
				県内	県外	県内	内外計
月	日	曜日	天気				県外比率
7	17	ш	晴	8,945	2,377	11,322	21.0%
7	24	日	雨	7,448	1,395	8,843	15.8%
7	27	水	晴	7,324	1,060	8,384	12.6%
8	25	木	晴	7,367	1,069	8,436	12.7%
8	28	ш	嗤	7,637	1,438	9,075	15.8%
9	11	ш	瞔	7,719	1,303	9,022	14.4%
9	18	П	雨	7,519	1,833	9,352	19.6%
9	21	水	岫	7,086	788	7,874	10.0%
10	2	П	晴	7,393	1,074	8,467	12.7%
10	9	日	曇	8,257	2,091	10,348	20.2%
10	14	金	鶣	7,111	980	8,091	12.1%
11	6	日	晴	9,012	1,440	10,452	13.8%
11	22	火	晴	6,760	970	7,730	12.5%
12	7	水	晴	6,600	871	7,471	11.7%
12	11	日	晴	7,141	951	8,092	11.8%
平均 :	全調査日	3		7,554.6	1,309.3	8,863.9	14.8%
平均 3	平日のみ	<del>ሃ</del>		7,041.3	956.3	7,997.7	12.0%
平均	日曜日の	りみ		7,896.8	1,544.7	9,441.4	16.4%
平均 :	三連休の	の中日の	りみ	8,240.3	2,100.3	10,340.7	20.3%
増減率	(日曜日	1/平日	)	112.1%	161.5%	118.1%	
増減率	(三連位	<b>ҟ中日</b> /-	平日)	117.0%	219.6%	129.3%	

⑤梼原町 国道 197号・国道 440号交差点 ⑥四万十町 道の駅四万十とおわ前

					彩	8 数	
				県 内	県内 県外 県内		
月	日	曜日	天 気	時間別	時 間 別	時 間 別	県 外 比 3
7	24	日	雨	1,123	472	1,595	29.6%
7	27	水	曹	1,193	319	1,512	21.1%
8	14	日	晴	1,853	1,199	3,052	39.3%
8	25	木	晴	1,225	371	1,596	23.2%
8	28	П	狮	1,409	525	1,934	27.1%
9	11	日	晴	1,198	526	1,724	30.5%
9	18	日	雨	1,206	591	1,797	32.9%
9	21	水	狮	1,190	304	1,494	20.3%
10	2	日	晴	1,216	442	1,658	26.7%
10	9	日	曇	1,895	1,095	2,990	36.6%
10	14	金	曇	1,302	309	1,611	19.2%
11	6	日	晴	1,484	522	2,006	26.0%
11	22	火	晴	1,368	277	1,645	16.8%
12	7	水	晴	1,260	268	1,528	17.5%
12	11	日	晴	1,093	360	1,453	24.8%
平均	全意	周査 日		1,334.3	505.3	1,839.7	27.5%
平均	平日	3 の み		1,256.3	308.0	1,564.3	19.7%
平均	日月	曜日の	み	1,386.3	636.9	2,023.2	31.5%
平均	三道	重休の	中日	1,651.3	961.7	2,613.0	36.8%
増 減	率(E	曜日	/ 平	110.3%	206.8%	129.3%	
増 減	率(三	連休	中日	131.4%	312.2%	167.0%	

					彩	8 数	
				県 内	県 外	県	内外計
月	日	曜日	天 気	時間別	時間別	時間別	県 外 比 琌
7	17	日	晴	1,029	697	1,726	40.4%
7	24	日	雨	876	378	1,254	30.1%
7	27	水	晴	873	253	1,126	22.5%
8	25	木	晴	807	298	1,105	27.0%
8	28	日	曇	889	455	1,344	33.9%
9	11	日	晴	914	456	1,370	33.3%
9	18	日	雨	889	498	1,387	35.9%
9	21	水	曇	855	209	1,064	19.6%
10	2	日	晴	905	348	1,253	27.8%
10	9	日	曇	1,168	606	1,774	34.2%
10	14	金	曇	920	224	1,144	19.6%
11	6	日	晴	893	382	1,275	30.0%
11	22	火	晴	823	200	1,023	19.6%
12	7	水	晴	836	152	988	15.4%
12	11	日	晴	776	213	989	21.5%
平均	全割	司査 日		896.9	357.9	1,254.8	28.5%
平均	平日	1 の み	,	852.3	222.7	1,075.0	20.7%
平均	日日	呈日の	み	926.6	448.1	1,374.7	32.6%
平均	三道	重休の の かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	中日	1,028.7	600.3	1,629.0	36.9%
増 減	率(日	曜日	/ 平	108.7%	201.2%	127.9%	
増 減	率(三	連休	中日	120.7%	269.6%	151.5%	

# 方向別交通量·収支

①須崎市 国道 56 号·県道 494 号交差点 方向別交通量

					а			b			С			d		
				土佐市	<b>→</b>	須崎市	須崎市	<b>→</b>	土佐市	須崎市	<b>→</b>	佐川町	佐川町	<b>→</b>	須崎市	
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計										
7	17	日	晴	2,704	212	2,916	2,797	224	3,021	1,240	137	1,377	1,236	129	1,365	
7	24	日	雨	2,609	141	2,750	2,884	103	2,987	1,139	93	1,232	1,149	70	1,219	
7	27	水	晴	2,543	113	2,656	2,636	133	2,769	1,455	83	1,538	1,412	61	1,473	
8	25	木	晴	2,677	126	2,803	2,663	122	2,785	1,563	78	1,641	1,491	73	1,564	
8	28	日	睓	2,550	101	2,651	2,955	141	3,096	1,229	94	1,323	1,257	69	1,326	
9	11	日	晴	3,125	163	3,288	3,564	177	3,741	1,308	117	1,425	1,311	79	1,390	
9	18	日	雨	2,600	152	2,752	2,860	182	3,042	1,119	114	1,233	1,241	128	1,369	
9	21	水	峡	2,585	153	2,738	2,715	142	2,857	1,600	68	1,668	1,574	67	1,641	
10	2	日	晴	2,588	114	2,702	2,869	116	2,985	1,264	102	1,366	1,415	69	1,484	
10	9	日	睓	2,658	233	2,891	2,856	217	3,073	1,320	133	1,453	1,404	156	1,560	
10	14	金	睓	2,572	140	2,712	2,765	178	2,943	1,611	95	1,706	1,570	77	1,647	
11	6	日	晴	2,646	153	2,799	2,976	160	3,136	1,418	126	1,544	1,358	99	1,457	
11	22	火	晴	2,470	119	2,589	2,636	105	2,741	1,536	70	1,606	1,551	66	1,617	
12	7	水	晴	2,504	126	2,630	2,741	126	2,867	1,529	82	1,611	1,532	74	1,606	
12	11	日	晴	2,717	114	2,831	2,903	138	3,041	1,297	81	1,378	1,351	78	1,429	
平均	全調査	日		2,636.5	144.0	2,780.5	2,854.7	150.9	3,005.6	1,375.2	98.2	1,473.4	1,390.1	86.3	1,476.5	
平均	平日の	み		2,193.0	111.0	2,304.0	2,308.0	115.1	2,423.1	1,327.7	68.0	1,395.7	1,304.3	59.7	1,364.0	
平均	日曜の	み		2,688.6	153.7	2,842.2	2,962.7	162.0	3,124.7	1,259.3	110.8	1,370.1	1,302.4	97.4	1,399.9	
平均	三連休	の中日	のみ	2,654.0	199.0	2,853.0	2,837.7	207.7	3,045.3	1,226.3	128.0	1,354.3	1,293.7	137.7	1,431.3	

				а	_	b	d	_	С
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	-93	-12	-105	-4	-8	-12
7	24	日	雨	-275	38	-237	10	-23	-13
7	27	水	晴	-93	-20	-113	-43	-22	-65
8	25	木	晴	14	4	18	-72	-5	-77
8	28	日	瞓	-405	-40	-445	28	-25	3
9	11	日	晴	-439	-14	-453	3	-38	-35
9	18	日	雨	-260	-30	-290	122	14	136
9	21	水	闦	-130	11	-119	-26	-1	-27
10	2	П	晴	-281	-2	-283	151	-33	118
10	9	日	瞓	-198	16	-182	84	23	107
10	14	金	闦	-193	-38	-231	-41	-18	-59
11	6	П	晴	-330	-7	-337	-60	-27	-87
11	22	火	晴	-166	14	-152	15	-4	11
12	7	水	晴	-237	0	-237	3	-8	-5
12	11	П	晴	-186	-24	-210	54	-3	51
平均	全調査	日		-218.1	-6.9	-225.1	14.9	-11.9	3.1
平均	平日の	み		-134.2	-4.8	-139.0	-27.3	-9.7	-37.0
平均	日曜の	み		-274.1	-8.3	-282.4	43.1	-13.3	29.8
平均	三連休	の中日	のみ	-183.7	-8.7	-192.3	67.3	9.7	77.0

②須崎市 道の駅かわうその里すさき前交差点 方向別交通量

					а			b			С	
				須崎市	$\rightarrow$	中土佐町	須崎市	$\rightarrow$	津野町	中土佐町	$\rightarrow$	須崎市
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	17	П	晴	2,542	377	2,919	326	30	356	2,831	334	3,165
7	24	П	雨	2,376	190	2,566	252	37	289	2,733	230	2,963
7	27	水	晴	2,255	174	2,429	349	20	369	2,401	171	2,572
8	25	木	晴	2,417	165	2,582	328	23	351	2,585	229	2,814
8	28	П	曇	2,352	168	2,520	239	19	258	2,867	301	3,168
9	11	П	晴	2,641	235	2,876	365	24	389	2,924	280	3,204
9	18	П	雨	2,428	315	2,743	263	37	300	2,727	375	3,102
9	21	水	曇	2,319	161	2,480	323	20	343	2,472	166	2,638
10	2	П	晴	2,395	168	2,563	246	28	274	2,646	233	2,879
10	9	П	曇	2,572	377	2,949	253	41	294	2,678	385	3,063
10	14	金	曇	2,301	173	2,474	351	22	373	2,610	231	2,841
11	6	П	晴	2,641	234	2,875	231	18	249	3,031	271	3,302
11	22	火	晴	2,281	154	2,435	333	22	355	2,449	177	2,626
12	7	水	晴	2,181	140	2,321	314	14	328	2,492	185	2,677
12	11	日	晴	2,410	143	2,553	214	6	220	2,735	175	2,910
平均	全調査	日		2,407.4	211.6	2,619.0	292.5	24.1	316.5	2,678.7	249.5	2,928.3
平均	平日の	み	•	2,292.3	161.2	2,453.5	333.0	20.2	353.2	2,501.5	193.2	2,694.7
平均	日曜の	み	•	2,484.1	245.2	2,729.3	265.4	26.7	292.1	2,796.9	287.1	3,084.0
平均	三連休	の中日	のみ	2,514.0	356.3	2,870.3	280.7	36.0	316.7	2,745.3	364.7	3,110.0

					d			е			f	
				中土佐町	$\rightarrow$	津野町	津野町	$\rightarrow$	須崎市	津野町	$\rightarrow$	中土佐町
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	255	81	336	316	79	395	263	60	323
7	24	日	雨	228	47	275	353	44	397	231	45	276
7	27	水	晴	236	34	270	390	33	423	270	32	302
8	25	木	晴	220	44	264	358	37	395	240	38	278
8	28	П	鶣	219	41	260	319	58	377	269	51	320
9	11	П	晴	272	54	326	401	46	447	296	43	339
9	18	П	靐	198	62	260	335	64	399	226	69	295
9	21	水	鶣	241	42	283	342	35	377	256	29	285
10	2	П	晴	245	53	298	319	44	363	213	42	255
10	9	П	鷡	245	84	329	406	109	515	284	99	383
10	14	金	曇	255	21	276	404	27	431	279	28	307
11	6	П	晴	265	69	334	307	42	349	265	45	310
11	22	火	晴	214	36	250	340	28	368	251	24	275
12	7	水	晴	248	28	276	387	26	413	244	21	265
12	11	日	晴	189	51	240	301	15	316	211	31	242
平均	全調査	日		235.3	49.8	285.1	351.9	45.8	397.7	253.2	43.8	297.0
平均	平日の	み	•	235.7	34.2	269.8	370.2	31.0	401.2	256.7	28.7	285.3
平均	日曜の	み	•	235.1	60.2	295.3	339.7	55.7	395.3	250.9	53.9	304.8
平均	三連休	の中日	のみ	232.7	75.7	308.3	352.3	84.0	436.3	257.7	76.0	333.7

収支

				а	-	С	b	-	е	f	-	d
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	-289	43	-246	10	-49	-39	8	-21	-13
7	24	日	雨	-357	-40	-397	-101	-7	-108	3	-2	1
7	27	水	睛	-146	3	-143	-41	-13	-54	34	-2	32
8	25	木	晴	-168	-64	-232	-30	-14	-44	20	-6	14
8	28	日	鴫	-515	-133	-648	-80	-39	-119	50	10	60
9	11	日	晴	-283	-45	-328	-36	-22	-58	24	-11	13
9	18	日	雨	-299	-60	-359	-72	-27	-99	28	7	35
9	21	水	髺	-153	-5	-158	-19	-15	-34	15	-13	2
10	2	日	晴	-251	-65	-316	-73	-16	-89	-32	-11	-43
10	9	日	曇	-106	-8	-114	-153	-68	-221	39	15	54
10	14	金	曇	-309	-58	-367	-53	-5	-58	24	7	31
11	6	日	晴	-390	-37	-427	-76	-24	-100	0	-24	-24
11	22	火	晴	-168	-23	-191	-7	-6	-13	37	-12	25
12	7	水	晴	-311	-45	-356	-73	-12	-85	-4	-7	-11
12	11	日	晴	-325	-32	-357	-87	-9	-96	22	-20	2
平均	全調査	日		-271.3	-37.9	-309.3	-59.4	-21.7	-81.1	17.9	-6.0	11.9
平均	平日の	み	•	-209.2	-32.0	-241.2	-37.2	-10.8	-48.0	21.0	-5.5	15.5
平均	日曜の	み		-312.8	-41.9	-354.7	-74.2	-29.0	-103.2	15.8	-6.3	9.4
平均	三連休	の中日	のみ	-231.3	-8.3	-239.7	-71.7	-48.0	-119.7	25.0	0.3	25.3

③四万十町 四万十町中央 IC 出入口 方向別交通量

					а			b	
				自動車専用道	$\rightarrow$	国道56号	国道56号	$\rightarrow$	自動車専用道
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	2,914	1,032	3,946	3,269	1,050	4,319
7	24	日	雨	2,597	496	3,093	2,981	799	3,780
7	27	水	晴	2,153	450	2,603	2,361	481	2,842
8	25	木	晴	2,093	472	2,565	2,270	530	2,800
8	28	日	鷡	2,321	385	2,706	3,626	911	4,537
9	11	日	晴	2,747	398	3,145	3,111	679	3,790
9	18	日	雨	2,583	707	3,290	2,942	909	3,851
9	21	水	曇	2,004	329	2,333	2,179	387	2,566
10	2	日	晴	2,582 31		2,899	2,909	512	3,421
10	9	日	曇	3,035	861	3,896	3,007	910	3,917
10	14	金	曇	1,883	376	2,259	2,238	498	2,736
11	6	日	晴	3,165	416	3,581	3,679	797	4,476
11	22	火	晴	1,908	374	2,282	2,162	500	2,662
12	7	水	晴	1,707	340	2,047	2,094	444	2,538
12	11	日	晴	2,292	326	2,618	2,759	487	3,246
平均	全調査	日		2,398.9	485.3	2,884.2	2,772.5	659.6	3,432.1
平均	平日の	み		1,958.0	390.2	2,348.2	2,217.3	473.3	2,690.7
平均	平均 日曜のみ		2,692.9	548.7	3,241.6	3,142.6	783.8	3,926.3	
平均			2,844.0	866.7	3,710.7	3,072.7	956.3	4,029.0	

				а	-	b
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	-355	-18	-373
7	24	日	雨	-384	-303	-687
7	27	水	晴	-208	-31	-239
8	25	木	晴	-177	-58	-235
8	28	日	靊	-1,305	-526	-1,831
9	11	田	晴	-364	-281	-645
9	18	日	雨	-359	-202	-561
9	21	水	鷡	-175	-58	-233
10	2	日	晴	-327	-195	-522
10	9	日	曇	28	-49	-21
10	14	金	鷡	-355	-122	-477
11	6	日	晴	-514	-381	-895
11	22	火	晴	-254	-126	-380
12	7	水	晴	-387	-104	-491
12	11	日	晴	-467	-161	-628
平均	全調査	:日		-373.5	-174.3	-547.9
平均	平日の	み		-259.3	-83.2	-342.5
平均	日曜の	み		-449.7	-235.1	-684.8
平均	三連休	の中日	のみ	-228.7	-89.7	-318.3

④四万十町 国道 56 号・県道 19 号交差点 方向別交通量

					а			b			С			d	
				四万十町窪川	<b>→</b>	黒潮町	四万十町窪川	$\rightarrow$	四万十町大正	黒潮町	$\rightarrow$	四万十町窪川	四万十町大正	$\rightarrow$	四万十町窪川
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	2,676	909	3,585	1,464	302	1,766	3,132	913	4,045	1,673	253	1,926
7	24	日	雨	2,256	680	2,936	1,252	167	1,419	2,413	420	2,833	1,527	128	1,655
7	27	水	晴	1,971	423	2,394	1,618	111	1,729	2,118	421	2,539	1,617	105	1,722
8	25	木	晴	1,880	390	2,270	1,586	100	1,686	1,960	460	2,420	1,941	119	2,060
8	28	П	靈	1,933	752	2,685	1,250	208	1,458	2,924	338	3,262	1,530	140	1,670
9	11	日	晴	2,307	382	2,689	1,311	116	1,427	2,560	637	3,197	1,541	168	1,709
9	18	日	雨	2,241	612	2,853	1,332	222	1,554	2,382	736	3,118	1,564	263	1,827
9	21	水	IĖK	1,829	274	2,103	1,625	85	1,710	1,924	315	2,239	1,708	114	1,822
10	2	日	晴	2,187	541	2,728	1,303	127	1,430	2,414	310	2,724	1,489	96	1,585
10	9	日	IĖK	2,565	801	3,366	1,518	241	1,759	2,560	795	3,355	1,614	254	1,868
10	14	金	IĖK	1,758	435	2,193	1,610	109	1,719	2,033	336	2,369	1,710	100	1,810
11	6	日	晴	2,394	730	3,124	1,814	176	1,990	2,607	368	2,975	2,197	166	2,363
11	22	火	晴	1,736	341	2,077	1,565	88	1,653	1,865	449	2,314	1,594	92	1,686
12	7	水	晴	1,672	382	2,054	1,494	107	1,601	1,893	302	2,195	1,541	80	1,621
12	11	日	晴	2,002	449	2,451	1,294	110	1,404	2,239	299	2,538	1,606	93	1,699
平均	全調査	日		2,093.8	540.1	2,633.9	1,469.1	151.3	1,620.3	2,334.9	473.3	2,808.2	1,656.8	144.7	1,801.5
平均	平日の	み		1,807.7	374.2	2,181.8	1,583.0	100.0	1,683.0	1,965.5	380.5	2,346.0	1,685.2	101.7	1,786.8
平均	日曜の	み		2,284.6	650.7	2,935.2	1,393.1	185.4	1,578.6	2,581.2	535.1	3,116.3	1,637.9	173.4	1,811.3
平均	三連休	の中日	のみ	2,494.0	774.0	3,268.0	1,438.0	255.0	1,693.0	2,691.3	814.7	3,506.0	1,617.0	256.7	1,873.7

				С	-	а	d	-	b
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	456	4	460	209	-49	160
7	24	П	雨	157	-260	-103	275	-39	236
7	27	水	晴	147	-2	145	-1	-6	-7
8	25	木	晴	80	70	150	355	19	374
8	28	日	山	991	-414	577	280	-68	212
9	11	日	晴	253	255	508	230	52	282
9	18	日	雨	141	124	265	232	41	273
9	21	水	岫	95	41	136	83	29	112
10	2	П	晴	227	-231	-4	186	-31	155
10	9	П	峨	-5	-6	-11	96	13	109
10	14	金	峨	275	-99	176	100	-9	91
11	6	П	晴	213	-362	-149	383	-10	373
11	22	火	晴	129	108	237	29	4	33
12	7	水	晴	221	-80	141	47	-27	20
12	11	日	晴	237	-150	87	312	-17	295
平均	均 全調査日			241.1	-66.8	174.3	187.7	-6.5	181.2
平均	平均 平日のみ			157.8	6.3	164.2	102.2	1.7	103.8
平均	日曜の	み		296.7	-115.6	181.1	244.8	-12.0	232.8
平均				197.3	40.7	238.0	179.0	1.7	180.7

# ⑤梼原町 国道 197 号・国道 440 号交差点 方向別交通量

					а			b			С			d	
				久万高原町	$\rightarrow$	梼原町	梼原町	$\rightarrow$	久万高原町	梼原町	$\rightarrow$	鬼北町	鬼北町	$\rightarrow$	梼原町
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計									
7	24	П	雨	232	58	290	199	76	275	319	165	484	373	173	546
7	27	水	晴	235	38	273	228	39	267	344	108	452	386	134	520
8	14	П	晴	359	194	553	286	192	478	585	399	984	623	414	1,037
8	25	木	晴	235	53	288	221	43	264	339	148	487	430	127	557
8	28	П	崃	436	64	500	171	61	232	366	195	561	436	205	641
9	11	П	晴	223	68	291	201	76	277	356	198	554	418	184	602
9	18	П	雨	235	61	296	212	85	297	358	199	557	401	246	647
9	21	水	崃	231	35	266	260	38	298	336	115	451	363	116	479
10	2	П	晴	192	55	247	206	55	261	366	154	520	452	178	630
10	9	П	崃	257	124	381	152	116	268	608	372	980	878	483	1,361
10	14	金	瞓	229	32	261	242	30	272	389	115	504	442	132	574
11	6	П	晴	262	64	326	219	53	272	397	213	610	606	192	798
11	22	火	晴	258	45	303	257	30	287	400	115	515	453	87	540
12	7	水	晴	266	24	290	230	26	256	362	116	478	402	102	504
12	11	П	晴	171	29	200	181	28	209	305	139	444	436	164	600
平均	全調査	日		254.7	62.9	317.7	217.7	63.2	280.9	388.7	183.4	572.1	473.3	195.8	669.1
平均	平日の	み		242.3	37.8	280.2	239.7	34.3	274.0	361.7	119.5	481.2	412.7	116.3	529.0
平均	日曜の	み		263.0	79.7	342.7	203.0	82.4	285.4	406.7	226.0	632.7	513.7	248.8	762.4
平均	三連休	の中日	のみ	283.7	126.3	410.0	216.7	131.0	347.7	517.0	323.3	840.3	634.0	381.0	1,015.0

				а	-	b	d	-	С
月	В	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	24	日	雨	33	-18	15	54	8	62
7	27	水	晴	7	-1	6	42	26	68
8	14	日	晴	73	2	75	38	15	53
8	25	木	晴	14	10	24	91	-21	70
8	28	日	曇	265	3	268	70	10	80
9	11	日	晴	22	-8	14	62	-14	48
9	18	日	雨	23	-24	-1	43	47	90
9	21	水	靈	-29	-3	-32	27	1	28
10	2	日	晴	-14	0	-14	86	24	110
10	9	日	瞓	105	8	113	270	111	381
10	14	金	鹇	-13	2	-11	53	17	70
11	6	田	晴	43	11	54	209	-21	188
11	22	火	晴	1	15	16	53	-28	25
12	7	水	晴	36	-2	34	40	-14	26
12	11	日	晴	-10	1	-9	131	25	156
平均	均 全調査日			37.1	-0.3	36.8	84.6	12.4	97.0
平均	平均 平日のみ			2.7	3.5	6.2	51.0	-3.2	47.8
平均	日曜の	み		60.0	-2.8	57.2	107.0	22.8	129.8
平均				67.0	-4.7	62.3	117.0	57.7	174.7

⑥四万十町 道の駅四万十とおわ前 方向別交通量

					а			b	
				松野町	$\rightarrow$	四万十町十和	四万十町十和	$\rightarrow$	松野町
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	486	347	833	543	350	893
7	24	日	雨	414	182	596	462	196	658
7	27	水	晴	450	124	574	423	129	552
8	25	木	晴	401	149	550	406	149	555
8	28	日	曇	436	240	676	453	215	668
9	11	日	晴	454	219	673	460	237	697
9	18	日	雨	414	251	665	475	247	722
9	21	水	曇	417	104	521	438	105	543
10	2	日	晴	446	446 171		459	177	636
10	9	日	曇	555	302	857	613	304	917
10	14	金	曇	467	99	566	453	125	578
11	6	日	晴	441	173	614	452	209	661
11	22	火	晴	418	100	518	405	100	505
12	7	水	晴	413	84	497	423	68	491
12	11	日	晴	361	106	467	415	107	522
平均	全調査	日		438.2	176.7	614.9	458.7	181.2	639.9
平均	平均 平日のみ			427.7	110.0	537.7	424.7	112.7	537.3
平均	平均 日曜のみ			445.2	221.2	666.4	481.3	226.9	708.2
平均				485.0	300.0	785.0	543.7	300.3	844.0

				а	-	b
月	日	曜日	天気	県内	県外	県内外計
7	17	日	晴	-57	-3	-60
7	24	П	丽	-48	-14	-62
7	27	水	晴	27	-5	22
8	25	木	晴	-5	0	-5
8	28	П	鷡	-17	25	8
9	11	田	晴	-6	-18	-24
9	18	П	雨	-61	4	-57
9	21	水	鷡	-21	-1	-22
10	2	П	晴	-13	-6	-19
10	9	田	鶣	-58	-2	-60
10	14	金	鷡	14	-26	-12
11	6	田	晴	-11	-36	-47
11	22	火	晴	13	0	13
12	7	水	晴	-10	16	6
12	11	日	晴	-54	-1	-55
平均	全調査	日		-20.5	-4.5	-24.9
平均	平日の	み		3.0	-2.7	0.3
平均	日曜の	み		-36.1	-5.7	-41.8
平均	三連休	の中日	のみ	-58.7	-0.3	-59.0

時間帯別交通量

①須崎市 国道 56 号・県道 494 号交差点

		土佐市	<b>→</b>	須崎市	須崎市	$\rightarrow$	土佐市	須崎市	<b>→</b>	佐川町	佐川町	<b>→</b>	須崎市		総数	
	時間帯	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
	9:00~10:00	312.5	17.3	329.8	356.8	13.6	370.4	142.3	6.8	149.1	202.4	9.0	211.4	1,013.9	46.7	1,060.7
	10:00~11:00	326.6	18.3	344.9	357.9	20.1	378.0	168.1	11.5	179.7	172.1	11.4	183.5	1,024.8	61.3	1,086.1
	11:00~12:00	343.3	17.3	360.5	342.9	19.7	362.6	173.6	10.4	184.0	175.9	12.0	187.9	1,035.7	59.3	1,095.0
平均	12:00~13:00	294.2	19.9	314.1	339.5	18.5	358.1	168.0	12.3	180.3	164.7	13.0	177.7	966.4	63.7	1,030.1
全調査日	13:00~14:00	314.9	18.7	333.6	348.8	19.7	368.5	155.6	14.0	169.6	176.8	12.3	189.1	996.1	64.6	1,060.7
土砂里口	14:00~15:00	302.1	18.7	320.8	367.9	21.7	389.6	177.3	15.1	192.4	159.5	11.5	171.1	1,006.8	67.1	1,073.9
	15:00~16:00	380.1	17.0	397.1	366.5	21.0	387.5	182.8	15.4	198.2	164.1	9.3	173.4	1,093.5	62.7	1,156.3
	16:00~17:00	362.9	16.9	379.7	374.3	16.7	390.9	207.5	12.7	220.2	174.7	7.8	182.5	1,119.3	54.1	1,173.3
	日計	2,636.5	144.0	2,780.5	2,854.7	150.9	3,005.6	1,375.2	98.2	1,473.4	1,390.1	86.3	1,476.5	8,256.5	479.5	8,736.0
	9:00~10:00	330.0	21.2	351.2	332.0	12.7	344.7	171.2	6.2	177.3	223.3	6.5	229.8	1,056.5	46.5	1,103.0
	10:00~11:00	336.8	18.7	355.5	324.3	19.0	343.3	187.8	10.0	197.8	184.8	9.7	194.5	1,033.8	57.3	1,091.2
	11:00~12:00	327.8	14.2	342.0	317.0	16.5	333.5	191.7	7.2	198.8	181.3	9.5	190.8	1,017.8	47.3	1,065.2
平均	12:00~13:00	292.8	16.0	308.8	309.7	16.7	326.3	177.2	8.2	185.3	187.2	10.7	197.8	966.8	51.5	1,018.3
平日のみ	13:00~14:00	309.0	17.2	326.2	320.5	17.8	338.3	182.5	15.0	197.5	201.8	8.7	210.5	1,013.8	58.7	1,072.5
1 11 0707	14:00~15:00	262.7	14.2	276.8	358.2	17.8	376.0	195.5	12.0	207.5	164.2	9.0	173.2	980.5	53.0	1,033.5
	15:00~16:00	361.5	15.2	376.7	344.0	17.5	361.5	199.8	10.5	210.3	175.7	9.3	185.0	1,081.0	52.5	1,133.5
	16:00~17:00	337.8	13.0	350.8	387.0	16.3	403.3	243.3	10.3	253.7	203.3	6.3	209.7	1,171.5	46.0	1,217.5
	日計	2,558.5	129.5	2,688.0	2,692.7	134.3	2,827.0	1,549.0	79.3	1,628.3	1,521.7	69.7	1,591.3	8,321.8	412.8	8,734.7
	9:00~10:00	300.8	14.8	315.6	373.3	14.2	387.6	123.0	7.2	130.2	188.4	10.7	199.1	985.6	46.9	1,032.4
	10:00~11:00	319.8	18.0	337.8	380.3	20.8	401.1	155.0	12.6	167.6	163.7	12.6	176.2	1,018.8	63.9	1,082.7
	11:00~12:00	353.6	19.3	372.9	360.2	21.8	382.0	161.6	12.6	174.1	172.2	13.7	185.9	1,047.6	67.3	1,114.9
平均	12:00~13:00	295.1	22.4	317.6	359.4	19.8	379.2	161.9	15.0	176.9	149.7	14.6	164.2	966.1	71.8	1,037.9
日曜のみ	13:00~14:00	318.9	19.7	338.6	367.7	20.9	388.6	137.7	13.3	151.0	160.1	14.7	174.8	984.3	68.6	1,052.9
	14:00~15:00	328.3	21.8	350.1	374.3	24.3	398.7	165.2	17.1	182.3	156.4	13.2	169.7	1,024.3	76.4	1,100.8
	15:00~16:00	392.6	18.2	410.8	381.6	23.3	404.9	171.4	18.7	190.1	156.3	9.3	165.7	1,101.9	69.6	1,171.4
	16:00~17:00	379.6	19.4	399.0	365.8	16.9	382.7	183.6	14.3	197.9	155.6	8.8	164.3	1,084.4	59.4	1,143.9
	日計	2,688.6	153.7	2,842.2	2,962.7	162.0	3,124.7	1,259.3	110.8	1,370.1	1,302.4	97.4	1,399.9	8,213.0	523.9	8,736.9
	9:00~10:00	294.7	18.0	312.7	415.3	21.0	436.3	116.0	9.3	125.3	202.7	10.3	213.0	1,028.7	58.7	1,087.3
	10:00~11:00	324.7	21.3	346.0	346.3	25.3	371.7	156.0	14.3	170.3	159.3	16.3	175.7	986.3	77.3	1,063.7
	11:00~12:00	359.3	22.7	382.0	357.3	29.3	386.7	159.3	15.7	175.0	190.3	18.0	208.3	1,066.3	85.7	1,152.0
平均	12:00~13:00	267.7	27.7	295.3	323.7	24.0	347.7	159.0	19.3	178.3	134.3	21.7	156.0	884.7	92.7	977.3
三連休の	13:00~14:00	302.3	30.7	333.0	342.7	27.7	370.3	118.0	15.3	133.3	151.0	21.0	172.0	914.0	94.7	1,008.7
中日のみ	14:00~15:00	336.3	28.7	365.0	321.7	34.0	355.7	170.0	22.0	192.0	149.0	21.7	170.7	977.0	106.3	1,083.3
	15:00~16:00	398.3	20.7	419.0	360.7	28.3	389.0	164.7	15.0	179.7	159.0	13.0	172.0	1,082.7	77.0	1,159.7
	16:00~17:00	370.7	29.3	400.0	370.0	18.0	388.0	183.3	17.0	200.3	148.0	15.7	163.7	1,072.0	0.08	1,152.0
	日計	2,654.0	199.0	2,853.0	2,837.7	207.7	3,045.3	1,226.3	128.0	1,354.3	1,293.7	137.7	1,431.3	8,011.7	672.3	8,684.0

# ②須崎市 道の駅かわうその里すさき前交差点

		須崎市	$\rightarrow$	中土佐町	須崎市	$\rightarrow$	津野町	中土佐町	$\rightarrow$	須崎市
	時間帯	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
	9:00~10:00	257.0	21.9	278.9	38.7	2.7	41.3	357.7	21.8	379.5
	10:00~11:00	298.1	33.3	331.4	41.3	2.9	44.1	333.5	25.3	358.7
	11:00~12:00	316.0	32.2	348.2	40.5	2.9	43.3	324.9	27.9	352.7
	12:00~13:00	292.7	30.4	323.1	34.9	2.7	37.6	317.8	31.9	349.7
平均 全調査日	13:00~14:00	285.0	28.4	313.4	32.9	2.9	35.9	331.0	37.3	368.3
工则且口	14:00~15:00	299.6	25.9	325.5	32.3	3.0	35.3	332.4	38.0	370.4
	15:00~16:00	322.1	22.9	345.1	33.9	3.4	37.3	326.8	37.2	364.0
	16:00~17:00	336.9	16.5	353.5	38.1	3.6	41.7	354.7	30.1	384.9
	日計	2,407.4	211.6	2,619.0	292.5	24.1	316.5	2,678.7	249.5	2,928.3
	9:00~10:00	252.8	18.8	271.7	41.3	2.3	43.7	331.3	16.7	348.0
	10:00~11:00	305.5	24.3	329.8	46.7	2.5	49.2	290.3	20.3	310.7
	11:00~12:00	297.8	24.8	322.7	43.8	2.0	45.8	292.2	23.5	315.7
	12:00~13:00	270.8	19.8	290.7	41.0	2.2	43.2	290.8	26.8	317.7
平均平日のみ	13:00~14:00	280.3	20.3	300.7	38.7	3.0	41.7	304.5	25.7	330.2
+ 110707	14:00~15:00	275.7	21.3	297.0	37.8	2.8	40.7	311.8	25.7	337.5
	15:00~16:00	294.7	19.3	314.0	41.5	2.8	44.3	317.2	27.2	344.3
	16:00~17:00	314.7	12.3	327.0	42.2	2.5	44.7	363.3	27.3	390.7
	日計	2,292.3	161.2	2,453.5	333.0	20.2	353.2	2,501.5	193.2	2,694.7
	9:00~10:00	259.8	23.9	283.7	36.9	2.9	39.8	375.2	25.2	400.4
	10:00~11:00	293.1	39.3	332.4	37.7	3.1	40.8	362.2	28.6	390.8
	11:00~12:00	328.1	37.1	365.2	38.2	3.4	41.7	346.7	30.8	377.4
平均	12:00~13:00	307.2	37.4	344.7	30.8	3.1	33.9	335.8	35.3	371.1
日曜のみ	13:00~14:00	288.1	33.8	321.9	29.1	2.9	32.0	348.7	45.1	393.8
口呼	14:00~15:00	315.6	29.0	344.6	28.6	3.1	31.7	346.1	46.2	392.3
	15:00~16:00	340.4	25.3	365.8	28.9	3.8	32.7	333.2	43.9	377.1
	16:00~17:00	351.8	19.3	371.1	35.3	4.3	39.7	349.0	32.0	381.0
	日計	2,484.1	245.2	2,729.3	265.4	26.7	292.1	2,796.9	287.1	3,084.0
	9:00~10:00	274.0	33.0	307.0	41.3	3.7	45.0	378.3	29.0	407.3
	10:00~11:00	312.0	65.3	377.3	40.3	3.7	44.0	386.3	32.7	419.0
	11:00~12:00	348.3	52.3	400.7	43.0	4.0	47.0	344.7	35.7	380.3
平均	12:00~13:00	314.0	57.7	371.7	31.3	3.3	34.7	318.0	46.7	364.7
三連休の	13:00~14:00	265.7	53.3	319.0	26.3	2.7	29.0	342.3	59.0	401.3
中日のみ	14:00~15:00	308.7	38.0	346.7	31.0	5.3	36.3	316.0	60.3	376.3
	15:00~16:00	345.3	31.0	376.3	30.7	5.7	36.3	319.0	60.7	379.7
	16:00~17:00	346.0	25.7	371.7	36.7	7.7	44.3	340.7	40.7	381.3
	日計	2,514.0	356.3	2,870.3	280.7	36.0	316.7	2,745.3	364.7	3,110.0

		中土佐町	<b>→</b>	津野町	津野町	<b>→</b>	須崎市	津野町	<b>→</b>	中土佐町		総数	
	時間帯	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
	9:00~10:00	32.7	3.5	36.1	42.4	4.1	46.5	32.0	4.1	36.1	760.4	58.0	818.4
	10:00~11:00	33.4	4.6	38.0	41.9	6.1	47.9	31.9	6.4	38.3	779.9	78.5	858.5
	11:00~12:00	29.0	6.1	35.1	40.7	6.9	47.7	29.2	8.6	37.8	780.3	84.5	864.8
- ·-	12:00~13:00	32.0	8.1	40.1	36.2	4.7	40.9	30.8	7.2	38.0	744.3	85.0	829.3
平均 全調査日	13:00~14:00	27.4	9.3	36.7	46.7	5.4	52.1	33.9	5.9	39.8	756.9	89.3	846.2
土砂且口	14:00~15:00	24.1	7.3	31.4	42.3	6.3	48.6	28.5	4.2	32.7	759.2	84.7	843.9
	15:00~16:00	24.3	6.2	30.5	48.2	6.2	54.4	31.8	4.5	36.3	787.1	80.5	867.6
	16:00~17:00	32.5	4.8	37.3	53.5	6.1	59.6	35.1	2.9	38.0	850.9	64.0	914.9
	日計	235.3	49.8	285.1	351.9	45.8	397.7	253.2	43.8	297.0	6,219.0	624.6	6,843.6
	9:00~10:00	30.8	3.0	33.8	49.3	2.7	52.0	29.0	2.5	31.5	734.7	46.0	780.7
	10:00~11:00	32.2	3.0	35.2	42.2	4.0	46.2	33.5	4.3	37.8	750.3	58.5	8.808
	11:00~12:00	25.2	4.7	29.8	41.3	4.3	45.7	29.5	5.3	34.8	729.8	64.7	794.5
	12:00~13:00	27.5	6.0	33.5	40.0	4.5	44.5	30.5	4.2	34.7	700.7	63.5	764.2
平均平日のみ	13:00~14:00	26.0	5.3	31.3	48.7	3.2	51.8	38.3	3.3	41.7	736.5	60.8	797.3
T 10007	14:00~15:00	26.3	5.0	31.3	43.7	4.8	48.5	27.8	3.5	31.3	723.2	63.2	786.3
	15:00~16:00	28.3	3.7	32.0	50.0	4.3	54.3	30.7	4.2	34.8	762.3	61.5	823.8
	16:00~17:00	39.3	3.5	42.8	55.0	3.2	58.2	37.3	1.3	38.7	851.8	50.2	902.0
	日計	235.7	34.2	269.8	370.2	31.0	401.2	256.7	28.7	285.3	5,989.3	468.3	6,457.7
	9:00~10:00	33.9	3.8	37.7	37.8	5.1	42.9	34.0	5.1	39.1	777.6	66.0	843.6
	10:00~11:00	34.2	5.7	39.9	41.7	7.4	49.1	30.8	7.8	38.6	799.7	91.9	891.6
	11:00~12:00	31.6	7.0	38.6	40.3	8.7	49.0	29.0	10.8	39.8	813.9	97.8	911.7
平均	12:00~13:00	35.0	9.4	44.4	33.7	4.8	38.4	31.0	9.2	40.2	773.4	99.3	872.8
日曜のみ	13:00~14:00	28.3	12.0	40.3	45.3	6.9	52.2	30.9	7.7	38.6	770.4	108.3	878.8
口を正のプレク	14:00~15:00	22.7	8.8	31.4	41.3	7.3	48.7	29.0	4.7	33.7	783.2	99.1	882.3
	15:00~16:00	21.6	7.9	29.4	47.0	7.4	54.4	32.6	4.8	37.3	803.7	93.1	896.8
	16:00~17:00	27.9	5.7	33.6	52.6	8.0	60.6	33.7	3.9	37.6	850.2	73.2	923.4
	日計	235.1	60.2	295.3	339.7	55.7	395.3	250.9	53.9	304.8	6,372.1	728.8	7,100.9
	9:00~10:00	31.3	4.3	35.7	36.7	6.7	43.3	42.3	7.3	49.7	804.0	84.0	0.888
	10:00~11:00	29.7	8.0	37.7	41.7	11.3	53.0	30.3	9.7	40.0	840.3	130.7	971.0
	11:00~12:00	33.0	11.7	44.7	47.3	10.0	57.3	28.0	15.7	43.7	844.3	129.3	973.7
平均	12:00~13:00	35.7	10.0	45.7	30.3	6.0	36.3	35.3	11.7	47.0	764.7	135.3	900.0
三連休の	13:00~14:00	30.0	15.7	45.7	49.3	9.7	59.0	23.3	9.3	32.7	737.0	149.7	886.7
中日のみ	14:00~15:00	23.7	9.7	33.3	42.7	12.0	54.7	30.0	7.3	37.3	752.0	132.7	884.7
	15:00~16:00	25.3	10.7	36.0	46.7	12.7	59.3	35.7	7.3	43.0	802.7	128.0	930.7
	16:00~17:00	24.0	5.7	29.7	57.7	15.7	73.3	32.7	7.7	40.3	837.7	103.0	940.7
	日計	232.7	75.7	308.3	352.3	84.0	436.3	257.7	76.0	333.7	6,382.7	992.7	7,375.3

③四万十町 四万十町中央 IC 出入口

			$\rightarrow$	国道56号	国道56号	<b>→</b>	自動車専用道		総数	
	時間帯	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
	9:00~10:00	305.5	64.1	369.6	345.3	52.4	397.7	650.8	116.5	767.3
	10:00~11:00	329.3	81.5	410.8	348.4	64.2	412.6	677.7	145.7	823.4
	11:00~12:00	297.5	75.5	373.1	335.4	81.0	416.4	632.9	156.5	789.5
	12:00~13:00	242.3	55.9	298.2	299.1	77.9	377.0	541.4	133.8	675.2
平均 全調査日	13:00~14:00	262.2	62.9	325.1	299.4	80.9	380.3	561.6	143.9	705.5
工则且口	14:00~15:00	268.1	52.6	320.7	362.9	101.1	464.0	631.1	153.7	784.7
	15:00~16:00	320.9	50.3	371.1	373.3	100.8	474.1	694.2	151.1	845.3
	16:00~17:00	373.1	42.4	415.5	408.6	101.3	509.9	781.7	143.7	925.5
	日計	2,398.9	485.3	2,884.2	2,772.5	659.6	3,432.1	5,171.4	1,144.9	6,316.3
	9:00~10:00	282.3	57.3	339.7	264.3	40.8	305.2	546.7	98.2	644.8
	10:00~11:00	285.2	66.3	351.5	274.8	51.2	326.0	560.0	117.5	677.5
	11:00~12:00	257.0	59.5	316.5	251.7	58.5	310.2	508.7	118.0	626.7
111 H	12:00~13:00	197.0	42.8	239.8	240.3	46.5	286.8	437.3	89.3	526.7
平均平日のみ	13:00~14:00	226.3	45.8	272.2	239.0	54.0	293.0	465.3	99.8	565.2
T 11 07 07	14:00~15:00	210.0	43.3	253.3	278.5	70.5	349.0	488.5	113.8	602.3
	15:00~16:00	224.7	41.7	266.3	312.3	72.5	384.8	537.0	114.2	651.2
	16:00~17:00	275.5	33.3	308.8	356.3	79.3	435.7	631.8	112.7	744.5
	日計	1,958.0	390.2	2,348.2	2,217.3	473.3	2,690.7	4,175.3	863.5	5,038.8
	9:00~10:00	321.0	68.6	389.6	399.2	60.1	459.3	720.2	128.7	848.9
	10:00~11:00	358.7	91.7	450.3	397.4	72.9	470.3	756.1	164.6	920.7
	11:00~12:00	324.6	86.2	410.8	391.2	96.0	487.2	715.8	182.2	898.0
平均	12:00~13:00	272.4	64.7	337.1	338.3	98.8	437.1	610.8	163.4	774.2
日曜のみ	13:00~14:00	286.1	74.3	360.4	339.7	98.9	438.6	625.8	173.2	799.0
口呼	14:00~15:00	306.9	58.8	365.7	419.2	121.4	540.7	726.1	180.2	906.3
	15:00~16:00	385.0	56.0	441.0	414.0	119.7	533.7	799.0	175.7	974.7
	16:00~17:00	438.2	48.4	486.7	443.4	116.0	559.4	881.7	164.4	1,046.1
	日計	2,692.9	548.7	3,241.6	3,142.6	783.8	3,926.3	5,835.4	1,332.4	7,167.9
	9:00~10:00	351.3	115.3	466.7	414.7	62.7	477.3	766.0	178.0	944.0
	10:00~11:00	411.7	153.3	565.0	374.0	87.3	461.3	785.7	240.7	1,026.3
	11:00~12:00	385.0	128.7	513.7	415.0	113.3	528.3	0.008	242.0	1,042.0
平均	12:00~13:00	288.0	110.0	398.0	319.0	126.0	445.0	607.0	236.0	843.0
三連休の	13:00~14:00	301.7	129.0	430.7	317.0	107.0	424.0	618.7	236.0	854.7
	14:00~15:00	310.3	87.3	397.7	392.3	150.3	542.7	702.7	237.7	940.3
	15:00~16:00	369.3	75.0	444.3	408.3	165.3	573.7	777.7	240.3	1,018.0
	16:00~17:00	426.7	68.0	494.7	432.3	144.3	576.7	859.0	212.3	1,071.3
	日計	2,844.0	866.7	3,710.7	3,072.7	956.3	4,029.0	5,916.7	1,823.0	7,739.7

④四万十町 国道 56 号・県道 19 号交差点

		四万十町窪川	<b>→</b>	黒潮町	四万十町窪川	$\rightarrow$	四万十町大正	黒潮町	$\rightarrow$	四万十町窪川	四万十町大正	<b>→</b>	四万十町窪川		総数	
	時間帯	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
	9:00~10:00	246.5	49.5	296.0	192.7	15.7	208.3	295.7	53.9	349.6	213.0	15.7	228.7	947.9	134.7	1,082.7
	10:00~11:00	282.3	63.6	345.9	205.9	18.2	224.1	312.8	61.5	374.3	202.7	17.7	220.4	1,003.7	160.9	1,164.6
	11:00~12:00	235.2	68.7	303.9	181.9	19.5	201.4	283.5	66.1	349.7	208.1	20.1	228.2	908.7	174.4	1,083.1
平均	12:00~13:00	227.5	65.6	293.1	179.3	21.9	201.1	232.0	58.7	290.7	186.6	19.5	206.1	825.3	165.7	991.0
全調査日	13:00~14:00	239.1	68.3	307.3	175.2	19.4	194.6	286.4	60.3	346.7	230.7	19.9	250.5	931.3	167.8	1,099.1
土砂宜口	14:00~15:00	249.7	77.7	327.5	174.4	19.3	193.7	281.8	62.3	344.1	207.5	20.9	228.4	913.4	180.3	1,093.7
	15:00~16:00	286.8	76.2	363.0	168.9	20.1	188.9	319.0	58.6	377.6	212.3	17.0	229.3	986.9	171.9	1,158.8
	16:00~17:00	326.7	70.5	397.3	190.9	17.2	208.1	323.7	52.0	375.7	195.9	13.9	209.9	1,037.3	153.7	1,190.9
	日計	2,093.8	540.1	2,633.9	1,469.1	151.3	1,620.3	2,334.9	473.3	2,808.2	1,656.8	144.7	1,801.5	7,554.6	1,309.3	8,863.9
	9:00~10:00	247.8	40.7	288.5	210.2	12.3	222.5	236.3	45.5	281.8	222.2	9.2	231.3	916.5	107.7	1,024.2
	10:00~11:00	258.3	52.0	310.3	220.0	12.3	232.3	244.3	48.0	292.3	202.7	13.7	216.3	925.3	126.0	1,051.3
	11:00~12:00	207.0	51.2	258.2	187.0	17.3	204.3	247.0	50.3	297.3	224.7	15.5	240.2	865.7	134.3	1,000.0
平均	12:00~13:00	220.0	40.2	260.2	186.2	14.8	201.0	221.0	44.8	265.8	210.5	14.3	224.8	837.7	114.2	951.8
平日のみ	13:00~14:00	211.5	44.2	255.7	195.3	9.8	205.2	211.0	45.5	256.5	197.2	11.8	209.0	815.0	111.3	926.3
1 11000	14:00~15:00	205.5	50.2	255.7	187.8	11.0	198.8	236.7	50.5	287.2	193.7	14.2	207.8	823.7	125.8	949.5
	15:00~16:00	206.7	52.7	259.3	181.7	11.5	193.2	274.2	49.8	324.0	215.7	11.5	227.2	878.2	125.5	1,003.7
	16:00~17:00	250.8	43.2	294.0	214.8	10.8	225.7	295.0	46.0	341.0	218.7	11.5	230.2	979.3	111.5	1,090.8
	日計	1,807.7	374.2	2,181.8	1,583.0	100.0	1,683.0	1,965.5	380.5	2,346.0	1,685.2	101.7	1,786.8	7,041.3	956.3	7,997.7
	9:00~10:00	245.7	55.3	301.0	181.0	17.9	198.9	335.3	59.4	394.8	206.9	20.1	227.0	968.9	152.8	1,121.7
	10:00~11:00	298.2	71.3	369.6	196.4	22.1	218.6	358.4	70.4	428.9	202.8	20.3	223.1	1,055.9	184.2	1,240.1
	11:00~12:00	254.0	80.3	334.3	178.4	21.0	199.4	307.9	76.7	384.6	197.1	23.1	220.2	937.4	201.1	1,138.6
平均	12:00~13:00	232.4	82.6	315.0	174.7	26.6	201.2	239.3	67.9	307.2	170.7	23.0	193.7	817.1	200.0	1,017.1
日曜のみ	13:00~14:00	257.4	84.3	341.8	161.8	25.8	187.6	336.7	70.1	406.8	253.0	25.2	278.2	1,008.9	205.4	1,214.3
П.,,	14:00~15:00	279.2	96.1	375.3	165.4	24.9	190.3	311.9	70.1	382.0	216.7	25.4	242.1	973.2	216.6	1,189.8
	15:00~16:00	340.2	91.9	432.1	160.3	25.8	186.1	348.9	64.4	413.3	210.0	20.7	230.7	1,059.4	202.8	1,262.2
	16:00~17:00	377.3	88.8	466.1	175.0	21.4	196.4	342.8	56.0	398.8	180.8	15.6	196.3	1,075.9	181.8	1,257.7
	日計	2,284.6	650.7	2,935.2	1,393.1	185.4	1,578.6	2,581.2	535.1	3,116.3	1,637.9	173.4	1,811.3	7,896.8	1,544.7	9,441.4
	9:00~10:00	304.3	58.3	362.7	170.0	22.7	192.7	373.3	85.7	459.0	231.0	26.3	257.3	1,078.7	193.0	1,271.7
	10:00~11:00	339.3	79.7	419.0	196.0	32.0	228.0	404.0	111.7	515.7	217.0	31.3	248.3	1,156.3	254.7	1,411.0
	11:00~12:00	298.3	97.0	395.3	185.3	29.7	215.0	271.3	131.7	403.0	165.7	31.0	196.7	920.7	289.3	1,210.0
平均	12:00~13:00	277.7	100.3	378.0	191.3	36.3	227.7	234.0	106.3	340.3	139.0	33.0	172.0	842.0	276.0	1,118.0
三連休の	13:00~14:00	297.7	107.3	405.0	177.7	32.7	210.3	392.3	102.7	495.0	285.7	39.3	325.0	1,153.3	282.0	1,435.3
中日のみ	14:00~15:00	310.0	119.7	429.7	175.3	36.0	211.3	312.0	104.3	416.3	227.3	43.0	270.3	1,024.7	303.0	1,327.7
	15:00~16:00	302.3	106.3	408.7	173.3	31.0	204.3	379.0	95.3	474.3	180.7	30.7	211.3	1,035.3	263.3	1,298.7
	16:00~17:00	364.3	105.3	469.7	169.0	34.7	203.7	325.3	77.0	402.3	170.7	22.0	192.7	1,029.3	239.0	1,268.3
	日計	2,494.0	774.0	3,268.0	1,438.0	255.0	1,693.0	2,691.3	814.7	3,506.0	1,617.0	256.7	1,873.7	8,240.3	2,100.3	10,340.7

⑤梼原町 国道 197 号・国道 440 号交差点

		久万高原町	<b>→</b>	梼原町	梼原町	$\rightarrow$	久万高原町	梼原町	$\rightarrow$	鬼北町	鬼北町	<b>→</b>	梼原町		総数	
	時間帯	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
	9:00~10:00	27.9	5.3	33.3	22.2	3.7	25.9	59.1	10.7	69.8	51.3	26.8	78.1	160.6	46.5	207.1
	10:00~11:00	25.8	7.4	33.2	26.7	5.5	32.1	55.8	14.0	69.8	43.3	35.9	79.3	151.6	62.8	214.4
	11:00~12:00	31.9	8.8	40.7	28.1	6.1	34.3	52.9	14.3	67.2	52.3	31.6	83.9	165.2	60.9	226.1
平均	12:00~13:00	30.5	8.1	38.6	28.6	7.9	36.5	56.1	23.1	79.2	56.7	29.3	86.0	171.9	68.3	240.3
全調査日	13:00~14:00	28.3	10.4	38.7	27.6	12.1	39.7	44.8	23.6	68.4	57.1	22.0	79.1	157.7	68.1	225.9
土砂宜口	14:00~15:00	34.6	9.5	44.1	26.6	11.5	38.1	42.1	31.2	73.3	61.5	20.1	81.5	164.8	72.2	237.0
	15:00~16:00	38.3	8.3	46.6	29.7	9.1	38.9	36.9	34.0	70.9	70.7	16.7	87.4	175.7	68.1	243.8
	16:00~17:00	37.5	5.1	42.6	28.1	7.3	35.5	40.9	32.5	73.4	80.3	13.5	93.7	186.7	58.5	245.2
	日計	254.7	62.9	317.7	217.7	63.2	280.9	388.7	183.4	572.1	473.3	195.8	669.1	1,334.3	505.3	1,839.7
	9:00~10:00	29.2	6.2	35.3	26.0	2.7	28.7	56.8	9.5	66.3	46.7	15.5	62.2	158.7	33.8	192.5
	10:00~11:00	25.0	6.5	31.5	30.0	2.3	32.3	51.2	11.8	63.0	38.3	20.3	58.7	144.5	41.0	185.5
	11:00~12:00	35.0	5.2	40.2	31.2	5.2	36.3	39.8	13.2	53.0	44.7	17.0	61.7	150.7	40.5	191.2
平均	12:00~13:00	34.2	4.2	38.3	35.2	5.2	40.3	54.7	16.5	71.2	56.0	16.3	72.3	180.0	42.2	222.2
平日のみ	13:00~14:00	22.8	6.2	29.0	29.7	5.2	34.8	44.3	14.5	58.8	45.5	12.7	58.2	142.3	38.5	180.8
1 1 0 0 0 7	14:00~15:00	30.2	3.3	33.5	27.8	6.8	34.7	39.5	16.0	55.5	49.5	12.7	62.2	147.0	38.8	185.8
	15:00~16:00	33.5	3.2	36.7	32.7	4.5	37.2	32.7	19.7	52.3	66.3	12.0	78.3	165.2	39.3	204.5
	16:00~17:00	32.5	3.2	35.7	27.2	2.5	29.7	42.7	18.3	61.0	65.7	9.8	75.5	168.0	33.8	201.8
	日計	242.3	37.8	280.2	239.7	34.3	274.0	361.7	119.5	481.2	412.7	116.3	529.0	1,256.3	308.0	1,564.3
	9:00~10:00	27.1	4.8	31.9	19.7	4.3	24.0	60.7	11.4	72.1	54.4	34.3	88.8	161.9	54.9	216.8
	10:00~11:00	26.3	8.0	34.3	24.4	7.6	32.0	58.9	15.4	74.3	46.7	46.3	93.0	156.3	77.3	233.7
	11:00~12:00	29.8	11.2	41.0	26.1	6.8	32.9	61.6	15.1	76.7	57.4	41.3	98.8	174.9	74.4	249.3
平均	12:00~13:00	28.0	10.8	38.8	24.2	9.7	33.9	57.1	27.4	84.6	57.2	37.9	95.1	166.6	85.8	252.3
日曜のみ	13:00~14:00	31.9	13.2	45.1	26.2	16.8	43.0	45.1	29.7	74.8	64.8	28.2	93.0	168.0	87.9	255.9
Д.,,	14:00~15:00	37.6	13.6	51.1	25.8	14.6	40.3	43.9	41.3	85.2	69.4	25.0	94.4	176.7	94.4	271.1
	15:00~16:00	41.6	11.7	53.2	27.8	12.2	40.0	39.8	43.6	83.3	73.7	19.8	93.4	182.8	87.2	270.0
	16:00~17:00	40.8	6.4	47.2	28.8	10.6	39.3	39.7	42.0	81.7	90.0	15.9	105.9	199.2	74.9	274.1
	日計	263.0	79.7	342.7	203.0	82.4	285.4	406.7	226.0	632.7	513.7	248.8	762.4	1,386.3	636.9	2,023.2
	9:00~10:00	24.3	5.3	29.7	19.3	4.7	24.0	72.0	21.3	93.3	73.7	48.0	121.7	189.3	79.3	268.7
	10:00~11:00	30.3	13.0	43.3	28.0	14.0	42.0	78.0	29.0	107.0	49.7	66.0	115.7	186.0	122.0	308.0
	11:00~12:00	27.3	15.7	43.0	25.0	8.7	33.7	82.0	20.7	102.7	70.0	66.3	136.3	204.3	111.3	315.7
平均	12:00~13:00	27.7	16.0	43.7	23.7	13.7	37.3	85.0	43.0	128.0	80.7	61.3	142.0	217.0	134.0	351.0
三連休の	13:00~14:00	39.0	18.0	57.0	27.7	26.3	54.0	58.0	39.7	97.7	80.3	45.3	125.7	205.0	129.3	334.3
中日のみ	14:00~15:00	38.0	23.3	61.3	26.0	23.3	49.3	53.0	56.7	109.7	81.3	42.0	123.3	198.3	145.3	343.7
	15:00~16:00	53.7	25.0	78.7	33.3	23.0	56.3	46.3	59.3	105.7	103.7	29.7	133.3	237.0	137.0	374.0
	16:00~17:00	43.3	10.0	53.3	33.7	17.3	51.0	42.7	53.7	96.3	94.7	22.3	117.0	214.3	103.3	317.7
	日計	283.7	126.3	410.0	216.7	131.0	347.7	517.0	323.3	840.3	634.0	381.0	1,015.0	1,651.3	961.7	2,613.0

⑥四万十町 道の駅四万十とおわ前

		松野町	$\rightarrow$	四万十町十和	四万十町十和	<b>→</b>	松野町		総数	
	時間帯	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計	県内	県外	県内外計
	9:00~10:00	42.5	18.2	60.7	61.9	10.5	72.3	104.3	28.7	133.0
	10:00~11:00	51.0	29.2	80.2	66.6	14.2	80.8	117.6	43.4	161.0
	11:00~12:00	52.1	30.9	83.1	62.7	18.7	81.4	114.9	49.6	164.5
平均	12:00~13:00	52.3	27.7	80.0	59.5	24.0	83.5	111.8	51.7	163.5
全調査日	13:00~14:00	58.0	24.1	82.1	58.1	28.2	86.3	116.1	52.3	168.4
土訓且口	14:00~15:00	53.3	19.1	72.4	54.7	30.9	85.5	108.0	49.9	157.9
	15:00~16:00	64.8	17.7	82.5	46.1	31.2	77.3	110.9	48.9	159.8
	16:00~17:00	64.2	9.9	74.1	49.0	23.6	72.6	113.2	33.5	146.7
	日計	438.2	176.7	614.9	458.7	181.2	639.9	896.9	357.9	1,254.8
	9:00~10:00	45.0	12.7	57.7	62.3	8.2	70.5	107.3	20.8	128.2
	10:00~11:00	52.7	19.7	72.3	57.0	11.5	68.5	109.7	31.2	140.8
	11:00~12:00	51.8	16.7	68.5	56.2	13.0	69.2	108.0	29.7	137.7
平均	12:00~13:00	55.7	14.8	70.5	50.8	14.8	65.7	106.5	29.7	136.2
平日のみ	13:00~14:00	55.7	16.0	71.7	51.3	13.3	64.7	107.0	29.3	136.3
T 1000	14:00~15:00	47.3	14.3	61.7	51.0	21.3	72.3	98.3	35.7	134.0
	15:00~16:00	59.8	8.3	68.2	42.0	15.0	57.0	101.8	23.3	125.2
	16:00~17:00	59.7	7.5	67.2	54.0	15.5	69.5	113.7	23.0	136.7
	日計	427.7	110.0	537.7	424.7	112.7	537.3	852.3	222.7	1,075.0
	9:00~10:00	40.8	21.9	62.7	61.6	12.0	73.6	102.3	33.9	136.2
	10:00~11:00	49.9	35.6	85.4	73.0	16.0	89.0	122.9	51.6	174.4
	11:00~12:00	52.3	40.4	92.8	67.1	22.4	89.6	119.4	62.9	182.3
平均	12:00~13:00	50.0	36.3	86.3	65.3	30.1	95.4	115.3	66.4	181.8
日曜のみ	13:00~14:00	59.6	29.4	89.0	62.7	38.1	100.8	122.2	67.6	189.8
H AE OSO	14:00~15:00	57.3	22.2	79.6	57.1	37.2	94.3	114.4	59.4	173.9
	15:00~16:00	68.1	23.9	92.0	48.9	42.0	90.9	117.0	65.9	182.9
	16:00~17:00	67.2	11.4	78.7	45.7	29.0	74.7	112.9	40.4	153.3
	日計	445.2	221.2	666.4	481.3	226.9	708.2	926.6	448.1	1,374.7
	9:00~10:00	39.3	23.7	63.0	69.0	10.7	79.7	108.3	34.3	142.7
	10:00~11:00	45.3	42.7	88.0	89.7	22.3	112.0	135.0	65.0	200.0
	11:00~12:00	51.3	52.7	104.0	80.7	28.7	109.3	132.0	81.3	213.3
平均	12:00~13:00	61.7	51.3	113.0	77.0	41.3	118.3	138.7	92.7	231.3
三連休の	13:00~14:00	72.7	44.3	117.0	72.0	47.0	119.0	144.7	91.3	236.0
中日のみ	14:00~15:00	60.0	27.7	87.7	63.0	51.7	114.7	123.0	79.3	202.3
	15:00~16:00	79.0	38.3	117.3	44.7	58.3	103.0	123.7	96.7	220.3
	16:00~17:00	75.7	19.3	95.0	47.7	40.3	88.0	123.3	59.7	183.0
	日計	485.0	300.0	785.0	543.7	300.3	844.0	1,028.7	600.3	1,629.0

# 県外ナンバー 方向別交通量・収支

①須崎市 国道 56 号・県道 494 号交差点

		а	b	С	d
		土佐市→須崎市	须崎市→土佐市	須崎市→佐川町	佐川町→須崎市
	愛媛	48.7	51.1	44.5	38.3
	香川	24.1	33.1	13.9	11.3
	徳島	11.3	12.5	4.0	3.3
	北海道	0.6	0.3	0.1	0.0
TT 16	東北	0.7	0.5	0.1	0.1
平均 全調査日	関東	4.8	3.7	5.3	4.1
工则且口	中部	4.2	3.9	2.5	2.6
	近畿	22.7	23.4	12.5	13.0
	中国	16.1	14.8	11.3	9.3
	九州	7.7	4.7	3.0	2.0
	合計	140.9	148.1	97.3	84.1
	愛媛	44.0	45.0	33.0	28.8
	香川	27.0	37.7	15.7	12.5
	徳島	8.7	11.2	3.2	2.7
	北海道	0.2	0.0	0.0	0.0
	東北	0.2	0.2	0.0	0.2
平均	関東	3.3	2.7	4.2	5.2
平日のみ	中部	3.5	2.2	2.3	1.8
	近畿	19.0	16.3	9.2	8.8
	中国	14.0	12.8	8.5	6.2
	九州	9.2	4.5	2.0	1.2
	合計	129.0	132.5	78.0	67.3
	愛媛	51.9	55.1	52.2	44.6
	香川	22.2	30.1	12.8	10.6
	徳島	13.0	13.3	4.6	3.8
	北海道	0.9	0.4	0.1	0.0
	東北	1.0	0.8	0.1	0.1
平均 日曜のみ	関東	5.8	4.4	6.1	3.4
日曜のみ	中部	4.7	5.1	2.7	3.1
	近畿	25.2	28.1	14.8	15.8
	中国	17.6	16.1	13.2	11.4
	九州	6.7	4.9	3.7	2.6
	合計	148.9	158.4	110.2	95.3
	愛媛	58.3	60.0	53.3	58.0
	香川	30.3	34.3	15.3	14.0
	徳島	19.0	15.7	5.3	4.7
	北海道	1.0	0.7	0.0	0.0
平均	東北	1.0	0.7	0.0	0.3
三連休の	関東	7.7	7.3	5.3	4.3
中日のみ	中部	6.7	7.7	3.7	4.3
	近畿	38.7	47.3	23.7	29.0
	中国	19.0	22.0	14.0	17.3
	九州	10.0	6.0	5.3	3.0
	合計	191.7	201.7	126.0	135.0

		総数	割合	a - b	d - c
	愛媛	182.6	38.8%	-2.3	-6.3
	香川	82.5	17.5%	-9.0	-2.6
	徳島	31.1	6.6%	-1.2	-0.7
	北海道	0.9	0.2%	0.3	-0.1
平均	東北	1.4	0.3%	0.1	0.1
全調査日	関東	18.0	3.8%	1.1	-1.2
	中部	13.3	2.8%	0.3	0.1
	近畿	71.7	15.2%	-0.7	0.5
	中国	51.6	11.0%	1.3	-2.0
	九州	17.4	3.7%	2.9	-1.0
	合計	470.5	100.0%	-7.1	-13.2
	愛媛	150.8	37.1%	-1.0	-4.2
	香川	92.8	22.8%	-10.7	-3.2
	徳島	25.7	6.3%	-2.5	-0.5
	北海道	0.2	0.0%	0.2	0.0
77.16	東北	0.5	0.1%	0.0	0.2
平均 平日のみ	関東	15.3	3.8%	0.7	1.0
+1000	中部	9.8	2.4%	1.3	-0.5
	近畿	53.3	13.1%	2.7	-0.3
	中国	41.5	10.2%	1.2	-2.3
	九州	16.8	4.1%	4.7	-0.8
	合計	406.8	100.0%	-3.5	-10.7
	愛媛	203.8	39.7%	-3.2	-7.7
	香川	75.7	14.8%	-7.9	-2.2
	徳島	34.7	6.8%	-0.3	-0.8
	北海道	1.4	0.3%	0.4	-0.1
	東北	2.0	0.4%	0.2	0.0
平均 日曜のみ	関東	19.8	3.9%	1.3	-2.7
口唯切办	中部	15.6	3.0%	-0.4	0.4
	近畿	83.9	16.4%	-2.9	1.0
	中国	58.3	11.4%	1.4	-1.8
	九州	17.8	3.5%	1.8	-1.1
	合計	512.9	100.0%	-9.6	-14.9
	愛媛	229.7	35.1%	-1.7	4.7
	香川	94.0	14.4%	-4.0	-1.3
	徳島	44.7	6.8%	3.3	-0.7
	北海道	1.7	0.3%	0.3	0.0
平均	東北	2.0	0.3%	0.3	0.3
三連休の	関東	24.7	3.8%	0.3	-1.0
中日のみ	中部	22.3	3.4%	-1.0	0.7
	近畿	138.7	21.2%	-8.7	5.3
	中国	72.3	11.1%	-3.0	3.3
	九州	24.3	3.7%	4.0	-2.3
	合計	654.3	100.0%	-10.0	9.0

# ②須崎市 道の駅かわうその里すさき前交差点

		a	b	С	d	e	f
		須崎市→中土佐町	须崎市→津野町	中土佐町→須崎市	中土佐町→津野町	津野町→須崎市	津野町→中土佐町
	愛媛	62.6	9.9	70.6	25.7	20.6	24.6
	香川	32.3	4.1	44.0	5.2	6.0	4.4
	徳島	15.3	1.1	15.1	2.1	3.1	1.9
	北海道	0.9	0.0	0.6	0.2	0.0	0.1
	東北	1.1	0.1	1.7	0.1	0.3	0.1
平均 全調査日	関東	10.7	0.5	11.7	1.4	0.9	1.1
王調宜口	中部	8.9	0.7	9.5	1.1	1.3	0.9
	近畿	43.7	3.9	53.9	7.1	7.0	5.7
	中国	26.9	1.8	34.4	4.6	4.1	3.7
	九州	9.7	2.0	7.9	2.5	2.2	1.1
	合計	212.1	24.1	249.3	49.9	45.5	43.7
	愛媛	44.2	7.0	50.5	13.5	11.8	12.2
	香川	30.3	4.8	41.3	4.8	5.2	4.7
	徳島	13.0	0.8	12.0	2.0	2.0	1.2
	北海道	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2
	東北	0.8	0.0	1.2	0.3	0.3	0.2
平均	関東	8.5	0.5	12.7	1.0	0.8	1.3
平日のみ	中部	8.2	0.5	7.0	1.0	0.5	1.2
	近畿	30.2	3.3	34.5	5.5	4.8	4.2
	中国	19.7	1.3	24.3	3.2	3.0	2.7
	九州	7.0	1.8	9.0	2.2	2.2	1.0
	合計	162.0	20.2	192.5	33.8	30.7	28.7
	愛媛	74.9	11.9	84.0	33.9	26.4	32.9
	香川	33.7	3.7	45.8	5.4	6.6	4.2
	徳島	16.8	1.2	17.1	2.1	3.9	2.4
	北海道	1.3	0.0	1.0	0.1	0.0	0.0
	東北	1.2	0.1	2.0	0.0	0.3	0.0
平均 日曜のみ	関東	12.2	0.6	11.1	1.7	1.0	1.0
日曜のみ	中部	9.4	0.8	11.1	1.1	1.8	0.8
	近畿	52.8	4.3	66.8	8.1	8.4	6.8
	中国	31.8	2.1	41.1	5.6	4.8	4.4
	九州	11.4	2.1	7.2	2.7	2.2	1.2
	合計	245.6	26.8	287.2	60.7	55.4	53.8
	愛媛	90.0	15.3	95.3	35.0	36.3	40.3
	香川	46.3	5.0	57.0	9.3	10.0	7.0
	徳島	23.3	2.7	20.7	2.7	6.7	4.3
	北海道	2.7	0.0	1.0	0.3	0.0	0.0
平均	東北	1.3	0.0	2.0	0.0	0.7	0.0
三連休の	関東	13.0	0.3	11.3	1.3	1.3	2.0
中日のみ	中部	15.0	1.0	14.3	1.3	2.7	1.3
	近畿	89.7	7.3	99.3	13.0	15.0	13.0
	中国	58.0	2.3	53.3	8.3	6.0	6.3
	九州	19.0	2.3	10.3	4.3	5.0	1.7
	合計	358.3	36.3	364.7	75.7	83.7	76.0

要援 214.1 34.3% -8.0 -10.7 -1.17 -1.1			総数	割合		b - e	f - d
平均中部		器幅			a - c		
福島   38.5   6.2%   0.2   -2.1   -0.1   北海道   1.7   0.3%   0.3   0.0   0.0   東北   3.3   0.5%   -0.6   -0.3   -0.1   東北   3.3   0.5%   -0.6   -0.3   -0.1   関東   26.5   4.2%   -1.0   -0.4   -0.3   近畿   121.3   19.4%   -10.1   -3.1   -1.3   中国   75.5   12.1%   -7.5   -2.3   -0.9   九州   25.4   4.1%   1.7   -0.2   -1.3   合計   624.8   100.0%   -37.2   -21.4   -6.2							
平均 全調査日 東北 3.3 0.5%0.60.30.1 関東 26.5 4.2%1.00.40.3 中部 22.3 3.6%0.50.60.1 近畿 121.3 19.4%10.13.11.3 中国 75.5 12.1%7.52.30.9 九州 25.4 4.1% 1.70.21.3 合計 624.8 100.0%37.221.46.2 香川 91.2 19.5%11.00.30.2 徳島 31.0 6.6% 1.01.20.8 北海道 0.7 0.1% 0.2 0.00.2 徳島 31.0 6.6% 1.01.20.8 北海道 0.7 0.1% 0.2 0.0 00.2 東北 2.8 0.6%0.30.30.30.2 阿東 24.8 5.3%4.20.3 0.3 中部 18.3 3.9% 1.2 0.0 0.2 近畿 82.5 17.6%4.31.51.3 中国 54.2 11.6%4.71.70.6 九州 23.2 5.0%2.00.31.2 合計 467.8 100.0%30.510.55.2 会計 467.8 100.0%30.510.55.2 会計 467.8 100.0%30.510.55.2 素川 99.3 13.6%12.12.91.2 信島 43.6 6.0%0.32.7 0.3 北海道 2.4 0.3% 0.0 0.0 0.0 1.0 東北 3.7 0.5% 0.08 0.02 0.0 							
平均会調査日 ・ 中部 22.3 3.6% -0.5 -0.6 -0.3 -0.1 ・ 中部 22.3 3.6% -0.5 -0.6 -0.1 ・ 近畿 121.3 19.4% -10.1 -3.1 -1.3 ・ 中国 75.5 12.1% -7.5 -2.3 -0.9 ・ 九州 25.4 4.1% 17, -0.2 -1.3 ・ 合計 624.8 100.0% -37.2 -21.4 -6.2 ・ 登媛 139.2 29.7% -11.0 -0.3 -0.2 ・ 電島 31.0 6.6% 1.0 -1.2 -0.8 ・ 北海道 0.7 0.1% 0.2 0.0 -0.3 ・ 東北 2.8 0.6% -0.3 -0.3 -0.3 ・ 野東 24.8 5.3% -4.2 -0.3 0.3 ・ 野東 24.8 5.3% -4.2 -0.3 0.3 ・ 中国 54.2 11.6% -4.3 -1.5 -1.3 ・ 中国 54.2 11.6% -4.3 -1.5 -1.3 ・ 中国 54.2 11.6% -4.7 -1.7 -0.8 ・ 九州 23.2 5.0% -2.0 -0.3 -1.2 ・ 合計 467.8 100.0% -30.5 -10.5 -5.2 ・ 愛媛 264.0 36.2% -9.1 -14.6 -1.0 ・ 香川 99.3 13.6% -12.1 -2.9 -1.2 ・ 徳島 43.6 6.0% -0.3 -2.7 0.3 ・ 北海道 2.4 0.3% 0.3 0.0 -0.1 ・ 東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 ・ 東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 ・ 市部 25.0 3.4% -1.7 -1.0 -0.3 ・ 大海道 2.4 0.3% 0.3 0.0 -0.1 ・ 東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 ・ 世部 25.0 3.4% -1.7 -1.0 -0.3 ・ 大海道 2.4 0.3% 0.3 0.0 -0.1 ・ 東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 ・ 中国 89.8 12.3% -9.3 -2.7 -1.1 ・ 九州 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -1.4 ・ 合計 729.4 100.0% -41.7 -2.8 -6.8 ・ 愛媛 312.3 31.4% -5.3 -21.0 5.3 ・ 香川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 ・ 電別 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 ・ 本海道 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 ・ 東北 29.3 2.9% 1.7 -1.0 0.7 ・ 中部 35.7 3.6% 0.7 -1.7 0.0 ・ 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 ・ 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7			+				
平均 ・							
平中的 22.3 3.6% -0.5 -0.6 -0.1 近畿 121.3 19.4% -10.1 -3.1 -1.3 中国 75.5 12.1% -7.5 -2.3 -0.9 九州州 25.4 4.1% 1.7 -0.2 -1.3 合計 624.8 100.0% -37.2 -21.4 -6.2 養婦 139.2 29.7% -6.3 -4.8 -1.3 香川 91.2 19.5% -11.0 -0.3 -0.2 徳島 31.0 6.6% 1.0 -1.2 -0.6 北海道 0.7 0.1% 0.2 0.0 -0.2 東北 2.8 0.6% -0.3 -0.3 -0.3 -0.2 関東 24.8 5.3% -4.2 -0.3 -0.3 中国 54.2 11.6% -4.3 -1.5 -1.3 中国 54.2 11.6% -4.7 -1.7 -0.5 九州 23.2 5.0% -2.0 -0.3 -1.2 合計 467.8 100.0% -30.5 1-10.5 -5.2 大九州 23.2 5.0% -2.0 -0.3 -1.2 6合計 467.8 100.0% -30.5 1-10.5 -5.2 養媛 264.0 36.2% -9.1 -14.6 -1.0 徳島 43.6 6.0% -0.3 -0.7 -7.0 地海道 24 3.3% 0.3 0.0 -0.1 短島 43.6 6.0% -0.3 -2.7 -0.3 北海道 24 0.3% 0.3 0.0 -0.1 地市 25.0 3.4% -1.7 -1.1 -0.9 九州 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -1.4 合計 72.9 4 100.0% -4.1 -1.3 九州 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -1.4 合計 72.9 4 100.0% -4.1 -1.3 香川 134.7 13.5% -1.0 -7 -5.0 -2.3 香川 134.7 13.5% -1.0 -7 -5.0 -2.3 香川 134.7 13.5% -0.7 -1.7 0.0 北海道 4.0 0.4% 1.7 -4.0 1.7 北海道 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 北海道 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 北海道 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 近畿 132.3 31.4% -5.3 221.0 5.3 香川 134.7 13.5% -0.7 -1.7 0.0 北海道 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 7 0.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7	平均	-,					
近畿	全調査日						
中国 75.5 12.1% -7.5 -2.3 -0.9 九州 25.4 4.1% 1.7 -0.2 -1.3 合計 624.8 100.0% -37.2 -2.1.4 -6.2 愛媛 139.2 29.7% -6.3 -4.8 -1.1.2 愛媛 139.2 19.5% -11.0 -0.3 -0.2 徳島 31.0 6.6% 1.0 -1.2 -0.8 北海道 0.7 0.1% 0.2 0.0 -0.2 東北 2.8 0.6% -0.3 -0.3 -0.3 関東 24.8 5.3% -4.2 -0.3 0.3 近畿 82.5 17.6% -4.3 -1.5 -1.3 中国 54.2 11.6% -4.3 -1.5 -1.3 中国 54.2 11.6% -4.3 -1.5 -1.3 合計 467.8 100.0% -30.5 -10.5 -5.2 含計 467.8 100.0% -30.5 -10.5 -5.2 愛媛 264.0 36.2% -9.1 -14.6 -1.0 番川 99.3 13.6% -0.3 -2.7 0.3 北海道 2.4 0.3% 0.3 0.0 -0.1 東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 北海道 24.6 0.3% 0.3 0.0 -0.1 東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 近畿 147.2 20.2% -14.0 -4.1 -1.3 大州 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -1.4 合計 729.4 100.0% -41.7 -2.8 -6.8  愛媛 312.3 314.% -5.3 -21.0 5.3 番川 134.7 13.5% -0.3 -2.7 -6.8  愛媛 312.3 314.% -5.3 -21.0 5.3 番川 134.7 13.5% -0.0 -0.7 -0.7 0.0 東北 729.4 100.0% -41.7 -28.7 -6.8  愛媛 312.3 314.% -5.3 -21.0 5.3 番川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 ポ海道 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 東北 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 東北 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 東北 29.3 2.9% 1.7 -1.0 0.7 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 元 5.0 0.7 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.7$ 0.7 0.7 0.0 $0.$							
九州   25.4   4.1%   1.7   -0.2   -1.3   合計   624.8   100.0%   -37.2   -21.4   -6.6							
合計         624.8         100.0%         -37.2         -21.4         -6.2           要媛         139.2         29.7%         -6.3         -4.8         -1.3           香川         91.2         19.5%         -11.0         -0.2         -0.0           北海道         0.7         0.1%         0.2         0.0         -0.2           北海道         0.7         0.1%         0.2         0.0         -0.2           東北         2.8         0.6%         -0.3         -0.3         -0.2           中部         18.3         3.9%         1.2         0.0         0.2           近畿         82.5         17.6%         -4.3         -1.5         -1.3           中国         54.2         11.6%         -4.7         -1.7         -0.5           九州         23.2         5.0%         -2.0         -0.3         -1.2           合計         46.8         10.0%         -3.05         -10.5         -5.2           大州         23.2         5.0%         -2.0         -0.3         -1.2           全島         264.0         36.2%         -9.1         -14.6         -1.0           香川         99.3         13.6%         -12.1							
平均平日のみ 平均中日のみ 平均中日のみ 平均日曜のみ 中間のみ 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜のの 平均日曜の 平均日曜の 平均日曜の 平り日曜の 平り日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜日曜							
審川 91.2 19.5% -11.0 -0.3 -0.2 信息 31.0 6.6% 1.0 -1.2 -0.8 北海道 0.7 0.1% 0.2 0.0 0.0 -0.2 東北 2.8 0.5% -0.3 -0.3 -0.2 例 中部 18.3 3.9% 1.2 0.0 0.2 0.0 0.2 0.3 0.3 0.3 0.0 0.2 0.3 0.3 0.0 0.2 0.0 0.0 0.2 0.0 0.0 0.2 0.0 0.0							
徳島   31.0   6.6%   1.0   -1.2   -0.8   北海道   0.7   0.1%   0.2   0.0   -0.0   東北   2.8   0.6%   -0.3   -0.3   0.3   東北   2.8   0.6%   -0.3   -0.3   0.3   中部   18.3   3.9%   1.2   0.0   0.2   近畿   22.5   17.6%   -4.3   -1.5   -1.3   中国   54.2   11.6%   -4.7   -1.7   -0.5   九州   23.2   5.0%   -2.0   -0.3   -1.2   合計   467.8   100.0%   -30.5   -10.5   -5.2   愛媛   264.0   36.2%   -9.1   -14.6   -1.6   香川   99.3   13.6%   -12.1   -2.9   -1.2   徳島   43.6   6.0%   -0.3   -0.2   -0.3   世郎   2.4   0.3%   0.3   0.0   -0.1   東北   3.7   0.5%   -0.8   -0.2   0.6   関東   27.6   3.8%   1.1   -0.4   -0.7   中部   25.0   3.4%   -1.7   -1.0   -0.3   近畿   147.2   20.2%   -14.0   -4.1   -1.3   五號   147.2   20.2%   -14.0   -4.1   -1.3   九州   26.9   3.7%   4.2   -0.1   -1.4   合計   729.4   100.0%   -41.7   -28.7   -6.8    季媛   312.3   31.4%   -5.3   -21.0   5.3   香川   134.7   13.5%   -10.7   -5.0   -2.3    香川   134.7   13.5%   -10.7   -5.0   -2.3    香川   134.7   13.5%   -10.7   -5.0   -0.3   北海道   4.0   0.4%   -0.7   -0.7   0.0   北海道   4.0   0.4%   -0.7   -0.7   0.0   北海道   4.0   0.4%   -0.7   -0.7   0.0   近畿   237.3   22.9%   -9.7   -7.7   0.0   近畿   237.3   23.9%   -9.7   -7.7   0.0   近畿   237.3   23.9%   -9.7   -7.7   0.0   近畿   237.3   23.9%   -9.7   -7.7   0.0		-					
平均平日のみ							
平日のみ 平日のみ 中間のみ 中間のみ 中間のみ 平均 日曜ののみ 平均 三連体の中日のみ 平均 三連体の中日のみ 平均 三連体の中日のみ 平均 三連体の中日のみ 平均 三連体の中日のみ 平均 三連体の中日のみ 東北 2.8 0.6% -0.3 -0.3 -0.3 0.3 0.3 0.0 0.0 0.2 0.0 0.2 0.0 0.2 0.0 0.2 0.0 0.2 0.0 0.2 0.0 0.0			+				
平均のみ 中部 18.3 3.9% 1.2 0.0 0.3 0.3 近畿 82.5 17.6% -4.3 -1.5 -1.3							
中部 18.3 3.9% 1.2 0.0 0.2 1.2 1.0 1.2 1.3 1.2 1.0 1.0 1.2 1.3 1.3 1.2 1.3 1.2 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3	平均		+				
近畿 82.5 17.6% -4.3 -1.5 -1.3 中国 54.2 11.6% -4.7 -1.7 -0.5 九州 23.2 5.0% -2.0 -0.3 -1.2 合計 467.8 100.0% -30.5 1-10.5 -5.2 愛媛 264.0 36.2% -9.1 -14.6 -1.0 香川 99.3 13.6% -12.1 -2.9 -1.2 徳島 43.6 6.0% -0.3 -2.7 -0.3 北海道 2.4 0.3% 0.3 0.0 -0.1 東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 関東 27.6 3.8% 1.1 -0.4 -0.7 中部 25.0 3.4% -1.7 -1.0 -1.0 立畿 147.2 20.2% -14.0 -4.1 -1.3 九州 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -1.4 合計 72.9.4 100.0% -41.7 -28.7 -6.8 愛媛 312.3 31.4% -5.3 -21.0 5.3 香川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 徳島 60.3 6.1% 2.7 -4.0 1.7 北海道 4.0 0.4% 1.7 -0.7 -0.0 近畿 147.2 20.8 -1.0 -0.7 -0.7 0.0 北海道 4.0 0.4% 1.7 -0.7 -0.0 北海道 4.0 0.4% 1.7 -0.7 -0.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7							
中国 54.2 11.6% -4.7 -1.7 -0.5   九州 23.2 5.0% -2.0 -0.3 -1.2   合計 467.8 100.0% -30.5 -10.5 -5.2   会計 467.8 136.% -9.1 -14.6 -1.0   香川 99.3 13.6% -12.1 -2.9 -1.2   徳島 43.6 6.0% -0.3 -2.7 0.3   北海道 2.4 0.3% 0.3 0.0 0.0 -0.1   東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0   東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0   中部 25.0 3.4% -1.7 -1.0 -0.3   近畿 147.2 20.2% -14.0 -4.1 -1.3   中部 88.8 12.3% -9.3 -2.7 -1.1   合計 729.4 100.% -4.1 -2.8   -6計 729.4 100.% -4.1 -5.3   -8							
九州   23.2   5.0%   -2.0   -0.3   -1.2     合計   467.8   100.0%   -30.5   -10.5   -5.2     要媛   264.0   36.2%   -9.1   -14.6   -1.0     香川   99.3   13.6%   -12.1   -2.9   -1.2     信島   43.6   6.0%   -0.3   -2.7   0.3     北海道   2.4   0.3%   0.3   0.0   -0.1     東北   3.7   0.5%   -0.8   -0.2   0.0     関東   27.6   3.8%   1.1   -0.4   -0.7     中部   25.0   3.4%   -1.7   -1.0   -0.3     正酸   147.2   20.2%   -14.0   -4.1   -1.3     中国   89.8   12.3%   -9.3   -2.7   -1.1     九州   26.9   3.7%   4.2   -0.1   -1.4     合計   729.4   100.0%   -41.7   -28.7   -6.6     董州   134.7   13.5%   -10.7   -5.0   -2.3     董州   134.7   13.5%   -10.7   -5.0   -2.3     東北   4.0   0.4%   -0.7   -0.7   0.0     近畿   237.3   23.9%   -9.7   -7.7   0.0     近畿   237.3   23.9%   -9.7   -7.7   0.0     九州   42.7   4.3%   8.7   -2.7   -2.3							-1.3
会計 467.8 100.0% -30.5 -10.5 -5.2							-0.5
要媛 264.0 36.2% -9.1 -14.6 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0			23.2		-2.0	-0.3	-1.2
番川 99.3 13.6% -12.1 -2.9 -1.2 信島 43.6 6.0% -0.3 -2.7 0.3 1.3 6% 1.3 6% -0.3 -2.7 0.3 1.3 6%			467.8		-30.5	-10.5	-5.2
應島 43.6 6.0% -0.3 -2.7 0.3 北海道 2.4 0.3% 0.3 0.0 -0.1 東北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 関東 27.6 3.8% 1.1 -0.4 -0.2 中部 25.0 3.4% -1.7 -1.0 -0.3 近畿 147.2 20.2% -14.0 -4.1 -1.3 中国 89.8 12.3% -9.3 -2.7 -1.1 九州 26.9 3.7% 42 -0.1 -1.4 合計 729.4 100.0% -41.7 228.7 -6.6 音計 729.4 100.0% -41.7 228.7 -6.9 番別 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 徳島 60.3 6.1% 2.7 -4.0 1.7 徳島 60.3 6.1% 2.7 -4.0 1.7 北海道 4.0 0.4% 1.7 0.0 -0.3 東北 4.0 0.4% 1.7 0.7 -0.7 0.0 東北 4.0 0.4% 1.7 0.0 -0.7 1.0 0.3 東北 4.0 0.4% 1.7 0.7 -0.7 0.0 東北 4.0 0.4% 1.7 0.7 -0.7 0.0 1.3 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0		愛媛	264.0	36.2%	-9.1	-14.6	-1.0
平均 日曜のみ 中間のみ 中間のみ 中間のみ 中間のみ 神間のみ 神間のみ 神間のみ 神間のみ 神間のみ 神間のみ 神間のみ 神		香川	99.3	13.6%	-12.1	-2.9	-1.2
平均日曜のみ 再北 3.7 0.5% -0.8 -0.2 0.0 関東 27.6 3.8% 1.1 -0.4 -0.7 中部 25.0 3.4% -1.7 -1.0 -0.3 近畿 147.2 20.2% -14.0 -4.1 -1.3 九州 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -1.4 合計 72.94 100.0% -41.7 -28.7 -6.8 愛媛 312.3 31.4% -5.3 -21.0 5.3 香川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 徳島 60.3 6.1% 2.7 -4.0 1.7 北海道 4.0 0.4% 1.7 0.0  -0.3 東北 4.0 0.4% 1.7 0.0 -0.3 東北 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 中田のみ 中国 35.7 3.6% 0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 近畿 134.3 13.5% 4.7 -3.7 -2.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.3					-0.3	-2.7	0.3
平均日曜のみ 中部 25.0 3.8% 1.1 -0.4 -0.7 -0.3 近畿 147.2 20.2% -14.0 -4.1 -1.3 上班 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -14.0 -4.1 -1.3 上班 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -1.4 合計 729.4 100.0% -41.7 -28.7 -6.8 登媛 312.3 31.4% -5.3 -21.0 5.3 香川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 信息 60.3 6.1% 2.7 -4.0 1.7 上班道 4.0 0.4% 1.7 0.0 -0.3 主球休の 関東 29.3 2.9% 1.7 -0.7 -0.7 0.0 正式 23.7 32.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 五式 23.9% -9.7 0.0 五式 23.9% -9.7		北海道	2.4	0.3%	0.3	0.0	-0.1
日曜のみ 関東 27.6 3.8% 1.1 -0.4 -0.7 中部 25.0 3.4% -1.7 -1.0 -0.3 近畿 147.2 20.2% -14.0 -4.1 -1.3 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0 -1.0	亚-151	東北	3.7	0.5%	-0.8	-0.2	0.0
中部 25.0 3.4% -1.7 -1.0 -0.3 近畿 147.2 20.2% -14.0 -4.1 -1.3 中国 89.8 12.3% -9.3 -2.7 -1.1 九州 26.9 3.7% 4.2 -0.1 -1.4 合計 729.4 100.0% -41.7 -28.7 -6.8 愛媛 312.3 31.4% -5.3 -21.0 5.3 香川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 信島 60.3 6.1% -10.7 -5.0 -2.3 信島 60.3 6.1% 1.7 0.0 -0.3 東北 4.0 0.4% 1.7 0.0 -0.3 東北 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 東北 4.0 0.4% -0.7 -7.7 0.0 東北 35.7 3.6% 0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.6 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		関東	27.6	3.8%	1.1	-0.4	-0.7
中国         89.8         12.3%         -9.3         -2.7         -1.1           九州         26.9         3.7%         4.2         -0.1         -1.4           合計         729.4         100.0%         -41.7         -28.7         -6.8           愛媛         312.3         31.4%         -5.3         -21.0         5.5         -8.1         -10.7         -5.0         -2.3         -2.10         5.5         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -5.0         -2.3         -2.1         -4.0         -0.1         -7.0         -0.0         -0.3         -0.1         -7.0         -0.0         -0.3         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.7         -0.7         -0.0         -0.3         -0.7         -0.7         -0.0         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2         -0.2 </td <td>ш.ш.</td> <td>中部</td> <td>25.0</td> <td>3.4%</td> <td>-1.7</td> <td>-1.0</td> <td>-0.3</td>	ш.ш.	中部	25.0	3.4%	-1.7	-1.0	-0.3
九州     26.9     3.7%     4.2     -0.1     -1.4       合計     729.4     100.0%     -41.7     -28.7     -6.8       愛媛     312.3     31.4%     -5.3     -21.0     5.3       香川     134.7     13.5%     -10.7     -5.0     -2.3       徳島     60.3     6.1%     2.7     -4.0     1.7       北海道     4.0     0.4%     1.7     0.0     -0.3       東北     4.0     0.4%     -0.7     -0.7     0.0       日のみ     中部     35.7     3.6%     0.7     -1.7     0.0       近畿     237.3     23.9%     -9.7     -7.7     0.0       近畿     237.3     23.9%     -9.7     -7.7     0.0       九州     42.7     4.3%     8.7     -2.7     -2.7		近畿	147.2	20.2%	-14.0	-4.1	-1.3
会計 729.4 100.0% -41.7 -28.7 -6.8 要媛 312.3 31.4% -5.3 -21.0 5.3 香川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 徳島 60.3 6.1% 2.7 -4.0 1.7 北海道 4.0 0.4% 1.77 0.0 -0.3 東北 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 東北 4.0 0.4% -0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 2.9% 1.7 -1.0 0.7 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		中国	89.8	12.3%	-9.3	-2.7	-1.1
要媛 312.3 31.4% -5.3 -21.0 5.3 香川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 徳島 60.3 6.1% 2.7 -4.0 1.7 北海道 4.0 0.4% 1.7 0.0 -0.3 東北 4.0 0.4% 1.7 -0.7 0.0 中日のみ 関東 29.3 2.9% 1.7 -1.0 0.7 中部 35.7 3.6% 0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 中国 134.3 13.5% 4.7 -3.7 -2.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		九州	26.9	3.7%	4.2	-0.1	-1.4
番川 134.7 13.5% -10.7 -5.0 -2.3 信息 60.3 6.1% 2.7 -4.0 1.7 北海道 4.0 0.4% 1.7 0.0 -0.3 東北 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 原東北 29.3 2.9% 1.7 -1.0 0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		合計	729.4	100.0%	-41.7	-28.7	-6.9
専力     徳島     60.3     6.1%     2.7     -4.0     1.7       北海道     4.0     0.4%     1.7     0.0     -0.3       東北     4.0     0.4%     -0.7     -0.7     0.0       東北     29.3     2.9%     1.7     -1.0     0.7       中部     35.7     3.6%     0.7     -1.7     0.0       近畿     237.3     23.9%     -9.7     -7.7     0.0       近畿     237.3     13.5%     4.7     -3.7     -2.0       九州     42.7     4.3%     8.7     -2.7     -2.7		愛媛	312.3	31.4%	-5.3	-21.0	5.3
平均 東北 4.0 0.4% 1.7 0.0 -0.3 東北 4.0 0.4% -0.7 -0.7 0.0 三連休の 関東 29.3 2.9% 1.7 -1.0 0.7 中日のみ 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 近畿 237.3 13.5% 4.7 -3.7 -2.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		香川	134.7	13.5%	-10.7	-5.0	-2.3
平均 重速休の 開東 29.3 2.9% 1.7 -1.0 0.7 中日のみ 中部 35.7 3.6% 0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 中国 134.3 13.5% 4.7 -3.7 -2.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		徳島	60.3	6.1%	2.7	-4.0	1.7
三連休の 中日のみ 中部 35.7 3.6% 0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 中国 134.3 13.5% 4.7 -3.7 -2.2 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		北海道	4.0	0.4%	1.7	0.0	-0.3
中日のみ 中部 35.7 3.6% 0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 中国 134.3 13.5% 4.7 -3.7 -2.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7	平均	東北	4.0	0.4%	-0.7	-0.7	0.0
日本的 33.7 3.8 0.7 -1.7 0.0 近畿 237.3 23.9% -9.7 -7.7 0.0 中国 134.3 13.5% 4.7 -3.7 -2.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		関東	29.3	2.9%	1.7	-1.0	0.7
中国 134.3 13.5% 4.7 -3.7 -2.0 九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7	中日のみ	中部	35.7	3.6%	0.7	-1.7	0.0
九州 42.7 4.3% 8.7 -2.7 -2.7		近畿	237.3	23.9%	-9.7	-7.7	0.0
		中国	134.3	13.5%	4.7	-3.7	-2.0
		九州	42.7	4.3%	8.7	-2.7	-2.7
		合計	994.7	100.0%	-6.3	-47.3	0.3

# ③四万十町 四万十町中央 IC 出入口

		а	b
		自動車専用道→国道56号	国道56号→自動車専用道
	愛媛	107.3	136.5
	香川	95.7	138.0
	徳島	34.3	45.7
	北海道	1.1	1.4
77.16	東北	1.7	2.1
平均 全調査日	関東	21.3	23.2
工则且口	中部	20.8	25.5
	近畿	114.3	175.8
	中国	71.3	94.1
	九州	17.7	17.9
	合計	485.6	660.3
	愛媛	86.7	101.0
	香川	90.8	116.5
	徳島	27.2	30.3
	北海道	0.5	0.8
平均	東北	1.7	1.8
平均平日のみ	関東	16.2	20.5
1 11 07 07	中部	14.8	20.3
	近畿	85.7	107.2
	中国	55.8	58.7
	九州	11.5	17.2
	合計	390.8	474.3
	愛媛	121.0	160.2
	香川	99.0	152.3
	徳島	39.1	56.0
	北海道	1.6	1.8
平均	東北	1.8	2.3
日曜のみ	関東	24.7	25.0
	中部	24.8	29.0
	近畿	133.4	221.6
	中国	81.6	117.8
	九州	21.9	18.3
	合計	548.8	784.3
	愛媛	150.7	182.7
	香川	156.3	163.7
	徳島	58.3	60.3
	北海道	2.7	2.7
平均	東北	3.7	3.0
三連休の	関東	35.3	29.3
中日のみ	中部	41.7	43.3
	近畿	233.0	293.0
	中国	147.0	149.0
	九州	38.0	30.7
	合計	866.7	957.7

		6/1 4/4	thi A	
	322.430	総数	割合	a - b
	愛媛	243.8	21.3%	-29.3
	香川	233.7	20.4%	-42.3
	徳島	80.1	7.0%	-11.4
	北海道	2.5	0.2%	-0.3
平均	東北	3.9	0.3%	-0.4
全調査日	関東	44.5	3.9%	-1.9
	中部	46.3	4.0%	-4.7
	近畿	290.1	25.3%	-61.5
	中国	165.4	14.4%	-22.9
	九州	35.6	3.1%	-0.1
	合計	1,145.9	100.0%	-174.7
	愛媛	187.7	21.7%	-14.3
	香川	207.3	24.0%	-25.7
	徳島	57.5	6.6%	-3.2
	北海道	1.3	0.2%	-0.3
平均	東北	3.5	0.4%	-0.2
平日のみ	関東	36.7	4.2%	-4.3
1 1 2000	中部	35.2	4.1%	-5.5
	近畿	192.8	22.3%	-21.5
	中国	114.5	13.2%	-2.8
	九州	28.7	3.3%	-5.7
	合計	865.2	100.0%	-83.5
	愛媛	281.2	21.1%	-39.2
	香川	251.3	18.9%	-53.3
	徳島	95.1	7.1%	-16.9
	北海道	3.3	0.3%	-0.2
平均	東北	4.1	0.3%	-0.6
中均日曜のみ	関東	49.7	3.7%	-0.3
口 NE 070 /	中部	53.8	4.0%	-4.2
	近畿	355.0	26.6%	-88.1
	中国	199.3	15.0%	-36.2
	九州	40.2	3.0%	3.6
	合計	1,333.1	100.0%	-235.6
	愛媛	333.3	18.3%	-32.0
	香川	320.0	17.5%	-7.3
	徳島	118.7	6.5%	-2.0
	北海道	5.3	0.3%	0.0
平均	東北	6.7	0.4%	0.7
三連休の	関東	64.7	3.5%	6.0
中日のみ	中部	85.0	4.7%	-1.7
	近畿	526.0	28.8%	-60.0
	中国	296.0	16.2%	-2.0
	九州	68.7	3.8%	7.3
	合計	1,824.3	100.0%	-91.0

# ④四万十町 国道 56 号・県道 19 号交差点

		а	b	С	d
		四万十町窪川→黒潮町	四万十町窪川→四万十町大正	黒潮町→四万十町窪川	四万十町大正→四万十町窪川
	愛媛	103.5	42.0	109.0	45.6
	香川	93.4	21.0	112.7	22.7
	徳島	32.6	8.9	36.0	9.7
	北海道	1.0	0.8	0.9	0.3
	東北	3.3	0.9	1.7	1.0
平均	関東	21.7	7.8	20.7	7.2
全調査日	中部	17.9	8.5	20.3	7.4
	近畿	117.3	33.1	140.6	34.9
	中国	67.1	17.1	81.5	17.5
	九州	15.9	4.7	17.2	5.1
	合計	473.7	144.8	540.6	151.5
	愛媛	82.0	29.2	72.3	31.5
	香川	91.3	15.0	94.2	14.5
	徳島	26.3	8.0	23.3	7.7
	北海道	0.3	0.8	0.5	0.3
	東北	1.2	0.3	1.3	0.3
平均	関東	17.0	7.2	19.5	4.3
平日のみ	中部	14.3	6.0	13.2	5.7
	近畿	85.2	21.5	83.0	22.8
	中国	51.3	10.0	52.3	9.0
	九州	12.8	3.7	15.2	4.0
	合計				
	愛媛	381.8 117.8	101.7 50.6	374.8 133.4	100.2 55.0
	香川	94.8	25.0	125.0	28.2
	徳島	36.8	9.6	44.4	11.1
	北海道	1.4	0.8	1.2	0.3
平均	東北	4.7	1.2	2.0	1.4
日曜のみ	関東	24.9	8.2	21.4	9.1
	中部	20.3	10.1	25.0	8.6
	近畿	138.7	40.9	179.0	43.0
	中国	77.6	21.9	101.0	23.2
	九州	18.0	5.3	18.6	5.8
	合計	534.9	173.6	651.1	185.8
	愛媛	139.0	62.0	160.0	64.0
	香川	141.7	35.3	136.3	33.3
平均 三連休の 中日のみ	徳島	50.7	14.3	43.7	15.7
	北海道	1.3	1.0	1.3	0.0
	東北	10.3	2.3	3.7	2.0
	関東	32.0	7.7	25.7	11.3
	中部	34.0	18.3	36.0	12.3
	近畿	245.0	67.3	215.7	73.3
	中国	133.0	41.0	125.7	34.3
	九州	27.0	7.0	28.0	9.0
	合計	814.0	256.3	776.0	255.3

		総数	割合	c – a	d - b
	愛媛	300.1	22.9%	5.5	3.6
	香川	249.8	19.1%	19.3	1.7
	徳島	87.3	6.7%	3.4	0.8
	北海道	3.1	0.2%	-0.1	-0.5
	東北	6.9	0.5%	-1.5	0.1
平均 全調査日	関東	57.4	4.4%	-1.1	-0.6
土砂且口	中部	54.1	4.1%	2.3	-1.1
	近畿	325.9	24.9%	23.3	1.8
	中国	183.3	14.0%	14.5	0.4
	九州	42.9	3.3%	1.3	0.4
	合計	1,310.6	100.0%	66.9	6.7
	愛媛	215.0	22.4%	-9.7	2.3
	香川	215.0	22.4%	2.8	-0.5
	徳島	65.3	6.8%	-3.0	-0.3
	北海道	2.0	0.2%	0.2	-0.5
	東北	3.2	0.3%	0.2	0.0
平均	関東	48.0	5.0%	2.5	-2.8
平日のみ	中部	39.2	4.1%	-1.2	-0.3
	近畿	212.5	22.2%	-2.2	1.3
	中国	122.7	12.8%	1.0	-1.0
	九州	35.7	3.7%	2.3	0.3
	合計	958.5	100.0%	-7.0	-1.5
	愛媛	356.8	23.1%	15.7	4.4
	香川	273.0	17.7%	30.2	3.2
	徳島	101.9	6.6%	7.7	1.6
	北海道	3.8	0.2%	-0.2	-0.4
	東北	9.3	0.6%	-2.7	0.2
平均 日曜のみ	関東	63.7	4.1%	-3.4	0.9
口唯切が	中部	64.0	4.1%	4.7	-1.6
	近畿	401.6	26.0%	40.3	2.1
	中国	223.7	14.5%	23.4	1.3
	九州	47.7	3.1%	0.6	0.4
	合計	1,545.3	100.0%	116.2	12.2
	愛媛	425.0	20.2%	21.0	2.0
	香川	346.7	16.5%	-5.3	-2.0
平均 三連休の 中日のみ	徳島	124.3	5.9%	-7.0	1.3
	北海道	3.7	0.2%	0.0	-1.0
	東北	18.3	0.9%	-6.7	-0.3
	関東	76.7	3.6%	-6.3	3.7
	中部	100.7	4.8%	2.0	-6.0
	近畿	601.3	28.6%	-29.3	6.0
	中国	334.0	15.9%	-7.3	-6.7
	九州	71.0	3.4%	1.0	2.0
	合計	2,101.7	100.0%	-38.0	-1.0

# ⑤梼原町 国道 197 号・国道 440 号交差点

		a	b	С	d
		久万高原町→梼原町	梼原町→久万高原町	梼原町→鬼北町	鬼北町→梼原町
	愛媛	37.7	132.3	33.9	143.8
	香川	5.0	6.7	7.7	8.7
	徳島	2.0	3.0	2.6	5.7
	北海道	0.0	0.1	0.1	0.1
	東北	0.2	0.5	0.1	0.4
平均 全調査日	関東	1.7	3.5	1.5	3.8
土砂且口	中部	1.8	3.1	2.5	3.8
	近畿	8.5	15.3	8.9	15.7
	中国	4.8	7.2	4.5	7.9
	九州	1.4	11.9	1.2	5.9
	合計	63.1	183.7	63.1	195.9
	愛媛	17.6	70.9	17.6	71.4
	香川	2.1	4.6	3.9	4.9
	徳島	1.1	2.4	0.6	3.7
	北海道	0.0	0.0	0.0	0.1
	東北	0.1	0.1	0.1	0.3
平均平日のみ	関東	1.0	2.3	1.4	1.3
+000	中部	1.1	1.0	1.4	0.9
	近畿	2.9	8.1	4.1	8.6
	中国	2.1	3.1	2.0	4.9
	九州	1.1	10.1	1.1	3.9
	合計	29.3	102.7	32.3	99.9
	愛媛	49.2	165.4	42.9	184.1
	香川	6.7	7.7	9.9	10.8
	徳島	2.4	3.1	3.9	6.6
	北海道	0.0	0.1	0.2	0.0
	東北	0.2	0.7	0.1	0.4
平均 日曜のみ	関東	2.0	4.1	1.3	5.3
口唯切办	中部	2.1	4.4	3.0	5.7
	近畿	12.0	19.2	11.6	19.6
	中国	6.3	9.6	6.0	9.4
	九州	1.4	12.0	1.1	6.9
	合計	82.4	226.3	80.0	248.8
	愛媛	67.7	208.3	56.0	250.3
平均 三連休の 中日のみ	香川	12.0	14.7	18.0	20.3
	徳島	2.3	5.3	7.3	11.0
	北海道	0.0	0.3	0.0	0.0
	東北	0.0	1.3	0.3	0.3
	関東	4.3	7.0	2.7	11.7
	中部	4.7	10.0	5.3	11.0
	近畿	28.0	42.7	25.7	40.0
	中国	9.7	17.3	10.7	20.0
	九州	2.3	17.3	1.3	16.3
	合計	131.0	324.3	127.3	381.0

愛媛 香川 徳島	総数	7	割合		
香川		`		a – b	d - c
	1	347.8	68.8%	-3.8	11.5
<b>徳</b> 自	l	28.2	5.6%	2.7	2.0
lies an	,	13.3	2.6%	0.6	2.7
北海	道	0.3	0.1%	0.1	0.0
平均 東北	;	1.2	0.2%	-0.1	-0.1
全調査日関東	Į.	10.5	2.1%	-0.2	0.3
中剖	3	11.2	2.2%	0.7	0.7
近畿	1	48.5	9.6%	0.3	0.4
中国		24.5	4.8%	-0.3	0.7
九州		20.5	4.0%	-0.2	-6.0
合計	- [	505.8	100.0%	-0.1	12.1
愛媛	1	177.4	67.2%	0.0	0.6
香川		15.4	5.8%	1.7	0.3
徳島	,	7.9	3.0%	-0.6	1.3
北海	道	0.1	0.1%	0.0	0.1
重北	;	0.7	0.3%	0.0	0.1
平均平日のみ関東	į į	6.0	2.3%	0.4	-1.0
中部	3	4.4	1.7%	0.3	-0.1
近畿		23.7	9.0%	1.3	0.4
中国	1	12.1	4.6%	-0.1	1.7
九州		16.3	6.2%	0.0	-6.3
合計	- 2	264.1	100.0%	3.0	-2.9
愛媛		141.7	69.3%	-6.3	18.7
香川	i	35.0	5.5%	3.2	3.1
徳島		16.0	2.5%	1.4	3.4
北海	道	0.3	0.1%	0.2	-0.1
東北	:	1.4	0.2%	-0.1	-0.2
平均		12.8	2.0%	-0.7	1.2
日曜のみ日本	3	15.2	2.4%	0.9	1.2
近畿	1	62.3	9.8%	-0.4	0.3
中国	1	31.3	4.9%	-0.3	-0.1
九州		21.4	3.4%	-0.3	-5.1
合計		37.6	100.0%	-2.4	22.4
愛奴		582.3	60.4%	-11.7	42.0
香川		65.0	6.7%	6.0	5.7
徳島		26.0	2.7%	5.0	5.7
北海		0.3	0.0%	0.0	-0.3
平均 東北		2.0	0.2%	0.3	-1.0
三連休の関東		25.7	2.7%	-1.7	4.7
中日のみ中部		31.0	3.2%	0.7	1.0
近畿		36.3	14.1%	-2.3	-2.7
中国		57.7	6.0%	1.0	2.7
九州		37.3	3.9%	-1.0	-1.0
수함		963.7	100.0%	-3.7	56.7

# ⑥四万十町 道の駅四万十とおわ前

		a	b	
		松野町→四万十町十和	四万十町十和→松野町	
	愛媛	113.5	108.5	
	香川	12.1	12.7	
	徳島	5.3	4.4	
	北海道	0.3	0.5	
平均	東北	0.3	0.7	
全調査日	関東	4.6	6.1	
	中部	4.9	6.8	
	近畿	20.2	22.3	
	中国	11.3	12.6	
	九州	4.5	7.2	
	合計	177.1	181.9	
	愛媛	73.0	71.0	
	香川	7.7	7.3	
	徳島	3.3	2.8	
	北海道	0.0	0.5	
平均	東北	0.2	0.3	
平日のみ	関東	3.8	5.5	
	中部	3.3	4.7	
	近畿	10.3	11.5	
	中国	5.8	6.5	
	九州	2.8	3.5	
	合計	110.3	113.7	
	愛媛	140.6	133.6	
	香川	15.0	16.2	
	徳島	6.7	5.4	
	北海道	0.4	0.6	
平均	東北	0.3	1.0	
日曜のみ	関東	5.1	6.4	
	中部	6.0	8.2	
	近畿	26.8	29.6	
	中国	15.0	16.7	
	九州	5.7	9.7	
	合計	221.6	227.3	
	愛媛	163.3	140.0	
	香川	21.0	23.3	
	徳島	7.0	7.7	
平均三連休の	北海道	0.0	0.7	
	東北	0.7	1.0	
	関東	9.0	10.0	
中日のみ	中部	10.0	14.3	
	近畿	53.3	58.3	
	中国	25.3	31.3	
	九州	10.7	14.7	
	合計	300.3	301.3	

整機   222.1   61.9%   5.0   6.0%   6.0%   6.0%   6.0%   6.0%   7.2   7.5   7.0%					
審川 24.7 6.9% -0.6 信息 9.7 2.7% 0.9 1 2.7%			総数	割合	a - b
極島   9.7   2.7%   0.9   北海道   0.8   0.2%   -0.3   東北   1.0   0.3%   0.5     日本   11.7   3.3%   -1.9     近畿   42.5   11.8%   -2.1     中部   11.7   3.3%   -2.7     古本   11.8   3.2   1.8     中部   11.7   3.3%   -2.7     古本   23.9   6.7%   -1.3     九州   11.7   3.3%   -2.7     合計   358.9   100.0%   -4.8     愛媛   144.0   64.3%   2.0     香川   15.0   6.7%   0.3     徳島   62   2.8%   0.5     北海道   0.5   0.2%   -0.5     東北   0.5   0.2%   -0.5     中部   3.0   3.6%   -1.3     近畿   21.8   9.7%   -1.2     中国   12.3   5.5%   -0.7     九州   6.3   2.2%   -0.5     古   224.0   100.0%   -3.3     近畿   21.1   2.7%   1.2     七海道   1.0   0.2%   -0.1     東北   1.3   0.3%   -0.7     大州道   1.1   2.7%   1.2     北海道   1.0   0.2%   -0.1     東北   1.3   0.3%   -0.7     大田   11.6   2.6%   -1.3     中部   14.2   3.2%   -2.2     近畿   56.3   12.5%   -2.8     古田   31.7   7.1%   -1.7     九州   15.3   3.4%   -4.0     合計   448.9   100.0%   -3.3     香川   44.3   7.4%   -2.3     徳島   14.7   2.4%   -0.7     北海道   0.7   0.1%   -0.1     東北   1.7   0.3%   -0.3     徳島   14.7   2.4%   -0.7     北海道   0.7   0.1%   -0.3     東北   1.7   0.3%   -0.3     近畿   111.7   0.3%   -0.3     近畿   111.7   0.3%   -0.3     近畿   111.7   1.6%   -5.0     中部   24.3   4.0%   -4.3     近畿   111.7   1.6%   -5.0     中国   56.7   9.4%   -6.0     九州   25.3   4.2%   -4.0		愛媛	222.1	61.9%	5.0
平均会主義		香川	24.7	6.9%	-0.6
平均 全調金日 関東 10.0 0.3% -0.5		徳島	9.7	2.7%	0.9
平均会 制度		北海道	0.8	0.2%	-0.3
全調査日 関東 10.7 3.0% -1.5 中部 11.7 3.3% -1.9 近畿 42.5 11.8% -2.1 11.8% -2.1	₩-	東北	1.0	0.3%	-0.5
中部 11.7 3.3% -1.9 近畿 42.5 11.8% -2.1 中国 23.9 6.7% -1.3 九州 11.7 3.3% -2.7 合計 358.9 100.0% -4.8 愛媛 144.0 64.3% 2.0 香川 15.0 6.7% 0.3 徳島 6.2 2.8% 0.5 北海道 0.5 0.2% -0.5 東北 0.5 0.2% -0.5 東北 0.5 0.2% -0.5 東北 14.3 5.5% -0.7 九州 6.3 2.8% -0.7 九州 15.0 0.2% -0.2 韓國 274.1 61.1% 7.0 香川 31.2 7.0% -1.2 徳島 12.1 2.7% -1.2 徳島 12.1 2.7% -0.1 北海道 1.0 0.2% -0.1 東北 1.3 0.3% -0.7 関東 11.6 2.6% -1.3 中部 14.2 3.5  -0.7 九州 15.3 3.4% -4.0 中部 14.2 3.5  -2.8 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -5.8 愛媛 303.3 50.4% 23.3 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.3 東北 1.7 0.3% -0.3 野東北 1.7 0.3% -0.3 近畿 11.7 0.3% -0.3 近畿 11.8 0.5 11.8 0.5 11.8 0.5 11.8 0.5 11.8 0.5 11.8 0.5 11.8 0.5 11.8		関東	10.7	3.0%	-1.5
中国 23.9 6.7% -1.3 九州 11.7 3.3% -2.7 合計 358.9 100.0% -4.8 愛媛 144.0 64.3% 2.0 徳島 6.2 2.8% 0.5 北海道 0.5 0.2% -0.5 東北 0.5 0.2% -0.5 関東 19.3 4.2% -1.7 白計 224.0 100.0% -3.3 愛媛 274.1 61.1% 7.0 香計 224.0 100.0% -3.3 愛媛 274.1 61.1% 7.0 香計 224.0 100.0% -3.3 愛媛 274.1 61.1% 7.0 香川 31.2 7.0% -1.2 北海道 1.0 0.2% -0.1 東北 1.3 0.3% -0.7 由計 224.0 100.0% -3.3 愛媛 274.1 61.1% 7.0 香川 31.2 7.0% -1.2 北海道 1.0 0.2% -0.1 東北 1.3 0.3% -0.7 関東 11.6 2.6% -1.3 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -3.8 愛媛 303.3 50.4% -3.8 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.3 臺媛 303.3 50.4% -2.3 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.3 東北 1.7 0.3% -0.3  東北 1.7	工则且口	中部	11.7	3.3%	-1.9
九州         11.7         3.3%         -2.7           合計         358.9         100.0%         -4.8           変機         144.0         64.3%         2.0           香川         15.0         6.7%         0.3           徳島         6.2         2.8%         0.5           北海道         0.5         0.2%         -0.5           東北         0.5         0.2%         -0.2           関東         9.3         4.2%         -1.7           中部         8.0         3.6%         -1.3           近畿         21.8         9.7%         -1.2           中国         12.3         5.5%         -0.7           九州         6.3         2.8%         -0.7           九州         6.3         2.8%         -0.7           九州         6.3         2.8%         -0.7           北海道         1.0         0.2%         -0.1           北海道         1.0         0.2%         -0.1           北海道         1.0         0.2%         -0.1           東北         1.3         0.3%         -0.7           中部         14.2         3.2%         -2.8           中国         31.7		近畿	42.5	11.8%	-2.1
会計   358.9   100.0%   -4.8     変援		中国	23.9	6.7%	-1.3
要機 144.0 64.3% 2.0 香川 15.0 6.7% 0.3 (徳島 6.2 2.8% 0.5 0.2% 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5		九州	11.7	3.3%	-2.7
審川 15.0 6.7% 0.3 (徳島 6.2 2.8% 0.5 1.2 1.2 1.2 1.2 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3		合計	358.9	100.0%	-4.8
平均のか		愛媛	144.0	64.3%	2.0
平日のみ 平日のみ 中国		香川	15.0	6.7%	0.3
平日のみ 関東		徳島	6.2	2.8%	0.5
平均のか 中田のか 中田のか 日曜のか 日曜のか 日曜のか 日曜のか 日曜のか 日曜のか 日曜のか 日曜		北海道	0.5	0.2%	-0.5
平日のみ		東北	0.5	0.2%	-0.2
中部 8.0 3.6% -1.3 近畿 21.8 9.7% -1.2 中国 12.3 5.5% -0.7 九州 6.3 2.8% -0.7 合計 2240 100.0% -3.3 愛媛 274.1 61.1% 7.0 香川 31.2 7.0% -1.2 徳島 12.1 2.7% 1.2 北海道 1.0 0.2% -0.1 東北 1.3 0.3% -0.7 関東 11.6 2.6% -1.3 中部 142 3.2% -2.2 近畿 56.3 12.5% -2.8 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -5.8 委媛 303.3 50.4% 23.3 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.3 東北 1.7 0.3% -0.3 近畿 111.7 1.8% -0.3 近畿 111.7 1.8% -0.3 近畿 111.7 1.8% -0.3 近畿 111.7 1.8% -6.0 中田 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		関東	9.3	4.2%	-1.7
中国 12.3 5.5% -0.7 九州 6.3 2.8% -0.7 合計 224.0 1100.0% -3.3 登媛 274.1 61.1% 7.0 書川 31.2 7.0% -1.2 徳島 12.1 2.7% 1.2 北海道 1.0 0.2% -0.1 東北 1.3 0.3% -0.7 関東 11.6 2.6% -1.3 中部 14.2 3.2% -2.2 近畿 56.3 12.5% -2.8 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -5.8 愛媛 303.3 50.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.3 近畿 11.7 0.3% -0.3 元十 0.7 0.1% -0.7 九州 24.3 4.0% -4.3 元十 0.3% -0.3 元十 0.3% -0.	+000	中部	8.0	3.6%	-1.3
中国のみ   日本の   日		近畿	21.8	9.7%	-1.2
会計 224.0 100.0% -3.3		中国	12.3	5.5%	-0.7
要媛 274.1 61.1% 7.0 番川 31.2 7.0% -1.2 (徳島 12.1 2.7% 1.2 1.2 1.3 1.0 0.2% -0.1 1.3 1.3 0.3% -0.7 例東 11.6 2.6% -1.3 中部 14.2 3.2% -2.2 1.3 1.4 1.5 1.5 1.5 -2.8 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% 合計 448.9 100.0% -5.8 愛媛 303.3 50.4% 23.3 番川 44.3 7.4% -2.3 (徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 世 1.2 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3		九州	6.3	2.8%	-0.7
平均 日曜のみ 関東 11.6 2.6% -1.3 関東 11.6 2.6% -1.3 関東 11.6 2.6% -1.3 回東 11.6 2.6% -1.3 近畿 56.3 12.5% -2.8 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -5.8 愛媛 303.3 50.4% 23.3 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 東北 1.7 0.3% -0.3 原東北 1.7 0.3% -0.3 原東北 19.0 3.2% -1.0 中部 24.3 4.0% -4.3 近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		合計	224.0	100.0%	-3.3
福島   12.1   2.7%   1.2     北海道   1.0   0.2%   -0.1     東北   1.3   0.3%   -0.7     東北   1.16   2.6%   -1.3     中部   14.2   3.2%   -2.2     近畿   56.3   12.5%   -2.8     中国   31.7   7.1%   -1.7     九州   15.3   3.4%   -4.0     合計   448.9   100.0%   -5.8     愛媛   303.3   50.4%   23.3     香川   44.3   7.4%   -2.3     徳島   14.7   2.4%   -0.7     北海道   0.7   0.1%   -0.7     東北   1.7   0.3%   -0.3     東北   1.7   0.3%   -0.3     東北   1.17   0.3%   -0.3     近畿   111.7   18.6%   -5.0     中田   24.3   4.0%   -4.3     近畿   111.7   18.6%   -5.0     中国   56.7   9.4%   -6.0     九州   25.3   4.2%   -4.0		愛媛	274.1	61.1%	7.0
北海道   1.0   0.2%   -0.1     東北   1.3   0.3%   -0.7     東北   1.3   0.3%   -0.7     関東   11.6   2.6%   -1.3     中部   14.2   3.2%   -2.2     近畿   56.3   12.5%   -2.8     中国   31.7   7.1%   -1.7     九州   15.3   3.4%   -4.0     合計   448.9   100.0%   -5.8     愛媛   303.3   50.4%   23.3     香川   44.3   7.4%   -2.3     徳島   14.7   2.4%   -0.7     北海道   0.7   0.1%   -0.7     北海道   0.7   0.1%   -0.3     東北   1.7   0.3%   -0.3     東北   1.7   0.3%   -0.3     山林   11.7   1.6%   -4.3     近畿   11.17   1.6%   -5.0     中国   56.7   9.4%   -6.0     九州   25.3   4.2%   -4.0		香川	31.2	7.0%	-1.2
平均日曜のみ 開東 11.6 2.6% -1.3 14.2 2.6% -1.3 2.5 -2.2 2.6 2.6 2.6 2.6 2.6 2.6 2.6 2.6 2.6		徳島	12.1	2.7%	1.2
平均 日曜のみ 中部 11.6 2.6% -1.3 中部 14.2 3.2% -2.2 近畿 56.3 12.5% -2.8 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -5.8 愛媛 303.3 50.4% 23.3 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 東北 1.7 0.3% -0.3 関東 19.0 3.2% -1.0 中部 24.3 4.0% -4.3 近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		北海道	1.0	0.2%	-0.1
日曜のみ 開東 11.6 2.6% -1.3 中部 14.2 3.2% -2.2 近畿 56.3 12.5% -2.8 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -5.8 愛媛 303.3 50.4% 23.3 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.3 東北 1.7 0.3% -0.3 関東 19.0 3.2% -1.0 中日のみ 中日のみ 中日のみ 19.0 3.2% -1.0 4.3 3.5% -1.0 4.3 3.	TT 16	東北	1.3	0.3%	-0.7
中部 142 3.2% -2.2 近畿 56.3 12.5% -2.8 中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -5.8 愛媛 303.3 50.4% 23.3 香川 44.3 7.4% -2.3 信島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 東北 1.7 0.3% -0.3 原北 11.7 0.3% -0.3 近畿 111.7 18.6% -4.3 近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		関東	11.6	2.6%	-1.3
中国 31.7 7.1% -1.7 九州 15.3 3.4% -4.0 合計 448.9 100.0% -5.8 愛媛 303.3 50.4% 23.3 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 北海道 10.7 0.3% -0.3 回車 19.0 3.2% -1.0 中日のか 中日のか 24.3 4.0% -4.3 近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0	口匠のググ	中部	14.2	3.2%	-2.2
九州     15.3     3.4%     -4.0       合計     448.9     100.0%     -5.8       愛媛     303.3     50.4%     23.3       香川     44.3     7.4%     -2.3       信島     14.7     2.4%     -0.7       北海道     0.7     0.1%     -0.7       東北     1.7     0.3%     -0.3       東北     19.0     3.2%     -1.0       中部     24.3     4.0%     -4.3       近畿     111.7     18.6%     -5.0       中国     56.7     9.4%     -6.0       九州     25.3     4.2%     -4.0		近畿	56.3	12.5%	-2.8
会計 448.9 100.0% -5.8 要媛 303.3 50.4% 23.3 香川 44.3 7.4% -2.3 徳島 14.7 2.4% -0.7 上海道 0.7 0.1% -0.7 東北 1.7 0.3% -0.3 関東 19.0 3.2% -1.0 中日のみ 11.17 18.6% -5.0 中田 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		中国	31.7	7.1%	-1.7
要媛 303.3 50.4% 23.3 番川 44.3 7.4% -2.3 信島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.7 東北 1.7 0.3% -0.3 三連休の 関東 19.0 3.2% -1.0 中日のみ 中日のみ 中日のみ 24.3 4.0% -4.3 近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		九州	15.3	3.4%	-4.0
審川 44.3 7.4% -2.3 (徳島 14.7 2.4% -0.7 北海道 0.7 0.1% -0.3 -0.3 5.2% -1.0 関東 19.0 3.2% -1.0 中日のか 中日のか 11.17 18.6% -4.3 近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		合計	448.9	100.0%	-5.8
徳島   14.7   2.4%   -0.7     北海道   0.7   0.1%   -0.7     東北   1.7   0.3%   -0.3     三連休の   関東   19.0   3.2%   -1.0     中日のか   中部   24.3   4.0%   -4.3     近畿   111.7   18.6%   -5.0     中国   56.7   9.4%   -6.0     九州   25.3   4.2%   -4.0		愛媛	303.3	50.4%	23.3
平均 三連休の 関東 19.0 3.2 -1.0 中日のか 中日のか 中田 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		香川	44.3	7.4%	-2.3
平均 三連休の 関東 19.0 3.2% -1.0 中日のみ 中部 24.3 4.0% -4.3 近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		徳島	14.7	2.4%	-0.7
三連体の 中日のみ 中部 24.3 4.0% -4.3 近畿 111.7 18.6% -6.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		北海道	0.7	0.1%	-0.7
三連休の 関東 19.0 3.2% -1.0 中日のみ 中日のみ 中日のみ 上部 24.3 4.0% -4.3 近畿 111.7 18.6% -6.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0	三連休の	東北	1.7	0.3%	-0.3
近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		関東	19.0	3.2%	-1.0
近畿 111.7 18.6% -5.0 中国 56.7 9.4% -6.0 九州 25.3 4.2% -4.0		中部	24.3	4.0%	-4.3
九州 25.3 4.2% -4.0		近畿	111.7	18.6%	-5.0
九州 25.3 4.2% -4.0		中国	56.7	9.4%	-6.0
合計 601.7 100.0% -1.0		九州	25.3	4.2%	
		合計	601.7	100.0%	-1.0